

仙台市博物館年報

第40号

平成24年度

目 次

ごあいさつ

1. 展示	2
常設展示／国指定文化財の公開／特別展・企画展	
2. 資料の収集保管	46
受贈資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／収蔵資料一覧／指定文化財一覧	
3. 教育・普及	51
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 各団体との連携／広報／刊行物・グッズ等	
4. 調査・研究	69
5. 市史編さん事業	70
6. 東日本大震災後の経過	75
7. ボランティア	77
8. 友の会	79
9. 組織・予算・運営	80
仙台市博物館組織図／事務分掌／予算概要／仙台市博物館協議会／ 仙台市史編さん委員会	
10. 利用状況	84
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況	
11. 条例・規則・要綱等	87
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／仙台市史編さん委員会設置要綱／ キャンパスメンバーズ	
12. 仙台市博物館のあゆみ	94

ごあいさつ

平成24年度は東日本大震災から1年を経て、博物館として本格的な復興に向けて歩んだ年となりました。展覧会は、特別展として「インカ帝国展 マチュピチュ『発見』100年」、「江戸の旅―たどる道、えがかれる風景―」、及び「東日本大震災復興支援 若沖が来てくれました―プライスコレクション 江戸絵画の美と生命―」を、また企画展として「仙台藩の御家騒動―寛文事件を追いかけろ！―」をそれぞれ開催いたしました。「インカ帝国展」は入館者数が10万人を突破し、「若沖が来てくれました」は順調な出足となりました。常設展では年4回の展示替えを行い、特集展示室では近世の考古資料とその出土の村絵図を組み合わせた展示や、一般の方をはじめ大学の授業にも活用していただける内容となった「かたちでわかる古文書入門」などの展示を行い、たいへん好評をいただきました。なお、7月24日には昭和36年の開館以来の入館者数が700万人を突破し、記念セレモニーを開催しています。また、東日本大震災の影響で発行が遅れていた「館蔵名品図録」を発行いたしました。

市史編さん事業では『通史編9 現代2』を刊行しました。仙台市が東北地方の中核都市として成長し、周辺市町との合併等を経て政令指定都市となるまでの時代を、400点近い豊富な図版とともに詳細に解説しています。現在の仙台の姿が形づくられていく歩みを、多くの方々にご愛読いただきたいと願っております。また、東北電力グリーンプラザで震災後の被災資料救出の取り組み等を紹介するパネル展示も行いました。

教育普及事業については、前年度と同様に学校向けのプログラムを館内外で実施し、被災地域への小学校への出前授業も積極的に行いました。

博物館の今後のさらなる発展を期して、職員一同努力してまいりますので、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 遠藤 俊行

1. 展示

常設展示

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室の一部を、平成22年4月20日にリニューアルオープンした結果、現在常設展示室は7室となっている。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、従来の通史的な展示では紹介できなかった資料群を、様々なテーマのもとに展示するために設置したものである。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」が展示されたが、それ以外の期間には、「村絵図と考古資料から見る村のくらし」や「かたちでわかる古文書入門」などの特集展示を行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「支倉常長と東北のキリシタン」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これらの展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の稿を参照されたい。

(2) 平成24年度の常設展示

現在、9万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、季節ごとに年4回の展示替えを実施している。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。しかし「常設展」という言葉のためか「いつも同じ」というイメージを想起されがちである。これまでも季節を感じさせる名称を常設展示に付して、「変化する常設展」の広報に努めてきたが、今年度は例えば「旬の常設展2012夏『杜の都のルーツを探る』ほか」というように、特筆すべき内容を伝える名称を冠した。

また、震災の影響で一時的に当館が保管した資料を紹介する「ミニ特集 被災地の文化財を守れ」を、総合展示室や特集展示室の一部で行うなど、今日的なテーマ設定にも取り組んだ。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録（抄録）」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

年々増加傾向にあった外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、これまで当館では以下のような取り組みを進めてきた。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英文パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

なお、当館では、「慶長遣欧使節」を取り上げるテーマ展示室Ⅱの隣にミニシアターを設置し、「支倉常長—光と影—」と題する映像ソフトを上映しているが、この字幕にも英文を併記している。

(4) 今後の課題等

リピーターの更なる増加につなげるために、今後も内容及び広報の工夫に努めることが求められる。また、企画展「仙台藩の御家騒動」や特別展「若沖が来てくれました」などにおける作品解説を親しみやすいものにするという試みは、多くの観覧者に好評であり、この方向性は常設展示においても意識して取り組んでいく必要がある。

表1 平成24年度(2012)展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	2012春の展示(2/28-5/27)	2012夏の展示 「杜の都のルーツを探る」ほか (5/29-8/26)	2012秋の展示 「婚礼調度一具桶と女乗物」ほか (8/28-11/25)	2012-2013冬の展示 「かたちでわかる古文書入門」 ほか(11/27-2/24)	2013春の展示 「絵が得意な藩主・伊達吉村」 ほか(2/26-5/26)	
総合 展示室	1 むかし の仙台	1 仙台の あけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古 石器ほか	上ノ原山遺跡の石器と野川遺 跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺 跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺 跡の土器・石器	上ノ原山遺跡の石器と野川遺 跡の土器・石器	
		2 縄文の くらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野 田遺跡のハート型土器ほか	上野遺跡の皮袋型土器と大野 田遺跡のハート型土器ほか	高柳遺跡の土器と伊古田遺跡 のジャンボ土器ほか	高柳遺跡の土器と伊古田遺跡 のジャンボ土器ほか	上野遺跡の土器と大野田遺跡 の土器ほか	
		3 稲作の 始まりと有 力者の出現	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺 跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料 ほか
		4 中央政 権の進出	郡山遺跡の土器群・陸奥国分 寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分 寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分 寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分 寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分 寺跡の復興瓦ほか	郡山遺跡・陸奥国分寺跡の出 土資料ほか
		5 陸奥国 分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型
		6 武士の 台頭	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料
		7 神仏へ の祈り	信仰の中の金工資料	信仰の中の金工資料	信仰の中の金工資料	8/28-9/9 中尊寺の 美術	陸奥国分寺の仏像	陸奥国分寺の仏像
	2 伊達政 宗、仙台へ	8 伊達氏 の登場	奥羽の戦国大名	伊達氏、戦国の世へ	伊達氏、戦国の世へ	伊達氏、仙台への道 ミニ特集「被災地の文化財を守 れ 津波に遭った政宗書状」	奥羽の戦国大名 小特集	政宗と秀吉
		9 仙台藩 主、伊達政 宗	2/28-4/8伊達政宗 画像(複製)	4/10-5/27 伊達政宗 画像	特集・伊達政宗書状	伊達政宗画像(複製)	伊達政宗画像(複製)	政宗具足(複製2/26-4/26、重文 4/27-5/19)
	3 城	10 仙台北 城のすがた	城を建てる、城をなおす	遺品にみる仙台北城①	遺品にみる仙台北城②	遺品にみる仙台北城②	仙台北城と江戸屋敷	遺品に見る仙台北城
		11 藩主と 夫人たち	忠宗をめぐる人々	城に勤める、藩主につかえる	仙台北城の能	仙台北城の奥方		絵が得意な藩主 伊達吉村
		12 武家の くらし	雑調度と化粧道具 2/28-4/8	家紋と調度 4/10-7/16	7/18-女性の衣装	婚礼調度一具桶と女乗物	-2/3 武家の服飾 (-1/6男 性・1/8-女 性)	2/5-4/7雑調度と化粧道具
	4 藩	13 仙台北 藩のようす	仙台北藩の郡と村	仙台北藩の要旨	仙台北藩の狩り	仙台北藩の狩り	特集 中島家資料 (-2/17)	仙台北藩の武器武具(2/19-6/30)青木具足 (2/19-5/19)
		14 仙台北 藩の家臣たち	仙台北藩の軍と行列	家臣の旗印	仙台北藩の狩り	仙台北藩の狩り	特集 中島家資料	寛文事件
	5 町	15 城下町 仙台	芭蕉の辻	仙台北城下の町方 御講代町大 町	城下町と秋の祭り	城下町と秋の祭り	飢饉と仙台	城下の景観
		16 町のく らし	春の風景	夏の行事	谷風関係資料	谷風関係資料	城下の職人・商人 御大工	春の行事
		17 教育と 文化	仙台北藩の文化人と思想家(乙 二・日人他/林子平)	仙台北藩の学問と思想家(養賢堂 /林子平)	仙台北藩の学問と思想家(養賢堂 /林子平)	仙台北藩の学問と思想家(養賢堂 /林子平)	仙台北藩の学問と思想家(医学 /林子平)	仙台北藩の文化人と思想家(乙 二・日人他/林子平)
		18 新たな 時代へ	仙台北藩の洋式軍艦・開成丸	異国人との出会い	仙台北藩土、蝦夷地へ行く	仙台北藩土、蝦夷地へ行く	幕末人物伝1 大槻磐溪	玉森左太夫の生涯
	6 近代都 市へのあゆ み	19 戊辰戦 争と明治維 新	仙台北藩と戊辰戦争3	仙台北藩と戊辰戦争4	仙台北藩と戊辰戦争5	仙台北藩と戊辰戦争5	戊辰戦争後の仙台北藩	幕末明治を生きた人々3
		20 近代都 市仙台	教育・戦争と地域社会(西南戦 争/自由民権運動)	杜の都のルーツを探る	教育・戦争と地域社会(教科書 /軍都仙台)	教育・戦争と地域社会(教科書 /軍都仙台)	教育にみる仙台(教科書/工芸 指導所)	教育・戦争と地域社会(西南戦 争/自由民権運動)
特集 展示室	東側ケース	4/10-6/17村 絵 図 と考古資料から 見る村のくらし	国宝 慶長遣欧使節関係資料6/19-11/18 (展示替あり)	11/20-2/24かたちでわかる古文書入門	11/20-2/24かたちでわかる古文書入門		若沖が来てくれました展 (3/1-5/6)	
	西側ケース	4/10-6/17仙 台 四 大画家	仙台北藩の武器武具6/19-11/18	11/20-12/25瑞 蔵 寺 の障壁画	1/9-2/24屏 風 絵 特 集			
コレク ションI	北側ケース (陶磁器)	切込焼	食のうつわ	三浦乾也	東北のやきもの		切込焼	
	中央ケース	切込焼	食のうつわ	三浦乾也	年中行事と東北の古人形		食のうつわ(乾山)	
	奥室	埴人形と花巻人形	埴人形と山形の古人形	芝居と東北の古人形	東北のやきもの		埴人形と三春人形	
	L	埴人形と花巻人形	茶道具(茶碗特集)	三浦乾也	年中行事と東北の古人形		食のうつわ	
	S	茶道具	茶道具	茶道具	茶道具		茶道具	
	浮世絵	2/28-6/3 幕末・明治の錦絵 50 (役者絵 鏡山の世界など)	6/5-9/2 幕末・明治の錦絵 51 (役者絵 怪談物など)	9/4-12/2 幕末・明治の錦絵 52 (月岡芳年 月の百姿な ど)	12/11- 幕末・明治の錦絵53 (摺物など)		幕末・明治の錦絵54	
企画 展示室		国宝紅白 梅図屏風 とMOA 美術館名 品展	企画展「仙台北藩の御 家騒動」4/20-6/10					
	テーマI	仙台北藩の武器武具 前 室	2/28-6/17 仙台北藩の武器・武具(展 示替あり) 2/28-4/8菅野家政宗具足、 4/10-5/27重文政宗具足、5/29-6/17駒形 政宗具足、5/15-27山形文様陣羽織、	インカ帝国展7/6-9/9	江戸の旅 展9/28- 11/11	仙台北藩の武器武具11/20-2/17	若沖が来てくれました展 (3/1-5/6)	
テーマII	慶長遣欧使 節 前室	2/28-6/17国宝 慶長遣欧使節関係資料			国宝 慶長遣欧使節関係資料11/20-			
コレク ションII		国宝紅白 梅図屏風 とMOA 美術館名 品展	企画展「仙台北藩の御 家騒動」4/20-6/10		11/27-12/27遠藤 速雄の絵画	1/9-2/17熊耳耕年 の絵画	若沖が来てくれました展 (3/1-5/6)	
プレイ ミュージ アム		3/13-4/8投扇興	4/20-6/10企 画 展 関連イベント「とき めきの飾り結び」	7/6-9/9特別展関連イベント 「つくってみよう・インカの動 物」	9/28-11/11特別展関連イベン ト「あなたも摺り師」 10/20変身タイム②	12/18- 1/27とべ とべ！す 飾ろう 3/2変身タイム③	2/5-3/3桃の 節 句～折りびなを 飾ろう 3/12-投扇興 3/1-5/6「若沖に挑戦」	

常設展示展示資料目録（抄録）

1. コレクション名については一部略記した。
 2. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料＝館蔵 伊達家寄贈文化財＝伊文
 仙台市教育委員会＝仙台市教委 世紀＝C
 コレクション＝C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2012. 2/28 ～ 2013. 2/24

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
6. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. 両面加工石器（楕円形状）野川遺跡 縄文草創期 1点
仙台市教委
8. 篋状石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
9. 篋状石器 野川遺跡縄文草創期 1点 仙台市教委
10. 多縄文系土器片（絡条体圧痕文・口縁部）野川遺跡
縄文草創期 一括 仙台市教委
11. 多縄文系土器片（縄文圧痕文・口縁部）野川遺跡
縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人のくらし

2012. 2/28 ～ 2013. 2/24

1. 縄文土器深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点
仙台市教委
4. 革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
6. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
7. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
8. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
9. 深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
10. 把手状裝飾付深鉢 高柳遺跡 縄文中期中葉 1点

11. 石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
 12. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 13. 石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 14. 石鏃 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
 15. 鹿角製釣り針 大野田遺跡 縄文後期初頭 1点
仙台市教委
 16. 鹿角製銛 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
 17. 鹿角製銛 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
 18. 土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
 19. 軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
 20. 磨製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
 21. 打製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 22. 足付石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 23. 凹み石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 24. 土偶（市指定文化財）伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点
仙台市教委
 25. 土偶（市指定文化財）伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点
仙台市教委
 26. 土偶（市指定文化財）伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点
仙台市教委
 27. 土偶（市指定文化財）伊古田遺跡 縄文後期中葉 1点
仙台市教委
 28. ハート形土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
 29. 土偶片 大野田遺跡 縄文後期前葉 12点 仙台市教委
 30. 鍛冶沢遺跡出土土偶 蔵王町鍛冶沢遺跡 縄文晩期後半
1点 館蔵
 31. イノシシ形土製品 大野田遺跡 縄文後期前葉 1点 仙台市教委
 32. 鳥頭形突起付土器片 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
- ※No.30は、5/29～の展示

稲作の始まりと 有力者の出現

2012. 2/28 ～ 2013. 2/24

1. 弥生土器壺（市指定文化財）中在家南遺跡 弥生中期
1点 仙台市教委
2. 弥生土器高坏（市指定文化財）中在家南遺跡 弥生中期
1点 仙台市教委
3. 弥生土器甕（市指定文化財）中在家南遺跡 弥生中期
1点 仙台市教委
4. 竪杵（市指定文化財）中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 竪杵未製品（市指定文化財）中在家南遺跡 弥生中期
1点 仙台市教委
6. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
7. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点 仙台市教委

9. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委		仙台市教委
10. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	16. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	
11. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委		仙台市教委
12. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	17. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	
13. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委		仙台市教委
14. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	18. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	
15. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委		仙台市教委
16. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	19. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	
17. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委		仙台市教委
18. 石包丁 高田B遺跡 弥生 1点	仙台市教委	20. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	
19. ミニチュア土器 遠見塚古墳 古墳前期 5点	仙台市教委		仙台市教委
20. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点	仙台市教委	21. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
21. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
22. 人物埴輪 原遺跡 5C後半 1点	仙台市教委	22. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
23. 円筒埴輪 大野田1号墳 5C後半 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
24. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点	仙台市教委	23. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
25. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡(26次) 5C後半 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
	仙台市教委	24. 小玉(大) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
26. 乳文鏡 裏町古墳 5C中頃 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
※No.21は11/27～、No.26は8/28～11/25		25. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
		7C後半～8C前半 1点	仙台市教委

中央政権の進出

2012. 2/28～2013. 2/24

1. 材木列塀のクリ材 郡山遺跡 7C末～8C前半 2点	仙台市教委	27. 小玉(中) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
2. 土師器坏(在地) 郡山遺跡 8C初頭 1点	仙台市教委	28. 小玉(小) ガラス 茂ヶ崎横穴4号墓	
3. 土師器坏(畿内産) 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 40点	仙台市教委
	仙台市教委	29. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴25号墓	
4. 土師器坏(関東系) 郡山遺跡 7C中葉 1点	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委	30. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴25号墓	
	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C末～8C前半 1点	仙台市教委	31. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委		仙台市教委
7. 関東系土器・坏長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委	32. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
8. 関東系土器・坏長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委	33. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委	7C後半～8C前半 1点	仙台市教委
9. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委	34. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委		仙台市教委
10. 土師器・坏 長町駅東遺跡 7～8C前半 1点	仙台市教委	35. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委		仙台市教委
11. 須恵器長頸瓶 茂ヶ崎横穴1号墓		36. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
7C後半～8C前半 1点	仙台市教委		仙台市教委
12. 須恵器大甕 茂ヶ崎横穴3号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	37. 白玉 茂ヶ崎横穴25号墓 7C後半～8C前半 1点	
	仙台市教委		仙台市教委
13. 須恵器平瓶 茂ヶ崎横穴20号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	38. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
	仙台市教委	39. 重弁蓮華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
14. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	40. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
	仙台市教委	41. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委
15. 耳環 茂ヶ崎横穴4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	42. 偏行唐草文軒平瓦 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委

43. 宝相華文軒丸瓦 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 44. 連珠文軒平瓦 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 45. 刻印瓦「物」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 仙台市教委
 46. 刻印瓦「丸」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 仙台市教委
 47. 刻印瓦「伊」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 仙台市教委
 48. 刻印瓦「古」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点 仙台市教委
 49. 擦管 陸奥国分寺跡 奈良 1点 東北歴史博物館
 50. 水煙片 陸奥国分寺跡 奈良 1点 東北大学文学部

武士の台頭

2012.2/28～2013.2/24

1. 常滑・大甕 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 2. 在地・小壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 3. 在地・片口鉢 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 4. 古瀬戸・合子 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 5. 古瀬戸・仏花瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 6. 瀬戸美濃・天目茶碗 洞ノ口遺跡 大窯Ⅲ期 1点 仙台市教委
 7. 中国・青磁碗 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 8. 中国・青磁碗 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 9. 中国・青磁皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 10. 中国・青磁皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 11. 中国・青白磁合子 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 12. 中国・青白磁梅瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 13. 中国・青白磁梅瓶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 14. 中国・白磁・四耳壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 15. 中国・白磁・壺 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 16. 中国・白磁・小坏 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 17. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 18. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 19. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 20. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 21. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 22. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 23. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 24. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 25. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 26. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 27. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 28. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 29. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 30. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 31. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 32. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 33. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
34. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 35. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 36. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 37. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 38. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 39. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 40. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 41. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 42. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 43. 短刀(拵付) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 44. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 45. 鎌 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 46. 馬具(轡) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 47. 馬具(轡) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 48. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 49. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 50. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 51. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 52. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 53. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 54. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 55. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 56. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 57. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 58. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 59. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 60. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 61. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 62. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 63. 銭種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 64. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 1点 仙台市教委
 65. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 1点 仙台市教委
- ※No.64は、12月25日までの展示

神仏への祈り

「信仰の中の金工資料」2012.2/28～5/27

1. 重要文化財 銅鏡 羽黒山御手洗池出土 平安～鎌倉 5面 出羽三山神社
 2. 重要文化財 懸仏 鎌倉 4面 熊野那智神社
 3. 鰐口 応永18年 1口 関リツ氏寄贈

「信仰の中の金工資料」5/29～8/26

1. 重要文化財 懸仏 鎌倉 5面 熊野那智神社
 2. 熊野堂村老女宮「金しめ(金注連)」の図 江戸中期 1枚 伊文
 3. 銅製経筒 愛宕山経塚出土 室町 享禄年銘 3口 個人蔵

「中尊寺の文化財」8/28～9/9

1. 国宝 金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図 第八幀 平安

- 1 幀 中尊寺大長寿院
2. 国宝 紺紙金銀字一切経 仏説雜藏経 平安 1巻 中尊寺大長寿院
3. 国宝 紺紙金字一切経 大般若経 卷第一二七・二四二 平安 2巻 中尊寺大長寿院
4. 国宝 漆塗経筥 平安 1口 中尊寺大長寿院
5. 国宝 礼盤 経藏堂内具のうち 平安 1基 中尊寺大長寿院

「信仰の中の金工資料」9/11～11/25

1. 重要文化財 龍頭 平安 1頭 極楽寺
2. 重要文化財 銅鏡 羽黒山御手洗池出土 平安～鎌倉 6面 出羽三山神社
3. 重要文化財 銅鏡 鎌倉 2面 熊野那智神社

「陸奥国分寺の仏像」11/27～2013.2/24

1. 木造不動明王立像 陸奥国分寺 鎌倉 1体 陸奥国分寺
2. 木造毘沙門天立像 陸奥国分寺 鎌倉 1体 陸奥国分寺
3. 木造十二神将立像のうち辰神像 陸奥国分寺 鎌倉 1体 陸奥国分寺
4. 木造十二神将立像のうち未神像 陸奥国分寺 鎌倉 1体 陸奥国分寺

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「奥羽の戦国大名」2012.2/28～5/27

1. 重要文化財 塵芥集 (村田本) 天文5年4月14日 1冊 伊文
2. 伊達植宗朱印状 神谷常陸介 (岩城重隆家臣) 宛 (天文10年頃) 6月14日 1通 伊文
3. 伊達晴宗知行宛行状 国分源三 (常信) 宛 天文12年7月3日 1通 国分家資料
4. 最上義守黒印状 牧野弾正忠 (久仲) 宛 (年未詳) 5月15日 1通 伊文
5. 蘆名盛興起請文 伊達殿 (輝宗) 宛 永禄9年2月1日 1通 伊文
6. 由良国繁書状 遠藤山城守 (基信) 宛 (天正10年) 3月25日 1通 斎藤報恩会蔵
7. 伊達政宗書状 石川殿 (昭光) 宛 (天正16年) 5月23日 1幅 館蔵
8. 仙道絵図 江戸 1幅 伊文
9. 木村宇右衛門覚書 上 木村宇右衛門可親著 慶安5年頃 1冊 伊文

「伊達氏、戦国の世へ」5/29～8/26

1. 北畠顕家下文 伊達郡宛 建武元年9月10日 1通 伊文
2. 足利尊氏袖判御教書 伊達孫三郎入道道西 (貞綱) 宛 建武3年9月26日 1通 伊文
3. 伊達宗遠一揆契状 小沢伊賀守宛 永和2年8月28日 1通 伊文

4. 伊達政宗一揆契状 余日三河守 (持家) 宛 永和3年10月10日 1通 伊文
5. 伊達政宗知行配分状 国分彦四郎入道 (光信) 宛 嘉慶2年7月4日 1通 国分家資料
6. 伊達持宗施行状 国分筑後 (基信) 宛 文安2年10月17日 1通 国分家資料
7. 伊達成宗上洛日記写 文明15年 1冊 伊文
8. 当家系図 (天正系図) 江戸前期頃 1巻 伊文
9. 伊達朝宗画像 伊達慶邦筆 江戸末期 1幅 伊文
10. 伊達政宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
11. 伊達成宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文

「伊達氏、仙台への道」8/28～11/25

1. 塵芥集 (伊達吉村旧蔵本) 天文5年4月14日 1冊 小林宏氏寄贈
2. 伊達晴宗知行宛行状 桑折播磨守 (貞長カ) 宛 天文22年正月17日 1通 伊文
3. 伊達輝宗書状 岩城殿 (常隆) 宛 (天正10年カ) 6月5日 1幅 館蔵
4. 祖先行軍之図 江戸時代 1幅 館蔵
5. 徳川家康領知覚書 (百万石のお墨付き) 大崎少将 (伊達政宗) 宛 慶長5年8月22日 1通 伊文
6. 貞山公治家記録巻20下 (慶長5年12月24日条) 元禄16年 1冊 伊文
- ミニ特集 被災地の文化財を守れ 津波に遭った政宗書状
7. 伊達政宗書状 (牟宇姫宛) (元和7・8年カ) 1幅 個人蔵
8. 伊達政宗書状 牟宇姫宛 (寛永8年11月カ) 6日 1幅 個人蔵

「奥羽の戦国大名」11/27～2013.2/24

1. 棟役日記 天文4年3月 1冊 伊文
2. 伊達晴宗安堵状 (展示期間: 11/27-2/15) 中村助右兵衛尉宛 天文22年正月17日 1通 伊文
3. 伊達輝宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
4. 織田信長書状 (展示期間: 11/27-1/29) 遠藤内匠助 (基信) 宛 (天正3年) 10月25日 1通 斎藤報恩会蔵
5. 伊達輝宗書状 (小笠原) 宗林斎宛 (天正7年) 10月21日 1幅 館蔵

小特集 伊達と相馬

6. 伊達植宗書状 相馬次郎 (顕胤) 宛 (年未詳) 9月18日 1通 伊文
7. 蘆名止々斎 (盛氏) 書状 米沢 (伊達輝宗) 宛 (天正4年) 9月13日 1通 伊文
8. 性山公治家記録巻4 (天正9年5月条) 元禄16年 1冊 伊文
9. 相馬義胤書状 長江左衛門大夫 (家景) 宛 (天正12年) 10月14日 1幅 三分一所家資料
10. 葛西晴信書状 (展示期間: 2/16-2/24) 相馬西殿 (盛胤) 宛

- (天正10年代前半) 8月 1幅 個人蔵
11. 放駒の陣貝(展示期間:1/30-2/24) 桃山 1点 伊文
12. 伊達政宗甲冑像(複製) 原本は狩野探幽筆
原本は江戸初期(17C) 1幅 館蔵

仙台藩主 伊達政宗

2012.2/28 ~ 5/27

1. 黒漆五枚胴具足 複製(2/28~4/8) 桃山 1領 館蔵
2. 伊達政宗画像(4/10~5/27) 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文

「特集 伊達政宗書状」5/29 ~ 8/26

1. 伊達政宗書状 菅野勝三郎宛 年未詳19日 1幅 館蔵
2. 伊達政宗書状 金森出雲守宛 (寛永3年・1626) 1幅 館蔵
3. 伊達政宗甲冑像(複製) 原本は狩野探幽筆 1幅 館蔵

8/28 ~ 2013.2/24

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 原本は江戸前期
1幅 館蔵

3 城

仙台城のすがた

「城を建てる、城をなおす」2012.2/28 ~ 5/27

1. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
2. 五七桐紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
3. 三引両紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
4. 九曜紋軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
5. 貞山公治家記録 慶長5年11月13日条 1冊 伊文
6. 伊達政宗和歌詠草「入りそめて」 江戸初期 1幅 伊文
7. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
8. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
9. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
10. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期
1振 伊達貞宗氏寄贈
11. 金製ブローチ 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
12. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
13. 墨 瑞鳳殿発掘資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
14. 墨 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
15. えんぴつ(複元品) 2点 館蔵
16. 仙台藩江戸上屋敷絵図 18C 1鋪 千葉雪子氏寄贈
17. 千田家勤功書 江戸中期 1綴 千田文彦氏寄贈

「遺品にみる仙台城」5/29 ~ 8/26

1. 仙台城本丸跡北辺石垣石材(Ⅲ期石垣)
慶安5年8月15日記念銘 1点 仙台市教委

2. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
3. 竹凶屏風 慶長15年 2曲1隻 館蔵
4. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明末~清初 5点
仙台市教委
5. 祥瑞蔓草紋変形皿片 仙台城本丸跡出土 明末 8点
仙台市教委
6. 青磁陰刻牡丹紋皿 仙台城本丸跡出土 17C前半 1点
仙台市教委
7. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
8. 金箔押桔梗文軒平瓦片 仙台城本丸跡出土 17C前半 1点
仙台市教委
9. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1点 館蔵
10. 金銅菊唐草文八双金具 仙台城本丸跡出土 17C 1点
仙台市教委
11. 竹に雀紋透彫 江戸中期 1点 近江逸郎氏寄贈
12. 志野織部鉄絵茶碗 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
13. 鼠志野秋草文鉢片 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
14. 青織部扇形向付 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
15. 美濃伊賀水指 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
16. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期
1振 伊達貞宗氏寄贈
17. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
18. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
19. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
20. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
21. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵

「遺品にみる仙台城」8/29 ~ 11/25

1. 金箔押菊丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
2. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1点 館蔵
3. 金銅菊唐草文八双金具 仙台城本丸跡出土 17C 1点
仙台市教委
4. 竹に雀紋透彫 江戸中期 1点 近江逸郎氏寄贈
5. 青織部草花文大平鉢 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
6. 志野織部鉄絵茶碗 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
7. 鼠志野秋草文鉢片 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
8. 青織部扇形向付 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
9. 美濃伊賀水指 仙台城三の丸跡出土 江戸初期 1点

仙台市教委

10. 菊花図屏風 重要美術品 伊達政宗書 寛永5年 4曲1隻
伊文
11. 菊花図屏風 伊達政宗書 寛永5年 2曲2隻 伊文
12. 花菱文軒平瓦（滴水瓦） 若林城跡出土 17C前半 1点
仙台市教委
13. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期
1振 伊達貞宗氏寄贈
14. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
15. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
16. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
17. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
18. えんぴつ（複元品） 江戸初期 2点 館蔵



11. 菊花図屏風

「仙台城と江戸屋敷」11/27～2013.2/24

1. 扇面図屏風 県指定文化財 慶長15年 6曲1双のうち1隻
伊文
2. 御城中御火消道具被備置候巻 江戸 1巻 伊文
3. 年中行事全 江戸後期 1冊 館蔵
4. 御給仕方手控 江戸後期 1冊 菅野家資料
5. 当番式 江戸後期 1冊 菅野家資料
6. 御修覆帳 江戸中期 1冊 東北大学大学院工学研究科蔵
7. 仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 市指定文化財 江戸
1巻 千田家資料
8. 御老女中浜野他式名連署起請文 青羽・菱野・濱野
寛保元年3月19日 1通 伊文
9. 江戸藩邸芝口上屋敷庭園図 菊田伊州筆 江戸後期 1幅
伊文
10. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期
1振 伊達貞宗氏寄贈
11. 金製ブローチ 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
12. 煙管 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
13. 懐中鏡 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
14. 文鎮 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
15. 慶長一分金 瑞鳳殿発掘資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
16. 墨 16C末～17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
17. 墨 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
18. えんぴつ（複元品） 江戸初期 2点 館蔵
19. 仙台藩江戸上屋敷絵図 18C 1幅 佐藤巧氏寄贈

※No.9は11/27～12/25、No.19は1/9～2/24

藩主と夫人たち

「忠宗をめぐる人々」2/28～5/27

1. 伊達忠宗・天麟院和歌色紙 江戸前期 1幅 伊文
2. 陽徳院書状 年未詳（江戸前期）16日 1幅 伊文
3. 陽徳院画像 岡倉秋水模写蘭洲彝徳原因
明治26年模写 1幅 伊文
4. 伊達忠宗書状 伊達綱宗宛 年未詳（江戸前期）8月5日
1幅 伊文
5. 伊達政宗書状 伊達忠宗宛 寛永2年10月25日 1通 伊文
6. 伊達政宗自筆書状 振姫宛（元和6年）9月9日 1通 伊文
7. 伊達忠宗書 伊達綱宗宛（明暦4年）7月10日 1通 伊文

「城に勤める、藩主に仕える」5/29～8/26

1. 伊達政宗書状 高屋松庵宛 年未詳3日 1幅 館蔵
2. 伊達政宗自筆相伴衆書付 年月日未詳 1幅
遠藤一雄氏寄贈
3. 高屋喜庵起請文前書案（元文元年）1通
伊達家寄贈文化財
4. 伊達政宗書状 弓田右馬允宛 年未詳正月10日 1幅
角懸幸氏寄贈
5. 徳川家康書状（天正7年）7月1日 1通
斎藤報恩会蔵

6. 遠藤守信覚書（享保6年）8月23日 1冊 伊達家寄贈文化財
7. 下坐絵図 濱田縫殿助筆 江戸後期 1冊 濱田善雄氏寄贈
8. 御給仕方手控 江戸後期 1冊 菅野家資料
9. 当番式 江戸後期 1冊 菅野家資料
10. 年中行事全 江戸後期 1冊 菅野家資料
11. 仙台城本丸御門合判 安政7年 1枚 三原良吉C

「仙台藩の能」8/29～11/25

1. 伊達政宗筆謡「班女」 江戸前期 1幅 青木家資料
2. 乱舞次第書 寛永15年1月14日 1通 伊文
3. 三井寺謡 伊達忠宗筆 元和7年10月15日 1巻 伊文
4. 能組覚書（伊達綱宗筆・伊達綱村宛）（年未詳）9月7日
1通 伊文
5. 能組覚書（伊達綱宗筆・伊達綱村宛）（年未詳）9月7日
1通 伊文
6. 能組覚書（利根姫筆・伊達吉村宛）（元文元年）9月18日
1通 伊文
7. 牡丹文蒔絵大鼓胴 江戸前期 1口 ゴトウC
8. 秋草文扇 白極家伝来 江戸前期 1扇 高柳和枝氏寄贈
9. 小堀遠州書状 清水道閑（寛永12年）正月28日 1幅 館蔵

「仙台藩の奥方」11/27～2013.2/24

1. 観心院画像 土井利徳筆 江戸後期 1幅 伊文
2. 伊達重村・観心院和歌短冊 江戸中期 1幅 伊文
3. 御奥方格式 天明7年 1冊 伊文
4. 仙台老中始勤方之事 天明7年 1冊 伊文
5. 御衣裳附并上臈始衣裳附之事畳目之事 天明7年 1冊 伊文

6. 雲松院ほか奥方和歌詠草 (伊達吉村写)
利根姫ほか作 元文3年正月5日 1通 伊文
7. 信恭院書状 伊達齊宗宛 文化14年 1通 伊文
8. 雲松院画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1通 伊文
- ※No.1は11/27～12/27、No.8は1/9～2/24

武家のくらし

「雛調度と化粧道具」2012.2/28～4/8

1. 雛人形 江戸 1対 個人蔵
2. 葵紋竹菱蒔絵雛調度のうち厨子棚、黒棚、書棚、碁盤、将棋盤、
双六盤、挟箱一対、行器 十代齊宗夫人 (徳川) 姫所用
江戸後期 計9件 館蔵
3. 葵紋橘蒔絵渡金箱 十三代慶邦夫人 (徳川) 八代姫所用
江戸後期 1式 館蔵
4. 葵紋橘蒔絵耳盥および台輪 十三代慶邦夫人 (徳川) 八代姫
所用 江戸後期 1具 館蔵
5. 葵紋橘蒔絵手拭掛 十三代慶邦夫人 (徳川) 八代姫所用
江戸後期 1式 館蔵

「家紋と調度」4/10～7/16

1. 竹に雀御敷に三文字紋稲穂に雀図指樽 江戸中期 1口 館蔵
2. 時雨蟠龍文具張詠草箱 江戸中期 1合 伊文
3. 竹に雀九曜紋蒔絵元服道具 江戸中期 1具 伊文
4. 竹に雀三引両紋桜花散蒔絵茶台 江戸中期 1式 伊文
5. 葵紋橘蒔絵盥・湯桶 十三代慶邦夫人 (徳川) 八代姫所用
江戸後期 1式 伊文
6. 朱漆竹に雀紋膳碗類 江戸中期 1式 伊文
7. 梨子地雪薄紋蒔絵広蓋 江戸中期～後期 1面 館蔵
- ※No.4, 5は4/10～6/3、No.6, 7は6/5～7/16

「女性の衣装」7/18～8/26

1. 白麻地流水紅葉文様帷子 江戸後期 1領 個人蔵
2. 白麻地松竹梅車に唐団扇文様帷子 江戸後期 1領 個人蔵
3. 納戸緞地桜に貝桶文様被衣 江戸 1領 館蔵
4. 髪飾 龜甲製 江戸 9点 伊文

「婚礼調度一貝桶と女乗物」8/28～11/25

1. 松竹梅牡丹紋蒔絵貝桶 七代藩主伊達重村夫人惇君所用
江戸中期 1合 伊文
2. 竹菱葵紋蒔絵女乗物 十代藩主伊達齊宗夫人 錯姫所用
江戸後期 1挺 館蔵
3. 葵紋菊蒔絵耳盥・台輪 六代藩主伊達宗村夫人利根姫所用
江戸中期 1具 伊文

※No.3は11/6～11/11

「武家の服飾」11/27～2013.2/3

1. 納戸緞子地雲文袴 江戸初期 1領 菅野家資料
2. 浅葱麻地霞小紋袴 江戸 1具 伊文

3. 縹絹地熨斗目 江戸 1領 伊文
4. 紅地蜀江文錦鯉直垂 江戸後期 1領 館蔵
5. 紅精好長袴 江戸 1領 館蔵
6. 白綸子地団扇に梅文様振袖 江戸 1領 館蔵
7. 葡萄鼠縮緬地藤に燕文様小袖 文久元年 1領 個人蔵
8. 黒羅紗地竹に雀紋頭巾 江戸 1領 館蔵
9. 千代田の大奥 おたち退 楊洲周延画 明治29年 大判3枚続
大宮司C

※No.1～4は11/27～1/6、No.5～9は1/8～2/3

4 藩

仙台藩のようす

「仙台藩の郡と村」2012.2/28～5/27

1. 御分領中海岸図 今野謙吉・熊谷市兵衛筆 嘉永6年3月
3帖内1帖 館蔵
2. 名取郡北方飯田村絵図 文政年間 1鋪 佐藤信夫氏寄贈
3. 仙台藩領村分絵図 (元禄15年頃) 1幅 館蔵
4. 本吉郡絵図 江戸 1鋪 伊文
5. 栗原郡絵図 江戸 1鋪 伊文

「仙台藩の要害」5/29～8/26

1. 角田要害図 江戸前期 1鋪 伊文
2. 石川昭光殉死の像 東東洋筆 江戸後期 1幅 個人蔵
3. 境目記上・下 江戸後期 2冊 伊文
4. 石川宗弘先祖知行拝領覚書 佐藤李宛 貞享4年4月12日
1冊 伊文
5. 伊具金山要害屋敷普請奉覧候覚 宝暦9年8月 1通
仙台銀行寄贈
6. 金山城絵図 貞享1年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
7. 金山城絵図 貞享1年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
8. 金山城絵図 貞享1年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈

「仙台藩の狩り」8/29～11/25

1. 下野国古河辺久喜御鷹場絵図 江戸 1鋪 伊文
2. 伊達政宗鷹場等覚書 伊達忠宗宛 (寛永2年) 5月 1巻
伊文
3. 伊達政宗書状 菅野勝三郎宛 江戸前期 1幅 菅野家資料
4. 伊達政宗書状 忠宗宛 (年未詳) 1月27日 1通
目黒卓英氏寄贈

「特集 中島家資料」11/27～2013.2/24

1. 金山居城彫 (金山要害絵図) 貞享2年5月 1鋪
仙台銀行寄贈
2. 伊達綱村書状 (年未詳) 2月26日 1通 仙台銀行寄贈
3. 伊達齊村 領知宛行状 寛政4年7月 1通 仙台銀行寄贈
4. 伊達齊村 知行宛行状 金山足輕四拾貳人知行之事
寛政4年7月 1通 仙台銀行寄贈

仙台藩の家臣たち

「仙台藩の軍と行列」2012.2/28～5/27

1. 御軍役御定 享保12年正月 1冊 伊文
2. 御備立惣御人数委細之書付ほか (享保12年正月) 5冊 伊文
3. 楽山公行列図巻 武藤弘毅 近代 11巻のうち10巻目 伊文
4. 天保六年伊達齊邦江戸登城行列図 明治31年 1巻
石原謙太郎氏寄贈
5. 毛槍の鞘 江戸 2点 館蔵

「家臣の旗印」5/29～8/26

1. 白地黒大字旗 (小野家伝来) 江戸 1旒 釘宮廉子氏寄贈
2. 白地黒獅子図旗 (青木家伝来) 江戸 1旒 青木和子氏寄贈
3. 濱田家指小旗染注文書付 江戸 一紙 濱田史氏寄贈
4. 濱田家指小旗図 江戸 一紙 濱田史氏寄贈
5. 公務書留 江戸後期 1冊 濱田善雄氏寄贈
6. 濱田氏大馬印・小馬印・指小旗・幕紋の図 天保5年1月20日
1枚 濱田善雄氏寄贈
7. 惣土三百石以上指小旗・幕之図 四 江戸 1巻
後藤愛氏寄贈

「仙台藩の狩り」8/29～11/25

1. 鷹術目録 佐藤助左衛門尚信筆 佐藤忠次宛 安永9年5月
目黒卓英氏寄贈
2. 鷹葉種能毒并阿蘭陀葉能書 江戸 1冊 目黒卓英氏寄贈
3. 御鷹之書 (宝暦11年4月8日) 1綴 伊文
4. 架鷹図 江戸 1幅 伊文
5. 鷲鳥図 狩野古信筆 江戸中期 1幅 伊文
6. 鴨獵之図 伊達吉村筆 江戸中期 1幅 館蔵
7. 鷹鈴板之図 菊田栄羽筆 宝暦3年 1枚 伊文
8. たかがり・すなどり図 伊達吉村筆 江戸中期 2巻 伊文

「特集 中島家資料」11/27～2013.2/24

1. 伊具金山要害屋敷普請奉窺候絵図 延享4年12月 1鋪
仙台銀行寄贈
2. 金山要害絵図 江戸 1鋪 仙台銀行寄贈
3. 伊具金山要害屋敷修復奉窺候絵図 享保11年12月7日 1鋪
仙台銀行寄贈
4. 金山要害修復手続書留 (延享5年) 1冊 仙台銀行寄贈
5. 家中処罰に関する書状 中じませんさいはは筆
寛文13年1月23日 1通 仙台銀行寄贈

5 町

城下町仙台

「芭蕉の辻」2012.2/28～5/27

1. 芭蕉の辻櫓状建物の設計図 文政10年 1鋪 館蔵
2. 二十四輩巡拝図会後篇巻之四より芭蕉の辻 了貞著
竹原春泉齋画 文化6年刊 1冊 個人蔵

3. 錦絵芭蕉の辻 (複製) 作者不詳 原資料:江戸後期 4枚
館蔵
4. 仙台鹿の子 (写本) 江戸 1冊 尚文館C
5. 芭蕉の辻へ掲げられた檄文写 慶応4年9月 1通 個人蔵
6. 芭蕉の辻図 (複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原良吉C
7. 芭蕉辻伊勢佐挑見世当図 曜齋国輝画 明治初期 3枚続
阿部次郎C
8. 仙台新繁盛記 上下 菅野長平著 明治16年5月2日御届出版
合冊 三原良吉C
9. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より芭蕉ノ辻・電信郵便局
林基春画 明治29年発行 1点 三原良吉C
10. 仙台名勝案内 菊田定郷編集 明治32年 1冊 菊田定郷C
11. 芭蕉の辻が描かれた年賀状 天江富弥 昭和3年正月 1通
三原良吉C
12. 芭蕉の辻商館火災の図 近代 1面 仙台市消防局蔵
13. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 2点 館蔵

「仙台城下の町方 譜代町・大町」5/29～8/26

1. 文久二年仙台城下図 (複製) 文久2年 1面
館蔵 (原資料:斎藤報恩会)
2. 大町三四五丁目検断青山氏由緒書覚 青山五左衛門宛
元禄16年11月 1通 米川家資料
3. 青山五左衛門書状写 昆野十兵衛宛 (寛保3年) 11月16日
1通 米川家資料
4. 山本屋太兵衛屋敷売券状 藤崎屋次右衛門宛
正徳6年3月1日 1通 三原良吉C
5. 藤崎屋次右衛門屋敷間杭証文 米川六右衛門宛
正徳6年3月11日 1通 三原良吉C
6. 佐藤助五郎家申定書 嘉永7年10月 1通 三原良吉C
7. 佐助呉服店团扇絵 明治 1通 三原良吉C
8. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案 浅井忠内宛
文政11年6月 1通 三原良吉C
9. 東照宮祭礼渡物図 (司馬温公執政を成し給ふ躰)
大町二丁目佐藤助五郎 1枚 三原良吉C
10. 東照宮祭礼渡物図 (源頼光於足柄山金時得給躰)
大町一丁目中井新三郎 1枚 三原良吉C
11. 東照宮祭礼渡物図 (上東門院於東門堂に桜を愛させ給ふ躰)
大町四丁目升屋徳助 1枚 三原良吉C
12. 東照宮祭礼渡物図 (神功皇后三韓を責遂御帰陳之體)
大町四丁目島屋新八 1枚 三原良吉C

「城下町と秋の祭り」8/28～11/25

1. 仙台城下絵図 天明6年～寛政元年 1鋪 片倉家資料
2. 大崎八幡来由記 享保元年 1巻 大崎八幡宮蔵
3. 伊達世臣家譜 平士 五之二十二 田辺希文・希元・希績編
寛政4年12月 1冊 伊達家寄贈文化財
4. 渡物札 江戸後期 1枚 三原良吉C
5. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案 文政11年6月 1通
三原良吉C
6. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原良吉C

7. 仙台東照宮祭礼小絵図 江戸中期～後期 3枚 館蔵
8. 東照宮祭礼渡物図(狂言風流名古屋) 二日町寺沢屋 寛政3年頃 1枚 館蔵
9. 東照宮祭礼渡物図(野見宿禰当麻蹶速すまふノ始り) 肴町三丁目鈴木屋 寛政3年頃 1枚 館蔵
10. 東照宮祭礼渡物図 (一條院の御時伊勢の大輔詠歌を奉る躰) 木町日野屋仁兵衛 江戸後期 1枚 館蔵
11. 東照宮祭礼渡物図(大納言経信公秋の田を見給ふ躰) 国分町世話人庄司惣七ほか四名 江戸末期 1枚 阿部次郎C
12. 信恭院消息 伊達齊宗宛 (文政元年) 10月 1通 伊文

「飢饉と仙台」11/27～2013.2/24

1. 天明飢饉の記録板書 天明4年 1点 伊東善広氏寄贈
2. 間引きをいましめる図(複製) 江戸後期 1面 館蔵(原資料:原図七ヶ宿町関泉寺蔵)
3. 天明飢死図集 鈴木三伯筆 天明5年10月 1冊 館蔵
4. 六代治家記録 十巻 天明6年5月27日 1冊 伊文
5. 六代治家記録 九巻 天明4年4月16日条 1冊 伊文
6. 銀札 天明4年 5点 平間家資料
7. 赤子養育手当願書 文政6年3月 1通 平間家資料
8. 飢饉食料草木 佐々城朴庵筆 天保4年 1冊 三原良吉C
9. 佐藤助右衛門碑文 田静観堂撰文 大正15年謹写 1幅 佐藤恒明氏寄贈
10. 御救助方万人講為替組御用達古木市兵衛ほか28名 天保7年9月 1冊 佐藤恒明氏寄贈

町のくらし

「春の風景」2012.2/28～5/27

1. 伊達綱村釈迦堂建立本願覚書 (年未詳) 3月4日 1通 伊文
2. 奥羽観跡聞老志 卷之六(釈迦堂・榴ヶ岡) 佐久間洞巖著 享保4年 1冊 円通院蔵
3. 榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎C
4. 徳利付蒔絵野弁当 江戸末期 1組 甲田C
5. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より榴ヶ岡桜花満開及招魂碑之景 林基春画 明治29年発行 1点 三原良吉C

「夏の行事」5/29～8/26

1. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
2. 仙府年中往来 燕石斎薄墨版 江戸後期 1冊 阿部次郎C
3. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
4. 七夕飾り 大正 7点 菅野邦夫氏寄贈
5. 七夕の絵葉書「仙台 肴町七夕祭ノ光景」 大正 1点 館蔵
6. 七夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪華版 東一番町」 昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵
7. 七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」 昭和20年代 1点 館蔵
8. 「仙台年中行事絵巻」より藩主狼煙御覧・水練御覧の図 江戸後期 1巻 三原良吉C

9. 楽山公治家記録 卷五 安政2年 1冊 伊文
10. 「奥州仙台名所尽集」より宮城野 江戸後期 1巻 大宮司C

「谷風関係資料」8/28～11/25

1. 花巻人形 谷風 江戸後期 1体 館蔵
2. 谷風小野川立合いの図 勝川春章画 江戸後期 1面 館蔵
3. 野見宿禰・谷風・小野川像 江戸後期 1幅 館蔵
4. 六代治家記録 八巻 安永7年10月5～7日条 1冊 伊文
5. 片倉代々記 村典 寛政3年11月6日条 1冊 片倉家資料
6. 寛政六年自筆日々記 菅野勝三郎筆 寛政6年4月16日条 1冊 菅野家資料
7. 寛政六年十一月江戸相撲番付 寛政6年11月 1枚 三原良吉C

8. 化粧廻し 谷風使用 江戸後期 1点 個人蔵
 9. 搔卷 谷風使用 江戸後期 1領 個人蔵
- ※No.8は8/28～9/30、No.9は10/2～11/25

「城下の職人・商人・御大工」11/27～2013.2/24

1. 知行目録 大工利兵衛宛 寛永21年8月14日 1通 千田家資料
2. 勤功書 千田理兵衛提出 寛保元年正月 1通 千田家資料
3. 朴沢庄蔵養子願書 丹下ほか4名宛 文政9年11月14日 1通 朴沢家資料
4. 御名乗ノ事 沙門快現筆 朴沢十四郎直春宛 文政11年7月 1通 千葉氏寄贈朴沢家資料
5. 朴沢十四郎藤原直春門人改帳 文政11年～安政7年 1冊 千葉氏寄贈朴沢家資料
6. 御大工五組名前帳 天保9年5月改(～天保11年) 1冊 千田家資料
7. 唯一神道垂加流番匠方祭礼行事式秘伝口訳集 佐藤右斎藤原鎮定 千田左覚紀伯・千田理兵衛紀勝宛 寛保2年12月・安永4年9月19日 1冊 千田家資料
8. 仙台藩江戸上屋敷絵図 江戸 1幅 千葉氏寄贈朴沢家資料
9. 薬師堂隅木修理図 文化12年2月 1鋪 朴沢家資料
10. 国分寺薬師堂御入料達留 棟梁方・御積り方 天保12年10月 1冊 千田家資料
11. 真明院様急御下り二付伊達藤三郎様御屋敷借受御用立候に付 諸式控 御積り千田氏 安政3年正月 1冊 千田家資料

教育と文化

「仙台藩の文化人と思想家」2012.2/28～5/27

仙台藩ゆかりの文化人

1. 俳人百家撰 緑亭川柳編・歌川国輝画 嘉永8年 1冊 尚文館C
2. 松窓句集 松窓乙二著 文政6年 1冊 尚文館C
3. 俳諧三十六句仙 足了庵朧月尼序 嘉永6年 1冊 阿部次郎C
4. 釣奇一覽 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C
5. 十夜説教図 遠藤日人筆 江戸後期 1幅 天江富弥氏寄贈

6. 蛙相撲図 遠藤日人筆 天保4年 1幅 館蔵
林子平の思想と交友
7. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
8. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写 安永7年 1冊 藤塚家資料
9. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
10. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
11. 林子平書状 藤塚式部宛 (寛政4年)6月1日 1通 中村C
12. 藤塚家家譜 藤塚式部筆 安永4年 1冊 藤塚家資料
13. 蝦夷錦の袖口 江戸 (18C) 1点 藤塚家資料
14. 報賽歌 林子平筆 寛政3年 1幅 藤塚家資料
15. 林子平辞世拓本 江戸 (18C) 1幅 中村C

「仙台藩の学問と思想家」5/29～11/25

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 養賢堂全図 江戸後期 1幅 館蔵
2. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
3. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
4. 論語 天保15年手写カ 1冊 阿部次郎C
5. 水滴 江戸後期 3点 館蔵
6. 大槻平泉肖像 東東菜原画・高橋松亭模写 近代 1幅 佐藤輝雄氏寄贈
7. 山崎闇斎肖像 大槻平泉賛 天保8年 1幅 伊文
8. 養賢堂の図 (複製) 原資料は江戸後期 1額 館蔵 (原資料:宮城県図書館蔵)
9. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
10. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
11. 論語 天保15年手写カ 1冊 阿部次郎C
12. 水滴 江戸後期 3点 館蔵
- ※No.1～6は5/29～8/26、No.7～12は8/28～11/25

林子平の人生と思想

1. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
2. 漢土加留多 1点 藤塚家資料
3. 阿蘭陀加留多 1点 藤塚家資料
4. 和蘭人宴会図 林子平筆 江戸後期 1面 館蔵
5. 仙台市指定文化財 仙台城下絵図 林子平筆 江戸中期～後期 1点 中村C
6. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
7. 海国兵談 林子平著 天明7年写 1冊 館蔵
8. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵
9. 林子平辞世拓本 江戸 1幅 中村C
10. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
11. 仙台市指定文化財 仙台城下絵図 林子平筆 江戸中期～後期 1点 中村C
12. 阿蘭陀船図説 (複製) 天明2年版・明治26年印刷複製 1枚 館蔵

13. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
14. 海国兵談 林子平著 天明7年写 1冊 館蔵
15. 林子平辞世拓本 江戸 1幅 中村C
- ※No.1～9は5/29～8/26、No.10～15は8/28～11/25

「仙台藩の学問と思想家」11/27～2013.2/24

仙台藩の医学教育

1. 仙台年中行事絵巻 江戸後期 1巻 三原良吉C
2. 六物新志 大槻玄沢著 天明8年 1冊 館蔵
3. 瘍医新書 大槻玄沢訳・杉田玄白起業 文政8年刊 1冊 館蔵
4. 解体新書 杉田玄白ら訳 安永3年 1冊 館蔵
5. 存真図腋 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1帖 山形敬一氏寄贈
6. アメリカ横文字和解 小野寺玄適訳 嘉永7年 1冊 伊文
7. 芝蘭堂新元会図 (印刷) 原資料は市川岳山筆 近代 (原資料・寛政6年) 1幅 鵜飼新一氏寄贈
- 林子平の人生と思想
8. 儀式考 林笠翁筆 江戸中期 (18C) 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
10. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写 安永7年 1冊 藤塚家資料
11. 蘭人制作支那図 林子平筆写 安永7年 1枚 中村C
12. 阿蘭陀船図説 (複製) 天明2年版・明治26年印刷複製 1枚 館蔵
13. 蝦夷錦の袖口 江戸 (18C) 1点 藤塚家資料
14. 仏語訳 三国通覧図説 クラプロート訳 1832年刊 1冊 館蔵
15. 坪碑 林子平著・程赤城跋 安永7年頃 1巻 中村C
16. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
17. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵

新たな時代へ

「仙台藩の洋式軍艦・開成丸」2012.2/28～5/27

1. 軍艦製造材木調 安政3年6月11日 1通 伊文
2. 開成丸進水図写熊耳耕年写 原図:小野寺鳳谷画 近代 1幅 菊田定郷C
3. 開成丸乗船日記 境野吉之助筆 (安政5年)正月29日 1通 伊文
4. 開成丸訓練帰帆図 三浦乾也画 安政5年 1幅 菊田定郷C
5. 三浦乾也への褒賞状 芝多対馬筆 (安政5年)5月 1通 伊文
6. 開成丸近海航海之図 安政5年7月 1鋪 伊文
7. 開成丸の旗 江戸末期 1旗 亀田兵治C
8. 開成丸航海日誌 小野寺鳳谷著 (安政5年)12月25日～1月7日 1冊 亀田兵治C

「異国人との出会い」5/29～8/26

1. 伊達慶邦申渡書控 (嘉永3年) 1綴 伊文
2. 伊達慶邦意見書控 (嘉永6年) 7月 1綴 伊文
3. 北亜墨利加人物ペルリ像 江戸末期 1面 館蔵
4. 瓦版「蒸気船之図」 江戸後期 1枚 館蔵
5. アメリカ船石巻渡来図巻 江戸末期 1巻 館蔵
6. アメリカ船員を描いたスケッチ 安政2年 4面 阿部次郎C

「仙台藩土、蝦夷地へ行く」8/28～11/25

1. 伊達慶邦御触下書 江戸後期 1通 伊文
2. 蝦夷地交代の輩へ料理饗応手段書 (安政4年) 1通 伊文
3. 牧野備前守家来北蝦夷地調書写より南樺太図 (安政4年) 1鋪 伊文
4. 蝦夷海陸路程全図 小野寺鳳谷作 安政2年 1鋪 尚文館C
5. 松前蝦夷道中細見記 小野寺鳳谷著 安政2年 1冊 武市家資料
6. 入北記 玉蟲左太夫筆 安政4年 9冊のうち 玉蟲誼氏寄贈資料
7. 蝦夷道中日記 多川仲之丞筆 安政4年 2冊 多川益太郎氏寄贈
8. アツケシ気候日記書抜 三好武三郎著 安政4年6月1日～8月10日 1冊 伊文
9. 蝦夷地警固人数名前調より道中日記 武市九郎三郎筆 安政6年 武市家資料
10. エトロフ島分界絵図 江戸後期 1鋪 藤縄達夫氏寄贈

「幕末人物伝1 大槻磐溪」11/27～2013.2/24

1. 大槻氏系図 近代 1幅 佐藤暉雄氏寄贈
2. 環海異聞 大槻玄沢・志村弘強編 江戸後期 1冊 館蔵
3. 西韻府 大槻玄幹著 天保3年 1冊 館蔵
4. 呂宋国漂流記 大槻磐溪編 弘化2年 1冊 館蔵
5. 聖拏狂言 大槻磐溪著 安政4年2月 1冊 尚文館C
6. 献芹微衷 (稿本) 大槻磐溪筆 嘉永2年 1綴 館蔵
7. 退隠余録 大槻磐溪筆 慶応2～3年 1通 館蔵
8. ロシア国領事宛書状 大槻磐溪起草 慶応4年5月 1通 中村C
9. 大槻磐溪書「我国梅花宗任問」 明治 1幅 個人蔵
10. 大槻磐溪書状 おえつ宛 明治元年冬頃 1幅 館蔵

6 近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

「仙台藩と戊辰戦争3」2012.2/28～5/27

1. 奥羽越列藩同盟盟約写 慶応4年 1通 濱田家資料
2. プロシア国領事あて文書写 慶応4年5月 1冊 個人蔵
3. 近習目付御用日誌 慶応4年5月6日条 1冊 伊文
4. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正時代 1面 玉蟲誼氏寄贈資料
5. 名所之内上野 歌川芳盛画 明治元年 大判3枚続 大宮司C
6. 伊達慶邦布告控 (慶応4年) 6月21日 1通 伊文

7. 日光宮公現法親王御口上書並びに返答書写 (慶応4年) 6月 1通 伊文
8. 伊達慶邦書状 藤井伊豆守宛 (慶応4年) 7月11日 1通 伊文

「仙台藩と戊辰戦争4」5/29～8/26

1. 伊達慶邦画像 筆写不詳 明治 1幅 伊文
2. 慶応4年陸奥出羽国郡行程図 慶応4年刊 1鋪 館蔵
3. 羽州口戦争二付御用係留 鈴木元五右衛門等 慶応4年7月 1冊 三原良吉C
4. 兵士懐中便覧 慶応4年7月刊 1冊 個人蔵
5. 天璋院消息 伊達慶邦宛 (慶応4年) 7月9日 1通 伊文
6. 輪王寺宮公現法親王書状 伊達慶邦宛 (慶応4年) 8月1日 1通 伊文
7. 上杉斎憲書状 伊達慶邦宛 (慶応4年) 8月10日 1通 伊文
8. 国分荒浜海岸御警備方諸御用留 御武頭方 慶応4年8月 1冊 三原良吉C

「仙台藩と戊辰戦争5」8/28～11/25

1. 伊達慶邦画像 明治 1面 伊文
2. 伊達慶邦布告案 明治元年9月 1通 伊文
3. 戊辰戦争戦後処理覚書 石母田但馬・遠藤文七郎筆 (明治元年) 9月 1通 伊文
4. 増田繁幸画像 近代 1面 増田繁幸関係資料
5. 履歴之大略 (増田繁幸) 近代 1通 増田繁幸関係資料
6. 仙台中日記 慶応4年9月 1冊 伊文
7. 伊達氏史料のうち星恂太郎日記 (写本) 9月26日条 明治28年3月30日写カ 1冊 伊文
8. 総督府参謀達書 (明治元年) 10月 1通 伊文
9. 玉蟲左太夫書状 作右衛門宛 (明治元年) 10月14日 1通 玉蟲誼氏寄贈資料
10. 行政官沙汰書 明治元年12月12日 1通 伊文

「戊辰戦争後の仙台藩」11/27～2013.2/24

1. 坂英力書状 馬場昇・伊藤文左衛門宛 (明治元年) 11月5日 1幅 大久保C
2. 明治戊辰江戸獄囚人書 瀬上主膳・坂英力筆 明治初年 1巻 大久保C
3. 奥羽人民告諭 明治2年2月 1巻 中村C
4. 磐翁獄中次第書 大槻磐溪筆 明治4年4月29日 1巻 館蔵
5. 伊達慶邦画像 印藤真楯筆 明治13年 1面 伊文
6. 陸前国仙台藩籍調 明治2年5月 1冊 伊文
7. 兵部省達書 中村藩宛 (明治2年) 7月 1通 館蔵
8. 明治初年伊達家動向抜書 明治元～6年 1通 伊文

近代都市仙台

「教育・戦争と地域社会」2012.2/28～5/27

- 西南戦争の勃発
1. 西郷隆盛書 明治 1幅 大久保C

2. 警部補辞令 石母田琢磨宛 明治10年6月19日 1通
石母田久氏寄贈
 3. 慰労金下賜証書 石母田琢磨宛 明治10年10月6日 1通
石母田久氏寄贈
 4. 征討御会議之図 楊州斎周延画 明治10年 3枚続 大宮司C
 5. 鹿兒島紀聞之内 (田原坂) 鮮齋永濯画 明治10年 3枚続
尚文館C
 6. 西郷城山戦死図 楊州斎周延画 明治10年10月 3枚続
館蔵
 7. 警視各隊江賜酒者之図 大蘇芳年画 明治10年 3枚続
大宮司C
 8. 西南戦争を取材する福地桜痴 (「教導立志基」から)
小林清親画 明治18年 1枚 阿部次郎C
- 自由民権運動の展開
9. 講習余誌出版願並許可証 明治10年2月 1綴 小野家資料
 10. 講習余誌 明治10年創刊 1冊 小野家資料
 11. 進取雑誌 明治13年2月創刊 1冊 安久津家資料
 12. 本立社日誌 明治 1冊 逸見順子氏寄贈
 13. 国会開設哀願書 若生精一郎筆 明治13年12月 2通
逸見順子氏寄贈
 14. 東北改進黨盟約 明治15年 1冊 安久津家資料
 15. 対物宮城の最 菅野長平編集 明治15年7月22日 1枚
三原良吉C
 16. 憲法発右式之図 楊州斎周延画 明治22年 3枚続 館蔵
 17. 大日本帝国議会議御幸之図 楊州斎周延画 (明治23年カ)
3枚続 館蔵

「杜の都のルーツを探る」5/29～8/26

杜の都の原風景

1. 仙台北下図屏風 吉成東温筆 慶応元年 6曲1隻
三原良吉C
 2. 明治元年現状仙台北下之図 明治元年 1面 館蔵
 3. 木村宇右衛門覚書 下 木村宇右衛門可親著 慶安5年頃
1冊 伊文
 4. なみだのたね 濱田景長筆 大正4年 1冊 個人蔵
- 杜の都の誕生
5. 仙台 小倉博著・仙台市教育会発行 大正13年 1冊 館蔵
 6. 仙台市民読本 全 仙台市教育会著・発行 昭和10年 1冊
館蔵
 7. 第二師団遠望之図 奥山無門筆 大正6年 1面
奥山栄五郎氏寄贈
 8. 清水小路 (現仙台駅南) にあった旧藩士の屋敷 (油絵) ※パネル
石田常福筆 明治後期 1点 原資料: 瑞鳳寺蔵
 9. 愛宕山から見た仙台の市街地 (絵葉書) ※パネル
明治末期 1点 原資料: 館蔵
 10. 愛宕山から見た仙台の市街地 (ガラス乾板の写真) ※パネル
昭和10年 1点 原資料: 館蔵
- 杜の都の継承と復興
11. 青葉通の植樹セレモニー (写真) ※パネル 昭和25年4月3日
1点 原資料: 仙台市戦災復興記念館蔵

12. 青葉通 (大町頭付近) と西公園 (写真) ※パネル 昭和28年
1点 原資料: 仙台市戦災復興記念館蔵
13. 仙台市公会堂から見た定禅寺通 (写真) ※パネル
昭和34年頃 1点 原資料: 仙台市戦災復興記念館蔵
14. 青葉通のケヤキ並木 ※パネル 平成18年5月 1点
15. 定禅寺通のケヤキ並木 ※パネル 平成18年5月 1点

「教育・戦争と地域社会」8/28～11/25

教科書にみる仙台・宮城

1. 世界国尽 福沢諭吉訳・慶應義塾蔵板
明治2年版・明治4年再刻 1冊 荒町小学校寄贈
2. 啓蒙手習の文 福沢諭吉編・慶應義塾出版・尚古堂発行
明治4年 1冊 荒町小学校寄贈
3. 小学読本日本史略 市岡正一著・弘学館蔵 明治8年 2冊
荒町小学校寄贈
4. 小学習字手本 (いろは・漢字) 師範学校編・文部省刊
明治7年改正 2冊 荒町小学校寄贈
5. 小学読本 出版人二日町益友社須田平左衛門、国分町伊勢安
右衛門・菅原安兵衛 明治7～10年 1冊 尚文館C
6. 日本地誌略 東京師範学校編・文部省刊 明治7年～9年
1冊 尚文館C
7. 校正宮城県地誌提要 全 宮城師範学校編・宮城県学務課出版
明治17年 1冊 尚文館C
8. 尋常小学地理書 文部省著・発行 昭和13年 1冊
郷右近馨氏寄贈

「軍都」仙台

9. 仙台鎮台辞令 明治18年1月29日付 1通 館蔵
10. 仙台招魂祭山鉦ノ図 楊齋延一画、横山良八印刷・発行
明治25年 3枚続 阿部次郎C
11. 陸軍御用の仙台北下大平商店の団扇 明治40年頃 1点
川村節子氏寄贈
12. 戦時農園の手引 情報局編集 昭和19年発行 1冊
13. 第二師団凱旋之図 菅野覚太郎画 明治29年 1面
石母田久氏寄贈
14. 河内兵營之図 松浦勝也印刷・三沢好吉発行
明治30年 1面 三原良吉C
15. 六合社図 近代 1面 三原良吉C
16. 釈迦堂・歩兵第四聯隊全図 玉虫龍之進画・彫刻、三沢好吉
発行 明治30年 1面 三原良吉C

「教育にみる仙台」11/27～2/24

教科書にみる仙台・宮城

1. 小学読本 出版人二日町益友社須田平左衛門、国分町伊勢安
右衛門・菅原安兵衛 明治7～10年 1冊 尚文館C
2. 日本地誌略 東京師範学校編・文部省刊 明治7年～9年
1冊 尚文館C
3. 校正宮城県地誌提要 全 宮城師範学校編・宮城県学務課出版
明治17年 1冊 尚文館C
4. 帝国読本 学海指針社編・集英堂本店発行 明治26年 8冊

- 尚文館C
5. 修身絵とき 堀江義子著・春陽堂発行 明治27年 4冊
仙台市教委
- 尚文館C
6. 増補帝国小史 山縣悌三郎著・文学社刊 明治29年 2冊
仙台市教委
- 郷右近馨氏寄贈
7. 尋常小学地理書 文部省著・発行 昭和13年 1冊
仙台市教委
- 郷右近馨氏寄贈
8. 初等科国語 文部省著・発行 昭和18年 1冊
仙台市教委
- 郷右近馨氏寄贈
- 東北の工芸研究
9. 照明具 近代 3点 館蔵
10. 漆手板（飛騨春慶 岐阜/錫梨子地塗 静岡/磯草塗 新潟
 /青貝塗・根来塗 宮城/厚貝螺鈿・薄貝螺鈿 富山）
 産業工芸試験所東北支所制作 昭和30年 5点 館蔵
- 特集展示室**
- 村絵図と考古資料から見る村のくらし**
2012. 4/10～6/17
1. 山田条里遺構出土肥前産陶器 鉢（三島手象嵌）・壺・皿 17～18C前半 3点 仙台市教委
2. 山田条里遺構出土大堀相馬産陶器 壺・皿 18c～19c前半 3点 仙台市教委
3. 山田条里遺構出土肥前産磁器 壺・皿 18c～19c前半 3点 仙台市教委
4. 山田条里遺構出土土師質土器 灯明皿 江戸 1点 仙台市教委
5. 山田条里遺構出土埴産陶器 油德利 19c後半 3点 仙台市教委
6. 山田条里遺構出土大堀相馬産陶器 壺・皿・土瓶・蓋 19c後半 4点 仙台市教委
7. 山田条里遺構出土小野相馬産陶器 鉢 19c後半 1点 仙台市教委
8. 山田条里遺構出土肥前産磁器 皿 19c後半 1点 仙台市教委
9. 山田条里遺構出土切込産 磁器 手塩皿・壺 19c後半 2点 仙台市教委
10. 山田条里遺構出土瀬戸美濃産 磁器 白磁皿 19c後半 1点 仙台市教委
11. 山田条里遺構出土東北産 磁器 德利 19c後半 1点 仙台市教委
12. 山田条里遺構出土石製品 砥石 江戸 1点 仙台市教委
13. 山田条里遺構出土石製品 硯 江戸 1点 仙台市教委
14. 山田条里遺構出土金属製品 鎌 江戸 1点 仙台市教委
15. 山田条里遺構出土木製品 下駄 江戸 1点 仙台市教委
16. 山田条里遺構出土木製品 あく抜き用フネ 江戸 1点 仙台市教委
17. 山田条里遺構出土ガラス製品 ガラス玉(かんざしの一部?) 江戸 1点 仙台市教委
18. 松木遺跡出土肥前産陶器 鉢・壺・皿 16～17C 3点 仙台市教委
19. 松木遺跡出土岸窯陶器 香炉・播鉢 16～17C 3点 仙台市教委
20. 松木遺跡出土美濃産陶器 菊皿・皿(志野) 深鉢(織部)・鉢 16～17C 4点 仙台市教委
21. 松木遺跡出土小野相馬産陶器 18～19C前半 1点 仙台市教委
22. 松木遺跡出土大堀相馬産陶器 壺・皿 18～19C前半 3点 仙台市教委
23. 松木遺跡出土肥前産磁器 壺・皿・半筒形碗・そば猪口・蓋・盃 18～19C前半 6点 仙台市教委
24. 松木遺跡出土肥前産青磁 香炉・播鉢 18～19C前半 6点 仙台市教委
25. 松木遺跡出土大堀相馬産陶器 壺・土瓶・蓋・瓶・そば猪口・灰落し・片口鉢 19c後半 7点 仙台市教委
26. 松木遺跡出土埴産陶器 播鉢・ひょうそく・焙烙・ 19c後半 4点 仙台市教委
27. 松木遺跡出土産地不明陶器 ひょうそく・燈明皿・燈明具・鬘蓋 19c後半 4点 仙台市教委
28. 松木遺跡出土県内産土師質土器 燈明皿 19c後半 1点 仙台市教委
29. 松木遺跡出土埴産瓦質土器 燈明皿 19c後半 1点 仙台市教委
30. 松木遺跡出土肥前産磁器 壺・皿・そば猪口・盃 19c後半 4点 仙台市教委
31. 松木遺跡出土切込産磁器 手塩皿・壺 19c後半 2点 仙台市教委
32. 松木遺跡出土土製品 埴人形 花魁・犬 江戸 2点 仙台市教委
33. 松木遺跡出土石製品 上臼・下臼 江戸 2点 仙台市教委
34. 四郎丸館跡出土岸窯陶器 播鉢 16～17C 1点 仙台市教委
35. 四郎丸館跡出土瀬戸美濃産陶器 18c 1点 仙台市教委
36. 四郎丸館跡出土大堀相馬産陶器 18～19C前半 1点 仙台市教委
37. 四郎丸館跡出土埴産陶器 鉢 19c後半 1点 仙台市教委
38. 四郎丸館跡出土肥前産磁器 皿 18～19C前半 1点 仙台市教委
39. 四郎丸館跡出土瀬戸産磁器 碗(焼継痕) 19C前半 1点 仙台市教委
40. 四郎丸館跡出土瓦 丸瓦 江戸 1点 仙台市教委
41. 四郎丸館跡出土木製品 木錘 江戸 1点 仙台市教委
42. 四郎丸館跡出土木製品 樽などの栓 江戸 1点 仙台市教委
43. 四郎丸館跡出土木製品 箸 江戸 1点 仙台市教委
44. 四郎丸館跡出土竹製品 編み具 江戸 1点 仙台市教委
45. 四郎丸館跡出土鹿角製品 江戸 1点 仙台市教委
46. 今泉遺跡出土中国産陶器 黒釉天目茶碗 元(15c) 1点 仙台市教委

47. 今泉遺跡出土中国産磁器 小皿 明(16c) 1点
仙台市教委
48. 今泉遺跡出土中国産青磁 小皿 明(16c前半) 1点
仙台市教委
49. 今泉遺跡出土肥前産陶器 平鉢・碗 16～17C 2点
仙台市教委
50. 今泉遺跡出土岸窯陶器 播鉢 16～17C 2点 仙台市教委
51. 今泉遺跡出土肥前産磁器 皿 18～19C前半 1点
仙台市教委
52. 今泉遺跡出土産地不明磁器 手塩皿 19c後半 1点
仙台市教委
53. 今泉遺跡出土金属製品 錘 江戸 1点 仙台市教委
54. 今泉遺跡出土金属製品 火箸 江戸 1点 仙台市教委
55. 今泉遺跡出土金属製品 鉄砲玉 江戸 1点 仙台市教委
56. 今泉遺跡出土金属製品 煙管 江戸 1点 仙台市教委
57. 今泉遺跡出土鮫皮製品 刀装具 江戸 1点 仙台市教委
58. 名取郡北方山田村絵図 文政4年 1鋪 館蔵
59. 名取郡北方四郎丸絵図 (文政年間)12月10日 1鋪 館蔵
60. 名取郡北方今泉村絵図 (文政年間)11月19日 1鋪 館蔵
61. 農家手習状 西村明観著 国分町伊勢屋半右衛門板
(文政5年)発行 館蔵(尚文館C)
62. 百姓往来 禿箒子著 国分町伊勢屋半右衛門板
嘉永元年発行 館蔵(伊東善広氏寄贈資料)

仙台四大画家

2012.4/10～6/17

1. 花鳥雑画卷 東東洋筆 文化3年 1巻 館蔵
2. 虎図 東東洋筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
3. 富士・足柄山・武蔵野図 東東洋筆 天保8年 3幅対
伊澤家C
4. 孔雀図 小池曲江筆 寛政10年 1幅 石原謙太郎C
5. 羅漢に竜図 小池曲江筆 天保8年 1幅 館蔵
6. 女三の宮図 小池曲江筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
7. 古城朝鮮梅図 菅井梅関筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
8. 水亭午翠図 菅井梅関筆 天保13年 1幅
亀卦川浩氏・守氏寄贈
9. 水西荘真景図下絵 菅井梅関・頼山陽筆 江戸後期 1巻
山形敏一氏寄贈
10. 水西荘図帖 菅井梅関画 弘化3年刊 1帖 館蔵
11. 韃靼人狩獵図 菊田伊洲筆 江戸後期 双幅 館蔵
12. 山水図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
13. 雨中山水図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C

国宝 慶長遣欧使節関係資料

2012.6/19～8/26

1. 支倉常長像(高田力蔵1972年模写) 原図は1615年頃 1面
館蔵
2. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著

- 1615年刊 1冊 館蔵
3. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
4. 支倉常長画像(銅版画) サデレル作 1616～17年頃 1枚 館蔵
5. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵
6. セピリア市宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
7. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
8. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
9. 国宝 ローマ市公民権証書 1615年11月 1通 館蔵
10. 支倉常長書状※複製 勘三郎宛 原本は元和4年(1618)
1幅 館蔵
11. 国宝 鞍 17世紀 2背 館蔵
12. 国宝 鐙 17世紀 1双・1隻 館蔵
13. 国宝 短剣 17世紀 2口 館蔵
14. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
15. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
16. 国宝 ロザリオの聖母像 17世紀 1面 館蔵
17. 国宝 十字架像 17世紀 1口 館蔵
18. 国宝 十字架及びメダイ 17世紀 1具 館蔵
19. 国宝 ロザリオ 17世紀 5連 館蔵
20. 国宝 ディスチブリナ 17世紀 1口 館蔵
21. 国宝 テカ及び袋 17世紀 1具 館蔵
22. 国宝 レリカリオ 17世紀 1口 館蔵
23. 国宝 メダイ残欠 17世紀 6片 館蔵
24. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19世紀 1面 館蔵
25. 国宝 印章 17世紀 2顆 館蔵
- ※No.4～6は6/19～7/29

8/28～11/18

1. 支倉常長像(高田力蔵1972年模写) 原図は1615年頃 1面 館蔵
2. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
3. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
4. 支倉常長画像(銅版画) サデレル作 1616～17年頃 1枚 館蔵
5. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵
6. セピリア市宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
7. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
8. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵
9. 国宝 ローマ市公民権証書※複製 原本は1615年11月 1通 館蔵

10. 支倉常長書状※複製 勘三郎宛 原本は元和4年(1618) 1幅
館蔵
11. 国宝 鞍 17世紀 2背 館蔵
12. 国宝 鐙 17世紀 1双・1隻 館蔵
13. 国宝 短剣 17世紀 2口 館蔵
14. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
15. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
16. 国宝 ロザリオの聖母像 17世紀 1面 館蔵
17. 国宝 十字架像 17世紀 1口 館蔵
18. 国宝 十字架及びメダイ 17世紀 1具 館蔵
19. 国宝 ロザリオ 17世紀 5連 館蔵
20. 国宝 ディスチプリナ 17世紀 1口 館蔵
21. 国宝 テカ及び袋 17世紀 1具 館蔵
22. 国宝 レリカリオ 17世紀 1口 館蔵
23. 国宝 メダイ残欠 17世紀 6片 館蔵
24. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19世紀 1面 館蔵
25. 国宝 印章 17世紀 2顆 館蔵

仙台藩の武器道具

2012.6/19～8/26

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 原品は伊達政宗所用 1領 伊文
 2. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山 1領
伊文
 3. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用、菅野重成拝領
桃山～江戸初期 1領 菅野壽雄氏寄贈
 4. 朱鍍漆紫糸素懸威六枚胴具足 三宝荒神形兜付
伝上杉謙信所用 室町～桃山 1領 館蔵
 5. 黒漆鳩胸五枚胴具足 伊達宗村所用 江戸中期 1領 伊文
 6. 金梨地竹に雀九曜紋刀掛 江戸前期 1架 伊文
 7. 孔雀蒔絵鞍鐙 蒔絵 松立斎 江戸 1組 伊文
 8. 火縄銃「東雲」 銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文
 9. 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山～江戸初期 1領 菅野壽雄氏寄贈
 10. 赤羅紗地松喰い立ち鶴紋陣羽織 江戸 1領 個人蔵
 11. 紫羅背板水玉模様陣羽織 江戸前期～中期 1領 伊文
- ※No.2は7/31～8/19、No.3は8/21～、No.9は6/19～7/1、No.10は7/3～7/29、No.11は7/31～8/26

8/28～11/18

1. 重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足
豊臣秀吉所用、伊達政宗拝領 桃山 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用、菅野重成拝領
桃山～江戸初期 1領 菅野壽雄氏寄贈
3. 黒漆五枚胴具足 片倉重綱所用 桃山～江戸初期 1領
片倉家資料
4. 黒漆五枚胴具足 伊達綱宗所用 江戸前期 1領 伊文
5. 金梨地菊桐紋刀掛 江戸前期 1架 伊文
6. 鶴蒔絵鞍鐙 江戸中期 1具 伊文
7. 火縄銃「東雲」 銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文

8. 緋羅紗地北斗七星文陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈
 9. 重要文化財 小紋染胴服 桃山 1領 片倉家資料
 10. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領
伊文
- ※No.1は10/23～11/18、No.8は8/28～9/30、No.9は10/2～10/28、No.10は10/30～11/18

ミニ特集 被災地の文化財を守れ 仙台市・福島美術館所蔵の絵画 2012.7/31～8/26

1. 即非像 自賛 江戸前期 1幅 福島美術館蔵
2. 若衆に花魁図 忠岡三千子筆 江戸中～後期 双幅
福島美術館蔵
3. 昆虫大名行列図 大庭学僊筆 江戸末～明治 1巻
福島美術館蔵
4. 粉本・写生・縮図 菊田伊洲筆 江戸後期 2巻
福島美術館蔵

かたちでわかる古文書入門

2012.11/20～2013.2/24

史料のかたち

1. 基本になるかたち 伊達晴宗知行宛行状 濱田下総守宛
天文12年11月29日 1通 濱田家資料
2. 折り目と逆さ文字が特徴です 前田玄以書状
伊達政宗宛 (文禄3年)4月3日 1通 伊文
3. たくさん書ける横帳形式 在府中御公用に付不時御人数並御
兵具物御定 享保13年4月 1冊 伊文
4. 郵便はがき登場 大槻磐溪はがき 黒川剛宛
明治7年6月1日 1通 個人蔵
5. 相馬黒光はがき 三原良吉宛 (昭和前期)3月22日 1通
三原良吉C

料紙いろいろ

6. 独特の薄墨色 後醍醐天皇綸旨 伊達政長宛
元弘3年7月5日 1通 伊文
7. 口宣案 上卿宛 万治元年12月27日 1通 伊文
8. 起請文にひそむ神仏のすがた 蘆名止々斎(盛氏)起請文
伊達輝宗宛 永禄9年正月10日 1通 伊文
9. 艶やか!牡丹をあしらって 信恭院書状 (伊達齊宗宛)
江戸後期 1通 伊文
10. 松ぼっくりが目を惹きます 守真院(詮子)書状
伊達齊宗宛 (年月日未詳) 1通 伊文



9. 信恭院書状

11. 江戸時代の男性から女性への手紙 伊達綱宗書状
(浄眼院・三沢初子宛) (延宝3年閏4月16日カ) 1通 伊文
12. 江戸時代の女性の手紙 浄眼院消息 (伊達綱村宛)
(年未詳)5月21日 1通 伊文
13. 明治時代の女性の手紙 エカテリナ今田書状
イヲアン小野宛 明治13年5月12日 1通 小野家資料
14. 明治時代の男性の手紙 大槻修二書状 黒川剛宛
明治15年5月6日 1通 個人蔵
- 政宗文書のかたち
15. 「筆まめ武将」の誕生!?! 伊達政宗書状 年月日未詳 1通
伊文
16. 所変われば字も変わる 伊達政宗書状(自筆)
伊達成実宛 (天正17年)5月14日 1通 伊文
17. 伊達政宗書状(自筆) 左近・右衛門尉宛 (慶長11年)6月3日
1通 伊文
18. 私の名前は「政宗」です 伊達政宗書状(自筆)
藤堂和泉守高虎宛 (慶長18年)4月19日 1通 伊文
19. 花押の使い分け(公用花押) 伊達政宗書状(自筆)
細川全隆宛 (慶長16~17年)7月28日 1幅 伊澤家C
20. 花押の使い分け(私用花押) 伊達政宗書状(自筆)
伊達宗清宛 (慶長18年)7月20日 1幅 館蔵
21. 思いつきの私用花押 伊達政宗書状(自筆)
菅野重成宛 (年未詳)5月28日 1通 菅野家資料
22. 幕府重臣なのに私用花押 伊達政宗書状(自筆)
柳生但馬守宗矩宛 (寛永10年)3月23日 1幅
加藤昌秀氏寄贈
23. このハンコで押してました 伊達政宗黒印状(右筆)
白石与吉宛 寛永10年3月12日 1通 伊文
24. 伊達政宗所用円印(印文「藤氏政宗・・・」) 1顆 伊文
年始の書状
25. 藩主から家臣へ新年の挨拶 伊達忠宗書状
中島伊勢宛 (年未詳)正月2日 1通 中島家資料
26. 女性も新年のお祝い 雲松院(利根姫)書状
伊達吉村宛 (寛保3年)正月2日 1通 伊文
27. 新年の挨拶も派手になりました 天江富弥年賀状
昭和3年正月 1通 三原良吉C

瑞巖寺の障壁画

2012.11/20 ~ 12/25

1. 瑞巖寺本堂孔雀の間襖 狩野左京筆 元和8年 6面
瑞巖寺蔵

屏風絵特集

2013.1/9 ~ 2/24

1. 花鳥図屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 8曲1隻 佐藤明C
2. 源氏物語図屏風 江戸前期 6曲1双 館蔵
3. 竹に太湖石図屏風 東洋洋筆 文化元年(1804)頃 2曲1隻

テーマ 展示室 I

仙台藩の武器武具

2012.2/28 ~ 4/8

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山~江戸初期 1領 菅野壽雄氏寄贈
2. 黒漆五枚胴具足 伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
3. 黒漆五枚胴具足 伊達重村所用 江戸中期 1領 伊文
4. 勝色金日の丸塩竈神号旗 江戸 1旒 千葉登志子氏寄贈
5. 刀 銘兼元 室町 1口 崎三郎助氏寄贈
6. 刀 無銘(伝月山) 室町 1口 佐藤敬二郎氏寄贈
7. 十文字槍 藤原正実作 室町 1口 伊文
8. 金梨地菊桐紋刀掛 江戸前期 1架 伊文
9. 北斗七星文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
10. 茶猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
11. 金梨地花鳥蒔絵鞍鐙 江戸後期 1具 伊文
12. 水牛製胴乱 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期 1具
菅野壽雄氏寄贈
13. 鼈甲製口葉入 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期
1具 菅野壽雄氏寄贈
14. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵
15. 緋羅紗地波文様火事羽織 江戸後期 1領 館蔵
16. 浅葱変綾地波涛文具足下 江戸後期 1領
ナンシー・大山氏寄贈

2012.4/10 ~ 6/17

1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用
桃山~江戸初期 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
3. 黒漆五枚胴具足 伊達重村所用 江戸中期 1領 伊文
4. 白地赤日の丸旗 江戸後期 1旒 館蔵
5. 刀 銘安倫 江戸中期 1口 館蔵
6. 刀 銘安倫 宝永2年 1口 館蔵
7. 市文 獅山公治家記録享保五年二月一七日条 江戸中期
1冊 伊文
8. 金梨地菊桐紋刀掛 江戸前期 1架 伊文
9. 北斗七星文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
10. 茶猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
11. 金梨地花鳥蒔絵鞍鐙 江戸後期 1具 伊文
12. 水牛製胴乱 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期 1具
菅野壽雄氏寄贈
13. 鼈甲製口葉入 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期
1具 菅野壽雄氏寄贈
14. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵
15. 黒呉縞地竹に雀紋火事装束 江戸後期 1領 館蔵
16. 緋羅紗地三巴紋陣羽織 江戸後期 1領 新田貴一氏寄贈
17. 重要文化財 山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 1領

- | | |
|--|--|
| 1. 支倉常長像(高田力蔵1972年模写) 原図は1615年頃 1面
館蔵 | 「ジャパン」 1点
古賀孝C |
| 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵 | |
| 3. セピリア市宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵 | |
| 4. ローマ市街図 16世紀末刊 1面 館蔵 | |
| 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵 | |
| 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵 | |
| 7. 支倉常長画像(銅版画) サデルレル作 1616～17年頃 1枚
館蔵 | |
| 8. 支倉常長画像(銅版画) 1616～17年頃 1枚 館蔵 | |
| 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵 | |
| 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)※複製
原本は慶長18年(1613)9月4日 1面 館蔵 | |
| 11. 国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵 | |
| 12. 国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵 | |
| 13. 国宝 ローマ市公民権証書※複製 原本は1615年11月 1通
館蔵 | |
| 14. 国宝 十字架像 17世紀 1口 館蔵 | |
| 15. 国宝 十字架及びメダイ 17世紀 1具 館蔵 | |
| 16. 国宝 ロザリオ 17世紀 5連 館蔵 | |
| 17. 国宝 メダイ残欠 17世紀 6片 館蔵 | |
| 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19世紀 1面 館蔵 | |
| 19. 国宝 ロザリオの聖母像 17世紀 1面 館蔵 | |
| 20. 国宝 短剣 17世紀 2口 館蔵 | |
| 21. 支倉常長書状(勘三郎宛)※複製 原本は元和4年(1618) 1幅
館蔵 | |
| | 13. 染付蜻蛉花唐草文碗 底銘「岩窯」 大正切込焼 切込(大正切込) 1点 三原良吉C |
| | 14. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 15. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 16. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 17. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 18. 壺 埴焼 1口 館蔵 |
| | 19. 壺 埴焼 1口 館蔵 |
| | 20. 壺 埴焼 1口 館蔵 |
| | 「食のうつわ」5/29～8/26 |
| | 1. 染付牡丹唐草文大皿 古伊万里 江戸(19C) 1枚 伊文 |
| | 2. 染付山水文大皿有田 1枚 伊文 |
| | 3. 五彩花鳥文碗 中国・景德鎮窯 明～清 5枚 伊文 |
| | 4. 青磁鮑形皿 有田 江戸(18C) 3枚 伊文 |
| | 5. 青磁菊花形皿 有田 江戸(18C) 5枚 伊文 |
| | 6. 染付桜花文輪花鉢 有田 江戸(17～18C) 3枚 伊文 |
| | 7. 染付団龍菊流水文角皿 有田 江戸(19C) 3枚 伊文 |
| | 8. 絵替長皿形向付三浦乾也 3枚 館蔵 |
| | 9. 染付蜻蛉草文辣蕪形德利 切込焼 1口 泉C |
| | 10. 唐草文石皿 3枚 伊文 |
| | 11. 石皿 底銘「岩窯 宮崎 陸前 ジャパン」 2枚 伊文 |
| | 12. 梅形寄蓋物 三浦乾也 切込(大正切込) 1組 新井田C |
| | 13. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 14. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 15. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 16. 甕 埴焼 1口 館蔵 |
| | 17. 壺 埴焼 1口 館蔵 |
| | 18. 壺 埴焼 1口 館蔵 |
| | 19. 壺 埴焼 1口 館蔵 |

コレクション展示室 I

焼物

「切込焼」2012.2/28～5/27

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. 染付三引両火鉢切込焼 1点 三原良吉C | |
| 2. 染付唐子寿老人文德利 切込焼 1点 古賀孝C | |
| 3. 染付人物文辣蕪形德利 切込焼 1点 館蔵 | |
| 4. 染付蜻蛉草文辣蕪形德利 切込焼 1点 館蔵 | |
| 5. 染付網手花卉文辣蕪形德利 切込焼 1点 宮城正俊氏寄贈 | |
| 6. 染付瓢箪文辣蕪形德利 切込焼 1点 館蔵 | |
| 7. 染付牡丹蝶文辣蕪形德利 切込焼 1点 館蔵 | |
| 8. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 銘「天保六年十月吉日仙台加美郡宮崎村之内切籠二而湯倉ヨリ出ル石ヲ以製之」底銘「湯倉製」「英長画」 1点 個人蔵 | |
| 9. 染付松に蜻蛉草文長皿 切込焼 1点 古賀孝C | |
| 10. 染付藤の丸に蜻蛉草文長皿 切込 1点 古賀孝C | |
| 11. 染付松文德利 切込焼 1点 古賀孝C | |
| 12. 染付葡萄文コップ 大正切込焼 底銘「岩窯 宮崎 陸前 | |
| | 「三浦乾也の焼物」/「切込焼」8/28～11/25 |
| | 1. 乾山写鶴文黒楽茶碗 三浦乾也 19C 1口 新井田C |
| | 2. 陶製経筒写花入 三浦乾也 明治18年5月 1口 新井田C |
| | 3. 雪松文四方鉢 三浦乾也 19C 1口 新井田C |
| | 4. 春駒御福人形 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 5. 白蔵主 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 6. 老子像 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 7. 十二支扇面文火鉢 三浦乾也 19C 1口 新井田C |
| | 8. 菊文茶碗 五代目尾上菊五郎好 三浦乾也 19C 1口 新井田C |
| | 9. 乾也玉簪 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 10. 絵替小玉 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 11. 秋草文中差 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 12. 金襴手中差 三浦乾也 19C 1点 新井田C |
| | 13. 茶碗象眼煙管入 雪花文煙管付 三浦乾也 19C 1式 新井田C |
| | 14. 松文煙管入 印籠・緒締付 三浦乾也 19C 1組 新井田C |
| | 15. 蓮形柄香炉 三浦乾也 明治17年6月 1合 新井田C |

16. 花卉文絵替葉形向付 三浦乾也 19C 5枚1組	新井田C	5. 堤人形 唄稽古 江戸後期 1点	足立孔C
17. 白磁供献器 切込焼 2合	古賀孝C	6. 堤人形 花車 江戸後期 1点	本出C
18. 染付ふくら雀手塩皿 切込焼 5口	古賀孝C	7. 堤人形 童女 江戸後期 1点	本出C
19. 染付唐子寿老人図徳利 切込焼 1口	古賀孝C	8. 堤人形 三味線 江戸後期 1点	本出C
20. 瑠璃釉御神酒徳利 切込焼 2口	館蔵	9. 堤人形 手まり 江戸後期 1点	本出C
21. 染付走馬文瓠形徳利 切込焼 1口	宮城正俊氏寄贈	10. 堤人形 犬と子供 江戸後期 1点	本出C
22. 甕 堤焼 1点	館蔵	11. 堤人形 太鼓打ち 江戸後期 1点	本出C
23. 甕 堤焼 1点	館蔵	12. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点	本出C
24. 甕 堤焼 1点	館蔵	13. 堤人形 猫 江戸後期 1点	本出C
25. 酒甕 堤焼 1点	館蔵	14. 堤人形 犬ひき花魁 江戸後期 1点	本出C
26. 壺 堤焼 1点	館蔵	15. 堤人形 花籠 江戸後期 1点	本出C
27. 壺 堤焼 1点	館蔵	16. 堤人形 うさぎと唐子 江戸後期 1点	本出C
28. 壺 堤焼 1点	館蔵	17. 堤人形 唐人笛 江戸後期 1点	本出C

「東北の焼物」11/27～2013.2/24

1. 三島手鉢 堤焼、初代乾馬作「ZENTAI」「SKIJAM」「SIJOUWDI」 明治 1合	個人蔵	20. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出C
2. 染付藤の丸に丸文長皿 切込焼 2口	古賀孝C	21. 堤人形 瓢持ち 江戸後期 1点	本出C
3. 白釉大皿 会津本郷焼 1口	館蔵	22. 堤人形 針箱 江戸後期 1点	本出C
4. 徳利 上野目焼 1口	石川治行C	23. 堤人形 針箱 江戸後期 1点	本出C
5. 菊文扇型皿 上野目焼 1口	館蔵	24. 堤人形 鯛かつぎ 江戸後期 1点	本出C
6. 染付芙蓉文徳利 平清水焼 1口	館蔵	25. 花巻人形 大黒 江戸後期 1点	本出C
7. 筒描鉢 悪戸焼 1口	館蔵	26. 花巻人形 馬子 江戸後期 1点	本出C
8. 鉄絵竹文醬油差し 悪戸焼 1口	横山文夫C	27. 花巻人形 唐子 江戸後期 1点	本出C
9. 黒釉徳利 鍛冶町焼 1口	石川治行C	28. 花巻人形 熊と金太郎 江戸後期 1点	本出C
10. 白釉切立 白岩焼 1口	横山文夫C	29. 花巻人形 花車 江戸後期 1点	本出C
11. 白釉輪花皿 白岩焼 1口	横山文夫C	30. 花巻人形 鯛車 江戸後期 1点	本出C
12. 飯茶碗 小久慈焼 1口	横山文夫C	31. 花巻人形 母と子 江戸後期 1点	本出C
13. 徳利 成島焼 1口	石川治行C	32. 花巻人形 神功皇后 江戸後期 1点	本出C
14. 火入 大宝寺焼 1口	横山文夫C	33. 花巻人形 武内宿弥 江戸後期 1点	本出C
15. 飴釉鯨鉢 会津本郷焼 1口	館蔵	34. 花巻人形 琴弾き 江戸後期 1点	本出C
16. 油壺 会津本郷焼 1口	横山文夫C	35. 花巻人形 熊と金太郎 江戸後期 1点	本出C
17. 鉄絵梅図皿 大堀相馬焼 1口	館蔵	36. 花巻人形 三味線 江戸後期 1点	本出C
18. 鉄絵走馬文徳利大堀相馬焼 1口	石川治行C	37. 花巻人形 便り 江戸後期 1点	本出C
19. 色絵山水文土瓶大堀相馬焼 1合 館蔵		38. 花巻人形 髪結 江戸後期 1点	本出C
20. 甕 堤焼 1点	館蔵	39. 花巻人形 魚屋 江戸後期 1点	本出C
21. 甕 堤焼 1点	館蔵	40. 花巻人形 相撲取り 江戸後期 1点	本出C
22. 甕 堤焼 1点	館蔵	41. 花巻人形 恵比寿 江戸後期 1点	本出C
23. 酒甕 堤焼 1点	館蔵	42. 花巻人形 うちわ 江戸後期 1点	本出C
24. 壺 堤焼 1点	館蔵		
25. 壺 堤焼 1点	館蔵		
26. 壺 堤焼 1点	館蔵		

古人形

「堤人形と花巻人形」2013.2/28～5/27

1. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点	足立孔C	1. 相良人形 太鼓打ち 江戸後期 1点	足立孔C
2. 堤人形 佐佐木高綱 江戸後期 1点	足立孔C	2. 相良人形 鯛つかみ 江戸後期 1点	足立孔C
3. 堤人形 唐人笛 江戸後期 1点	足立孔C	3. 相良人形 亀抱き童子 江戸後期 1点	足立孔C
4. 堤人形 手まり 江戸後期 1点	足立孔C	4. 相良人形 俵持ち 江戸後期 1点	足立孔C
		5. 相良人形 犬乗り 江戸後期 1点	足立孔C
		6. 相良人形 犬抱き 江戸後期 1点	足立孔C
		7. 相良人形 童子 江戸後期 1点	足立孔C
		8. 相良人形 舟遊び 江戸後期 1点	足立孔C
		9. 相良人形 這い子 江戸後期 1点	足立孔C
		10. 相良人形 馬子 江戸後期 1点	足立孔C

11. 相良人形 母と子 江戸後期 1点	足立孔C	13. 三春人形 力弥 江戸後期 1点	本出C
12. 相良人形 狐忠信 江戸後期 1点	足立孔C	14. 花巻人形 斧定九郎 江戸後期 1点	本出C
13. 相良人形 坐美人 江戸後期 1点	足立孔C	15. 相良人形 勘平 江戸後期 1点	本出C
14. 相良人形 三味線弾き 江戸後期 1点	足立孔C	16. 花巻人形 片岡伝五右衛門 江戸後期 1点	本出C
15. 相良人形 てまり 江戸後期 1点	館蔵	17. 花巻人形 大星由良之助 江戸後期 1点	本出C
16. 相良人形 まんじゅう喰い 江戸後期 1点	館蔵	18. 浮世絵 高の師直〔片岡我童〕・かほよ〔沢村百之助〕・塩治判官〔市川姉蔵〕 豊原国周画 明治9年 3枚続 大宮司C	
17. 相良人形 かめ割 江戸後期 1点	館蔵	19. 浮世絵 りきや〔坂東家橘〕・由良之助〔市川団十郎〕・小なみ〔岩井半四郎〕・本蔵〔市川左団次〕・おいし〔尾上菊五郎〕・となせ〔中村宗十郎〕 明治12年 3枚続 大宮司C	
18. 相良人形 鯛乗り 江戸後期 1点	館蔵	20. 浮世絵 若狭之介〔河原崎三升〕・高の師直〔尾上梅幸〕・かおよ〔尾上栄次郎〕・塩谷判官〔大谷紫道〕 豊原国周画 明治3年 3枚続 大宮司C	
19. 相良人形 亀かつぎ 江戸後期 1点	館蔵	21. 浮世絵 忠臣蔵 七段目 豊原国周画 明治28年 3枚続 大宮司C	
20. 相良人形 お多福 江戸後期 1点	館蔵	22. 三春人形 義経 江戸後期 1点	本出C
21. 相良人形 福助 江戸後期 1点	館蔵	23. 堤人形 弁慶 江戸後期 1点	本出C
22. 相良人形 かぶと持ち 江戸後期 1点	館蔵	24. 三春人形 弁慶 江戸後期 1点	本出C
23. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点	足立孔C	25. 花巻人形 義経 江戸後期 1点	本出C
24. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点	足立孔C	26. 相良人形 静御前 江戸後期 1点	館蔵
25. 堤人形 坐美人 江戸後期 1点	足立孔C	27. 堤人形 静御前 江戸後期 1点	本出C
26. 堤人形 火焰太鼓 江戸後期 1点	足立孔C	28. 堤人形 狐忠信 江戸後期 1点	本出C
27. 堤人形 三味線弾き 江戸後期 1点	足立孔C	29. 浮世絵 歌舞伎十八番之内 勸進帳 豊原国周画 明治12年 3枚続 大宮司C	
28. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点	館蔵	30. 浮世絵 源義経〔市川団十郎〕・静御前〔岩井半四郎〕・狐忠信〔尾上菊五郎〕 楊洲周延画 明治14年 3枚続 大宮司C	
29. 堤人形 太鼓持ち 江戸後期 1点	館蔵	31. 浮世絵 歌舞伎十八番之内 勸進帳 豊原国周画 明治23年 3枚続 大宮司C	
30. 堤人形 針箱 江戸後期 1点	本出C	32. 浮世絵 源義経〔助高屋高助〕・静御前〔沢村田之助〕・狐忠信〔市川右団次〕 豊原国周画 (明治15年) 3枚続 大宮司C	
31. 堤人形 唄稽古 江戸後期 1点	本出C	33. 堤人形 朝比奈 江戸後期 1点	本出C
32. 堤人形 枕持ち 江戸後期 1点	本出C	34. 三春人形 朝比奈 江戸後期 1点	本出C
33. 堤人形 瓢かつぎ 江戸後期 1点	本出C	35. 堤人形 曾我五郎 江戸後期 1点	館蔵
34. 堤人形 瓢持ち 江戸後期 1点	本出C	36. 浮世絵 矢の根五郎〔市川団十郎〕 豊原国周画 明治15年 3枚続 大宮司C	
35. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点	本出C	37. 浮世絵 曾我五郎〔市川団十郎〕・虎御前〔岩井半四郎〕・曾我十郎〔中村宗十郎〕 楊洲周延画 明治14年 3枚続 大宮司C	
36. 堤人形 瓢乗り犬 江戸後期 1点	本出C	38. 三春人形 和藤内 江戸後期 1点	本出C
37. 堤人形 鯛抱き 江戸後期 1点	本出C	39. 花巻人形 和藤内 江戸後期 1点	本出C
38. 鶴岡人形 犬乗り童子 明治 1点	足立孔C	40. 堤人形 政岡 江戸後期 1点	本出C
39. 鶴岡人形 象乗り唐子 明治 1点	足立孔C	41. 浮世絵 錦祥女〔岩井半四郎〕・和藤内母〔中村翫雀〕・和藤内〔河原崎三升〕・閑喜〔市川左団次〕 明治5年 3枚続 大宮司C	
40. 鶴岡人形 三番叟 明治 1点	足立孔C	42. 浮世絵 錦祥女〔坂東家橘〕・和藤内〔市川左団次〕 明治16年 3枚続 阿部次郎C	
41. 鶴岡人形 太鼓打ち 明治 1点	足立孔C	※No.4. 9. 18. 19. 29. 30. 36. 41は～9/30、No.5. 10. 20. 21. 31. 32. 37. 42は10/2～11/25	
42. 鶴岡人形 遊び仲間 明治 1点	足立孔C		
43. 鶴岡人形 子負い 明治 1点	足立孔C		
「芝居と東北の古人形」8/28～11/25			
1. 相良人形 口上 江戸後期 1点	館蔵		
2. 堤人形 道成寺 江戸後期 1点	本出C		
3. 三春人形 道成寺 江戸後期 1点	本出C		
4. 浮世絵 歌舞伎座所作事 道成寺 明治23年 3枚続 大宮司C			
5. 浮世絵 京鹿子 娘道成寺 明治29年 3枚続 山谷C			
6. 相良人形 八重垣姫 江戸後期 1点	館蔵		
7. 堤人形 八重垣姫 江戸後期 1点	本出C		
8. 三春人形 武智十次郎と初菊 江戸後期 1点	本出C		
9. 浮世絵 八重垣姫〔市川団十郎〕・勝より〔中村福助〕・濡衣〔岩井松之助〕 豊原国周画 明治21年 3枚続 大宮司C			
10. 浮世絵 八重垣姫〔市川団十郎〕・武田勝頼〔中村福助〕 豊原国周画 明治21年 3枚続 大宮司C			
11. 花巻人形 顔世御前 江戸後期 1点	本出C		
12. 三春人形 小浪 江戸後期 1点	本出C		
「年中行事と東北の古人形」11/27～2013.2/24			

1. 相良人形 雛 江戸後期 1点	館蔵	51. 花巻人形 雛 江戸後期 1点	本出C
2. 相良人形 雛 江戸後期 1点	館蔵	52. 花巻人形 雛 江戸後期 1点	本出C
3. 相良人形 恵比寿・大黒 鯛かつぎ 江戸後期 1点	館蔵	53. 花巻人形 雛 江戸後期 1点	本出C
4. 相良人形 地謡 江戸後期 1点	館蔵	54. 花巻人形 雛 江戸後期 1点	本出C
5. 相良人形 小鼓 江戸後期 1点	館蔵	55. 花巻人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出C
6. 相良人形 雛 江戸後期 1点	足立孔C	56. 花巻人形 三番叟 江戸後期 1点	本出C
7. 相良人形 雛 江戸後期 1点	足立孔C		
8. 堤人形 雛 男雛 江戸後期 1点	足立孔C	茶道具	
9. 堤人形 雛 女雛 江戸後期 1点	足立孔C	2012.2/28～5/27	
10. 堤人形 雛 男雛 江戸後期 1点	足立孔C	1. 竹一重切花入 伝伊達綱村作 江戸中期 1口	平田道子氏寄贈
11. 堤人形 雛 女雛 江戸後期 1点	足立孔C	2. 孔雀座蓆 江戸 1本	館蔵
12. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点	足立孔C	3. 白磁椀形向付 有田焼 江戸中期 5口	伊文
13. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点	足立孔C		
14. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点	足立孔C	「茶碗特集」5/29～8/26	
15. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点	足立孔C	1. 迫焼茶入 銘多留満 伊達慶邦銘 江戸後期 1口	伊文
16. 堤人形 五人囃子 江戸後期 1点	足立孔C	2. 割木瓜形水指 備前焼 1合	館蔵
17. 堤人形 五人囃子 地謡 江戸後期 1点	足立孔C	3. 白磁印花飛鳥牡丹文鉢 中国 北宋～金時代(12C) 1口	ゴトウC
18. 堤人形 五人囃子 地謡 江戸後期 1点	足立孔C	4. 象嵌青磁石榴雲文平茶碗 朝鮮 高麗(12～13C) 1口	有井C
19. 堤人形 五人囃子 太鼓 江戸後期 1点	足立孔C	5. 平茶碗 銘「清風」 朝鮮 16C頃 1口	ゴトウC
20. 堤人形 堂内天神 江戸後期 1点	館蔵	6. 刷毛目三島茶碗 朝鮮 1口	有井C
21. 堤人形 雛 江戸後期 1点	本出C	7. 粉引茶碗 朝鮮 李朝 1口	有井C
22. 堤人形 雛 江戸後期 1点	本出C	8. 色絵注連縄文碗 京都・粟田焼 印銘「宝山」 江戸(18C) 1口	伊文
23. 堤人形 恵比寿・大黒 鯛かつぎ 江戸後期 1点	本出C	9. 赤楽茶碗 銘「唐人」 川上不自 江戸中期 1口	有井C
24. 堤人形 恵比寿 江戸後期 1点	本出C	10. 月に萩文黒楽茶碗 三浦乾也 銘「乾山」 幕末～明治 1口	新井田C
25. 堤人形 大黒 江戸後期 1点	本出C		
26. 堤人形 天神 江戸後期 1点	本出C	11/27～2/24	
27. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出C	1. 短檠 江戸後期 1基	伊文
28. 堤人形 隨身 江戸後期 1点	本出C	2. 割木瓜形水指 備前焼 1合	館蔵
29. 堤人形 隨身 江戸後期 1点	本出C	3. 七草鳴鶏図蒔絵茶箱 銘「太郎月」「松立斎」 江戸後期 1合	館蔵
30. 堤人形 天神 江戸後期 1点	本出C		
31. 堤人形 地謡 江戸後期 1点	本出C	浮世絵	
32. 堤人形 雛 女雛 江戸後期 1点	本出C	「幕末・明治の錦絵50」2012.2/28～6/3	
33. 堤人形 雛 男雛 江戸後期 1点	本出C	1. 岩藤〔坂東三津五郎〕 歌川豊国(文政2年) 豎大判1枚	阿部次郎C
34. 堤人形 大鼓 江戸後期 1点	本出C	2. 鏡山行列之図 歌川国貞 江戸後期 大判3枚続 大宮司C	
35. 三春人形 雛 江戸後期 1点	本出C	3. 局岩ふじ〔市川海老蔵〕・お初〔岩井杜若〕 歌川国貞(天保8年) 大判2枚続 大宮司C	
36. 三春人形 雛 江戸後期 1点	本出C	4. おはつ〔瀬川菊之丞〕・尾上〔沢村源之助〕・(岩)ふじ〔市川團十郎〕 歌川国貞(天保2年) 大判3枚続 大宮司C	
37. 三春人形 雛 男雛 江戸後期 1点	本出C	5. 局岩藤〔海老蔵〕・おはつ〔岩井杜若〕・中老尾上〔市川国蔵〕 歌川国貞(天保8年) 大判3枚続 大宮司C	
38. 三春人形 雛 女雛 江戸後期 1点	本出C	6. めしつかひ初・局岩藤・中老おのへ 歌川豊国Ⅲ 安政2年	
39. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点	本出C		
40. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点	本出C		
41. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点	本出C		
42. 三春人形 五人囃子 江戸後期 1点	本出C		
43. 三春人形 五人囃子 小鼓 江戸後期 1点	本出C		
44. 三春人形 牛乗り天神 江戸後期 1点	本出C		
45. 三春人形 天神 江戸後期 1点	本出C		
46. 三春人形 大黒 江戸後期 1点	本出C		
47. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点	本出C		
48. 花巻人形 小鼓 江戸後期 1点	館蔵		
49. 花巻人形 天神 江戸後期 1点	館蔵		
50. 花巻人形 五人囃子 江戸後期 1点	館蔵		

- 大判3枚続 大宮司C
7. 昔語奥勤乃鏡山 局岩藤・中老尾上・尾上召仕初
歌川豊国Ⅲ 弘化4年 大判3枚続 大宮司C
8. 局岩藤・中老尾上・召仕初 歌川豊国Ⅲ 嘉永5年
大判3枚続 大宮司C
9. 局岩藤・中老尾上・召仕お初 歌川国芳 嘉永期
大判3枚続 大宮司C
10. 板東新左衛門の奥女中横笛・坂東彦三郎の局岩藤・沢村訥升
の中老尾上・沢村田之助の召仕はつ 落合芳幾 文久2年
大判3枚続 大宮司C
11. 召仕お初〔沢村田之助〕・局岩藤〔中村芝翫〕・中老おのへ〔中
村福助〕 歌川国貞Ⅱ 文久2年 大判3枚続 大宮司C
12. 中老尾上〔中村福助〕・局岩藤〔中村芝翫〕・仕女おはつ〔沢
村田之助〕 豊原国周 慶応元年 大判3枚続 大宮司C
13. (治承四年四月、源三位頼政宇治橋において平家と合戦、討
死に及ぶ因) 橋本貞秀 嘉永期 大判3枚続 大宮司C
14. 平清盛の火の病 歌川国芳 弘化期 大判3枚続 大宮司C
15. 源義経一ノ谷頂上陣揃因 歌川国芳 嘉永期 大判3枚続
大宮司C
16. 壇ノ浦源平大戦之因 橋本貞秀 嘉永期 大判3枚続
大宮司C
17. 月百姿 舵楼の月・平清経 月岡芳年 明治20年
豎大判1枚 館蔵
18. 月百姿 ほととぎす 月岡芳年 明治21年 豎大判1枚
大宮司C
19. 芳年武者无類 九郎判官源義経・能登守教経 月岡芳年
不詳 豎大判1枚 大宮司C
20. 芳年武者无類 八幡太郎義家 月岡芳年 不詳
豎大判1枚 大宮司C
21. 東都名所 三ツ井組ハウスノ因 するが町 歌川広重Ⅲ
明治初年 大判3枚続 大宮司C
22. 蒸気車出発時刻賃金附 歌川広重Ⅲ 明治5年 大判3枚続
大宮司C
23. 東京日本橋繁栄之因 歌川芳虎 明治4年 大判3枚続
大宮司C
24. 東京名所之内 石築万世橋盛景 歌川国輝Ⅱ 明治7年
大判3枚続 大宮司C
25. 東京名所のうち 洲さき弁天町遊郭真けい 幾英 明治21年
大判3枚続 和泉C
26. 高貴乗馬之因 楊洲周延 大判3枚続 尚文館C
- 「幕末・明治の錦絵51」6/5～9/2
1. しづか御せん〔中村松江〕・狐忠信〔中村歌右衛門〕
歌川豊国 (文化12年) 大判2枚続 阿部次郎C
2. 東海道五十三駅の内 岡崎八ツ橋村 歌川国貞 天保6年
大判3枚続 大宮司C
3. 昔ばなしの戯 猫又年をへて古寺に怪をなす因 歌川国芳
弘化4～嘉永5年 大判3枚続 阿部次郎C
4. 唐土姫・天竺冠者・斯波左衛門 歌川国芳 嘉永2年
大判3枚続 阿部次郎C
5. 白縫大尽実八若那姫・花野村の千種実八鳥山秋作
歌川豊国Ⅲ 嘉永6年 大判2枚続 大宮司C
6. 里見息女伏姫・八房乃霊・金毘大助・里見義実 歌川豊国Ⅲ
嘉永5年 大判3枚続 大宮司C
7. 綱蔵〔坂東彦三郎〕・おつる〔尾上多見蔵〕・新田梅次郎〔二
役・尾上多見蔵〕 演目:重扇寿松若 歌川国貞 天保12年
大判3枚続 大宮司C
8. 綱蔵妹おつる〔下り尾上多見蔵〕・獵師綱蔵〔坂東彦三郎〕・ろ
くろくびおつる/新田梅次郎 二役早かわり〔下り尾上多見蔵〕
歌川国芳 (天保12年) 大判3枚続 大宮司C
9. 初芝・お菊のぼうこん・桑山鉄山 歌川国芳
弘化4～嘉永5年 大判3枚続 大宮司C
10. 小平次女房お塚・安達左九郎・現世坊・小平次亡霊(怪談小
幡小平次) 歌川豊国Ⅲ 嘉永6年 大判3枚続 阿部次郎C
11. 安達多九郎・小平次亡霊・小平次女房お塚 歌川豊国Ⅲ
安政6年 大判2枚続 大宮司C
12. 金時五郎宗氏・大蜘蛛生実はいばらき童子・頼光左門之介
豊原国周 慶応2年 大判3枚続 大宮司C
13. 青楼名君花合 扇屋内 瀧川・花扇 菊川英山 文化5年
豎大判1枚 和泉C
14. 京町一丁目 海老屋内 あいなれ・かのも・このも
菊川英山 文化～文政年間 豎大判1枚 阿部次郎C
15. 傾城道中双禄 川崎/見立吉原五十三対 玉屋内白菊
溪斎英泉 文化～文政年間 豎大判1枚 阿部次郎C
16. 東都呉服屋三幅対 ほていや 溪斎英泉 文化～文政年間
豎大判1枚 阿部次郎C
17. 浮世姿 芝神明宮 溪斎英泉 文政元～天保13年間
豎大判1枚 大宮司C
18. 浮世四十八癖 爪引の潮来節ハあだものの癖 溪斎英泉
天保元～13年 豎大判1枚 阿部次郎C
19. 当世眼鏡 両国 溪斎英泉 天保元～13年 豎大判1枚
阿部次郎C
20. 今様五色の江戸染 溪斎英泉 文化12～天保13年
豎大判1枚 阿部次郎C
21. 當世婦 美多意 溪斎英泉 文化12～天保13年 豎大判1枚
阿部次郎C
22. 今容音曲松の葉 山田流 溪斎英泉 文化12～天保13年
豎大判1枚 和泉C
23. えと名物鹿子美人あわせ 溪斎英泉 文化12～天保13年
豎大判1枚 阿部次郎C
24. 美人華あわせ 溪斎英泉 文化12～天保13年 豎大判1枚
阿部次郎C
25. 今戸有明楼之景 小林清親 明治12年 横大判1枚 大宮司C
26. 三ツ又永代橋遠景 小林清親 明治13年 横大判1枚
大宮司C
27. 大森朝乃海 小林清親 明治13年 横大判1枚 阿部次郎C
28. 御厩橋之因 小林清親 明治13年頃 横大判1枚 館蔵
29. 万代橋朝日出 小林清親 明治13年頃 横大判1枚 大宮司C
30. ためいけ(溜池) 小林清親 明治14年 横大判1枚 館蔵

「幕末・明治の錦絵52」9/4～12/2

1. 金谷・日坂（東海道五十三次のうち）葛飾北斎
文化元年頃 1枚 阿部次郎C
2. 由井・奥津（東海道五十三次のうち）葛飾北斎
文化元年頃 1枚 阿部次郎C
3. 木曾街道六十九次之内 下諏訪 八重垣姫 歌川国芳
嘉永5年 豎大判1枚 大宮司C
4. 木曾街道六十九次之内58 垂井 猿之助 歌川国芳
嘉永5年 豎大判1枚 大宮司C
5. 木曾六十九駅 浦和 調ノ社 油屋おこん 歌川豊国Ⅲ
嘉永5年 豎大判1枚 阿部次郎C
6. 木曾六十九駅 倉ヶ野 佐野ノ舟橋旧跡 土手のお六
歌川豊国Ⅲ 嘉永5年 豎大判1枚 阿部次郎C
7. 富士三十六景26 駿遠大井川 歌川広重 安政5年
豎大判1枚 阿部次郎C
8. 富士三十六景29 信濃塩尻峠 歌川広重 安政5年
豎大判1枚 阿部次郎C
9. 東海道十七 五十三次之内 ・由井 歌川広重
弘化4～嘉永5年 中判1枚 阿部次郎C
10. 東海道廿一 五十三次之内 ・鞠子 歌川広重
弘化4～嘉永5年 中判1枚 阿部次郎C
11. 東海道卅五 五十三次之内 ・御油 歌川広重
弘化4～嘉永5年 中判1枚 阿部次郎C
12. 東海道五拾三次（狂歌入）神奈川 歌川広重 天保11年頃
中判1枚 林信夫C
13. 東海道五拾三次（狂歌入）原 歌川広重 天保11年頃
中判1枚 林信夫C
14. 東海道 藤川 隸書版 歌川広重 弘化4～嘉永5年
横大判1枚
15. 五十三次之内 土山・坂ノ下間 鈴鹿山 歌川豊国Ⅲ
安政元年 大判3枚続 大宮司C
16. 五十三次之内 蒲原 歌川豊国Ⅲ 万延元年 大判3枚続
大宮司C
17. 月百姿 朝野川晴雪月 孝女ちか子 月岡芳年 明治18年
豎大判1枚 阿部次郎C
18. 月百姿 嫦娥奔月 月岡芳年 明治18年 豎大判1枚
阿部次郎C
19. 月百姿 廓の月 月岡芳年 明治19年 豎大判1枚
阿部次郎C
20. 月百姿 大物海上月 弁慶 月岡芳年 明治19年
豎大判1枚 阿部次郎C
21. 月百姿 山城小栗栖月 月岡芳年 明治19年 豎大判1枚
阿部次郎C
22. 月百姿 卒都婆の月 月岡芳年 明治19年 豎大判1枚
阿部次郎C
23. 月百姿 しはるまちの暁月 月岡芳年 明治19年
豎大判1枚 和泉C
24. 月百姿 吉野山夜半月・伊賀局 月岡芳年 明治19年
豎大判1枚 阿部次郎C
25. 月百姿 いつくしまの月・室遊女 月岡芳年 明治19年

26. 月百姿 つきのかつら・呉剛 月岡芳年 明治19年
豎大判1枚 阿部次郎C
27. 月百姿 吼（こんかい） 月岡芳年 明治19年 豎大判1枚
大宮司C
28. 月百姿 月夜釜・小鮎の源吾・嶋矢伴蔵 月岡芳年
明治19年 豎大判1枚 大宮司C
29. 月百姿 鳶巢山暁月・戸田半平重之 月岡芳年 明治20年
豎大判1枚 阿部次郎C
30. 月百姿 五條橋の月 月岡芳年 明治21年 豎大判1枚
大宮司C
31. 月百姿 月明林下美人幾 月岡芳年 明治21年 豎大判1枚
館蔵
32. 月百姿 石山月 月岡芳年 明治22年 豎大判1枚
阿部次郎C
33. 月百姿 雨月中月・児嶋高德 月岡芳年 明治22年
豎大判1枚 大宮司C
34. 月百姿 赤壁月 月岡芳年 明治22年 豎大判1枚 大宮司C
35. 月百姿 平忠度 月岡芳年 明治23年 豎大判1枚 大宮司C
36. 月百姿 きぬたの月・夕霧 月岡芳年 明治23年
豎大判1枚 大宮司C
37. 月百姿 姥捨月 月岡芳年 明治24年 豎大判1枚
阿部次郎C
38. 月百姿 翁 月岡芳年 明治24年 豎大判1枚 大宮司C
39. 月百姿 やすらはて寝なましものを小夜ふけて かたふく迄
の月を見しかな 月岡芳年 豎大判1枚 館蔵
40. 月百姿 烟中月 月岡芳年 豎大判1枚 大宮司C

「幕末・明治の錦絵53」12/11～2013.2/24

1. 梅に蝶（摺物）窪俊満 文化年間末頃 色紙判1枚
阿部次郎C
2. 文房具（摺物）柳々居辰斎 文化年間 色紙判1枚
阿部次郎C
3. 福寿草に蜂（摺物）花月堂李州賛 文化年間 色紙判1枚
阿部次郎C
4. 鳥かご（摺物）柳々居辰斎 文化年間 色紙判1枚
阿部次郎C
5. 煎茶道具（摺物）柳々居辰斎 文化年間 色紙判1枚
阿部次郎C
6. 還城楽（摺物）柳斎 江戸後期 色紙判1枚 阿部次郎C
7. 採桑老（摺物）柳斎 江戸後期 色紙判1枚 阿部次郎C
8. 舞楽（摺物）窪俊満 文化年間末頃 色紙判1枚
阿部次郎C
9. 金太郎（摺物）北溪 江戸後期 色紙判1枚 阿部次郎C
10. 四賀峯音吉（摺物）喜多川月麿 文政年間初頃 色紙判1枚
阿部次郎C
11. 千年川音松（摺物）喜多川月麿 文政年間初頃 色紙判1枚
阿部次郎C
12. 今様婦じの雪 隅田川の富士 溪斎英泉
文化12～天保13年 豎大判1枚 阿部次郎C

13. 婦じの雪 伊豆の伊藤富士 溪斎英泉
文化12～天保13年 竪大判1枚 阿部次郎C
14. 尾張屋内 喜長 溪斎英泉 文化12～天保13年 竪大判1枚
阿部次郎C
15. 青楼七軒人 鶴屋内かと 溪斎英泉 文政年間 竪大判1枚
阿部次郎C
16. 当世会席尽 浅草並木巴屋 溪斎英泉 天保年間
竪大判1枚 阿部次郎C
17. 東都名所合 深川新地 溪斎英泉 文化12～天保13年
竪大判1枚 阿部次郎C
18. 袖のうつり香 溪斎英泉 文化12～天保13年 竪大判1枚
阿部次郎C
19. 契情道中双ろく 姿海老屋内豊旗 溪斎英泉
文化12～天保13年 竪大判1枚 阿部次郎C
20. 千代田の大奥 元旦 二度目之御飯 楊洲周延 明治28年
大判3枚続 大宮司C
21. 千代田の大奥 追い羽根 楊洲周延 明治28年 大判3枚続
大宮司C
22. 市川団蔵の本蔵・坂東三津五郎の師直・沢村訥升の判官
歌川国芳 天保年間 大判3枚続 大宮司C
23. 十郎すけ成〔尾上松助〕 歌川豊国 文化9年 大判1枚
和泉C
24. 五郎時宗〔岩井半四郎〕 歌川豊国 文化9年 大判1枚
和泉C
25. 舎人松王丸〔中村芝翫〕・藤原時平〔市川団蔵〕・舎人梅王丸
〔河原崎権十郎〕ほか 歌川豊国Ⅲ 文久元年 大判3枚続
大宮司C
26. 墨曲長作〔沢村訥弁〕・芸者小田の〔沢村田之助〕・大藤内成
景〔坂東彦三郎〕 歌川豊国Ⅲ 文久2年 大判3枚続
大宮司C
27. 初春の賑ひ かん菊や娘おたの・三筋の権治・橘の羽左八・
イ菱の芝蔵・九字菱の彦三 歌川国明Ⅰ 文久元年
大判3枚続 大宮司C

コレクション展示室Ⅱ

「遠藤速雄の絵画」 2012. 11/27～12/25

1. 棧道秋色図 遠藤速雄筆 明治41年 1幅 個人蔵(甘柿舎C)
2. 蓮にかわせみ図 遠藤速雄筆 明治～大正 1幅 亀田兵治C
3. 松鷹図 遠藤速雄筆 大正2年 1幅 館蔵
4. 宮城十二景 遠藤速雄筆 大正 6曲1双 伊澤家C
5. 四季山水図 遠藤速雄筆 明治～大正 4幅対 亀田兵治C
6. 鹽竈神社図 遠藤速雄筆 明治42年 1幅 個人蔵(甘柿舎C)
7. 観音像 遠藤速雄筆 明治～大正 1巻 個人蔵(甘柿舎C)
8. 和気清麻呂像 遠藤速雄筆 明治～大正 1幅 館蔵
9. 山水花鳥画帖 遠藤速雄筆 明治～大正 1幅
個人蔵(甘柿舎C)
10. 花山村写生図巻 遠藤速雄筆 明治 1巻 館蔵
11. 雉子写生図巻 遠藤速雄筆 明治 1巻 館蔵

「熊耳耕年の絵画」 2013. 1/9～2/17

1. 福寿草図 熊耳耕年筆 近代 1幅 西村容太郎氏寄贈
2. 雛飾り図 熊耳耕年筆 近代 1幅 佐藤明C
3. 秋色女図 熊耳耕年筆 近代 1幅 西村容太郎氏寄贈
4. 西行図 熊耳耕年筆 近代 2曲1隻 伊澤家C
5. 大橋たもとの図 熊耳耕年筆 昭和3年 2曲1隻
津国恒吉氏寄贈
6. 元禄模様 熊耳耕年筆 昭和8年 2曲1双 館蔵
7. 12ヵ月風俗図屏風 熊耳耕年筆 近代 6曲1双 館蔵
8. 千手観音像 熊耳耕年筆 近代 1幅 館蔵
9. 婦女図 熊耳耕年筆 近代 1幅 西村容太郎氏寄贈
10. 芳流閣両雄動 月岡芳年画 明治19年 竪2枚続 大宮司C

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに17館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅竜頭 4頭のうち1頭
岩手県 極楽寺蔵
2. 重要文化財 銅鏡 10面 山形県
月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
3. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
4. 重要文化財 太刀(銘備州長船住義光・建武四年十二月) 1口 宮城県 亀岡八幡宮蔵
5. 重要文化財 瑞巖寺本堂障壁画 10面
宮城県 瑞巖寺蔵
6. 重要文化財 観瀾亭障壁画 檜楨図6面のうち
2面 宮城県 松島町蔵

企画展

「仙台藩の御家騒動

—寛文事件を追いかける!—

会 期 平成24年4月20日（金）～6月10日（日）

開催期間 46日間

入館者数 21,528名（一日平均468名）

観 覧 料 常設展観覧料金

主 催 仙台市博物館

共 催 河北新報社

後 援 朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、
読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北
放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB
東日本放送、Datefm、ラジオ3FM76.2

今から約350年前に仙台藩を大きく揺るがした御家騒動は、寛文事件とも伊達騒動とも呼ばれる。3代藩主・伊達綱宗の突然の隠居に始まり、藩政の混乱が続くなか、幕府大老屋敷で仙台藩士が起こした刃傷事件と関係者の処分をもって終局をむかえる。

この展覧会では、事件の関係者が残した書状などから事件当時の緊迫した様子や、事件の経過を紹介した。また、刃傷事件以後、仙台藩の御家安泰をもって一件落着となった事件の「その後」に注目し、関係者の「その後」や仙台藩の「その後」、あるいは後に芝居や文学に表された事件について紹介した。

本展覧会は、地域で馴染みの深い事件について、館蔵の資料を中心にし、仙台市史をはじめとする近年の研究成果も盛り込んで紹介することができ、市民の方から好評を得た。

展示構成

第1章 主君を押し込め！

第2章 揺れる藩内

第3章 刃傷事件！

第4章 「その後」の仙台藩

第5章 語り・演じる—メディアが語った伊達騒動

印刷物

ポスターB3判 1,200枚

チラシA4判 40,000枚

リーフレットA4判4頁 20,000枚



B3ポスター

関連行事

(1) 友の会後援記念講演会

演題「列島大開発時代と伊達騒動」

5月19日（土）13:30～15:00

博物館ホール 参加294名

講師：平川新氏

（東北大学災害科学国際研究所所長）

(2) しろ・まち講座7

演題「仙台藩の御家騒動

—伊達の黒箱を紐解く—

4月28日（土）13:30～15:00

博物館ホール 参加332名

講師：坂田美咲（当館学芸員）

(3) ミュージアムセミナー

4月28日（土）参加18名

(4) 友の会広報セミナー

4月23日（月）参加130名

(4) 市民センター市民団体等への展示解説

15件参加668名



友の会記念講演会風景

展示資料目録

*◎は重要文化財、○は宮城県指定文化財、□は仙台市指定文化財
*No.2、No.48は4/28-6/10、No.110は4/20-5/20、No.111は5/22-6/10
まで展示、No.15は期間中展示替え

第1章 主君を押し込め！

1. 寛文事件関係資料「伊達の黒箱」 寛文11年 1点 伊文
2. 定元君記録 巻之四* 万治3年6月12日条 1冊 個人蔵
3. 仙台藩重臣連署状案 万治3年7月9日 立花飛騨守(忠茂)・伊達兵部(宗勝)宛 1通 伊文
4. 伊達綱宗画像(伊達家歴代画真のうち) 享保9年 長谷川養辰筆 1面 伊文
5. 伊達兵部・田村右京連署血判起請文 万治3年11月21日 立花飛騨守(忠茂)宛 1通 伊文
6. 仙台藩重臣連署血判起請文 万治3年7月16日 1通 伊文
7. 仙台藩一門連署起請文 万治3年7月29日 1通 伊文
8. 伊達亀千代書「村雨」寛文4年 亀千代筆 1幅 伊文
9. 毘沙門天像 江戸前期 伊達綱宗筆 1幅 伊文
10. 雪中鴛鴦図 江戸前期 伊達綱宗筆 1幅 館蔵
11. 伊達綱宗書状 寛文9年4月26日 亀千代宛 1通 伊文
12. 徳川光圀書状 元禄7年5月14日 伊達綱村宛 1通 伊文
13. 徳川光圀書状 元禄7年5月17日 伊達綱村宛 1通 伊文
14. 黒漆五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
15. ◎三沢初子の帯* 江戸前期 2筋ずつ計6筋 伊文
16. 三沢初子香袋及び書状 江戸前期 1通 伊文
17. 和歌縫取袱紗 江戸前期 1点 伊文
18. ○仙台城下絵図 寛文9年 1鋪 宮城県国書館蔵

第2章 揺れる藩内

19. 徳川家綱領知判物 寛文4年4月5日 1通 伊文
20. 田村右京知行割之絵図 寛文元年 1鋪 伊文
21. 田村右京知行地境目絵図 寛文2年8月28日 1鋪 伊文
22. 伊達兵部知行割之絵図 寛文元年 1鋪 伊文
23. 伊達兵部知行境目絵図 寛文4年閏5月13日 1鋪 伊文
24. 奥山大学書状 寛文3年4月9日 小梁川中務(宗影)宛 1通 伊文
25. 伊達兵部・田村右京連署証文写 寛文3年4月13日 柴田外記(朝意)ほか3名宛 1通 伊文
26. 伊達兵部・田村右京書状 寛文3年5月25日 伊達安芸(宗重)宛 1通(卷子) 個人蔵
27. 目付連署起請文前書写 寛文3年11月21日 新妻隼人・平田八兵衛宛 1通 伊文
28. 分限帳(侍帳) 寛文10年 3冊 伊文
29. 原田甲斐覚書 年末詳3月7日 1通 館蔵
30. 里見十左衛門書状写 寛文6年正月15日 多田奎右衛門・佐々木権右衛門宛 1通 館蔵
31. 伊東氏世史 江戸 1冊 館蔵
32. 涌谷要害普請伺絵図 元禄3年12月14日 1幅 個人蔵
33. 伊達式部画像 元禄8年 1幅 個人蔵
34. 寺池要害図 江戸前期 1鋪 伊文
35. 伊達弾正・石川民部書状 寛文9年4月4日 伊達左兵衛(宗規)

- 宛 1通 館蔵
36. 伊達安芸書状 寛文9年6月9日 伊達兵部(宗勝)・田村右京(宗良)宛 1通(卷子) 個人蔵
37. 片倉小十郎・茂庭主水書状 寛文10年11月8日 大町権左衛門(定久)宛 1通 伊文
38. 伊達安芸書状 寛文10年11月24日 伊達兵庫(宗元)宛 1通 個人蔵

第3章 刃傷事件！

39. 伊達市正書状 寛文10年12月23日 大町権左衛門(定久)宛 1幅 個人蔵
40. 伊達兵部処罰罪人書付写 寛文11年3月4日 1冊 伊文
41. 伊達安芸口上覚書 原本・寛文11年 1冊 伊文
42. 伊達安芸書状 寛文11年3月14日 伊達兵庫(宗元)宛 1幅 個人蔵
43. 伊達安芸書状(伝安芸絶筆) 寛文11年3月26日 伊達兵庫(宗元)・黒木中務(宗信)宛 1巻 個人蔵
44. 早苗烏伊達聞書明治9年 豊原国周画 3枚続 館蔵
45. 福井玄孝書状 寛文11年4月22日 まんしゅういん宛 1通 伊文
46. 古内志摩書状(伊達の黒箱のうち) 寛文11年3月27日 田村図書(顕住)・各務采女(利稠)宛 1通 伊文
47. 古内志摩書状(伊達の黒箱のうち) 寛文11年3月27日 田村図書(顕住)・各務采女(利稠)宛 1通 伊文
48. 姓元君記録 巻之六* 寛文11年4月5日条 1冊 個人蔵
49. □肯山公治家記録全書 前編巻之七 寛文11年6月9日条 1冊 伊文
50. 奥羽史料 第三回(原田甲斐七回忌追善供養文) 明治25年刊行 3冊 館蔵
51. 原田家由緒覚書 貞享4年1月晦日 1綴 伊文
52. 原田甲斐画像 近代力 茂庭幽筆 1幅 個人蔵
53. 大井新右衛門・妻木彦右衛門書状控(伊達の黒箱のうち) 寛文11年4月6日 大條監物(宗快)ほか2名宛 1通 伊文
54. 伊達兵部自作漢詩 延宝4年 1幅 一関市博物館蔵
55. 元禄分限帳(在郷番外衆) 元禄4年 1冊 伊文
56. 伊達兵部書状および添書一卷 明治42年卷子表装 1巻 伊文
57. 田村隠岐守遺言状 延宝6年3月25日 伊達綱村宛 1通 伊文
58. 田村右京宗永書状 延宝6年4月18日 伊達綱村宛 1通 伊文
59. 古内志摩書状 寛文12年12月17日 柴田中務(宗意)宛 1通 伊文
60. 古悪人・新悪人書上 寛文12年12月17日 柴田中務(宗意)宛 2通 伊文
61. 古内志摩遺言状案 延宝元年5月21日(伊達綱村)宛 1通 伊文
62. 寛文事件記録のうち「伊達安芸一義」 江戸後期 12冊のうち 1冊 一関市博物館蔵
63. 伊達綱基(綱村)書状 延宝4年11月29日 伊達安芸(宗元)宛 1幅 個人蔵
64. 伊達綱村書「尽忠 見龍院」 延宝7年3月 1幅 個人蔵

第4章 「その後」の仙台藩

65. □伊達綱村画像 享保4年8月 1幅 伊文

66. 伊達亀千代領知黒印状 寛文元年11月16日 角懸四郎兵衛宛 1通 館蔵
67. 伊達綱村領知朱印状 天和3年8月 角懸伊兵衛宛 1通 館蔵
68. 稲葉美濃守正則書状 延宝3年12月23日 伊達綱村宛 1通 伊文
69. 黒漆瓦札萌葱糸威胴丸具足（伝仙姫所用） 江戸前期 1領 伊文
70. 稲葉美濃守正則書状 延宝4年10月19日 伊達綱村宛 1通 伊文
71. 稲葉美濃守正則意見状 延宝5年6月19日 伊達綱村宛 1通 伊文
72. 鉄牛和尚招請文 元禄10年3月8日 伊達綱村筆 1幅 館蔵
73. 伊達綱村和歌「たらちめの」 延宝7年3月11日 伊達綱村筆 1幅 個人蔵
74. 伊達綱村自画賛「富士図」江戸中期 伊達綱村筆 1幅 伊文
75. 伊達綱村書「茶第一義」 江戸中期 伊達綱村筆 1幅 伊文
76. 藩主諫言状案 貞享3年3月10日（伊達綱村）宛 1冊 個人蔵
77. 藩主諫言状案 元禄6年3月23日（伊達綱村）宛 1通 個人蔵
78. 伊達綱村謝罪状 元禄6年3月28日 伊達安芸（宗元）・三沢左京（宗直）宛 1幅 個人蔵
79. 木幡又右衛門・長沼五郎衛門諫言状 年未詳11月7日 伊達綱村宛 1通 伊文
80. 伊達綱村書状 元禄16年7月26日 伊達吉村宛 1通 伊文
81. 伊達綱宗書状 元禄16年8月6日 伊達吉村宛 1通 伊文
82. 口伊達吉村画像 寛保3年7月23日 狩野古信筆、伊達吉村賛 1幅 伊文
83. 伊達吉村諸寺院会釈覚書 元文2年4月 伊達宗村宛 1通 伊文
84. 伊達吉村意見状 寛保3年7月21日 伊達宗村宛 1通 伊文
85. 雨中山水図巻 享保14年2月 伊達吉村筆 1巻 伊文
86. 伊達大盛兵甲記原本 享保2年 常楽院舜一編纂 1冊 館蔵
87. 田村家記録 江戸後期 12冊 一関市博物館蔵
88. 加美郡宮崎村主古内家記録抜書 江戸 1冊 齋藤報恩会
89. 家蔵記 天地人原本 享保19年 長谷守直編 3冊 齋藤報恩会
90. 寛文事件書類目録 明治26年 1冊 伊文
91. 伊達騒動実録 乾坤 明治42年 大槻文彦著 1冊 館蔵
92. 尽忠録稿本 嘉永2年8月 原本・齋藤竹堂著 1冊 個人蔵
93. 尽忠録 明治14年7月出版 齋藤竹堂著 2冊 個人蔵
94. 見龍院殿忠義の鏡 明治33年 1冊 個人蔵
95. 伊達慶邦茶会記 安政6年正月4日 1巻 館蔵
96. 芸州見龍公直記 嘉永3年以降 1冊 齋藤報恩会
97. 伊達慶邦和歌懐紙 明治4年 1紙 個人蔵
98. 伊達宗重画像（三忠臣像のうち） 江戸後期 3幅 館蔵
99. 増補仙台萩 江戸後期 3冊 館蔵
100. 伊達実録 江戸後期 16冊 館蔵
101. 伊達秘録 江戸後期 20冊 館蔵
102. 伊達敵秘録 江戸中期～後期 5冊 館蔵
103. 容色千代萩 安政2年 外題歌川国貞画、内題景芥英寿画 2冊 齋藤報恩会
104. 堤人形 政岡 江戸 1軀 館蔵
105. 浮世絵「よりかね〔沢村田之助〕、高尾〔尾上松助〕」 文化10年歌川豊国画 豎2枚組 館蔵
106. 浮世絵「伽羅先代萩」（御殿の場） 弘化4年～嘉永5年 三代歌川豊国画 大判3枚続 館蔵
107. 浮世絵「局政岡〔坂東彦三郎〕・松ヶ枝的之助〔片岡仁左衛門〕・仁木弾正〔坂東彦三郎〕」 文久元年 三代歌川豊国画 大判3枚続 館蔵
108. 浮世絵「局政岡・松ヶ枝的之助・仁木弾正」 安政2年 三代歌川豊国画 豎2枚組 館蔵
109. 浮世絵「当間鬼貫・仁木弾正・山名宗全・渡辺外記左工門・細川勝元」 弘化4年～嘉永5年 三代歌川豊国画 大判3枚続 館蔵
110. 浮世絵「仁木弾正〔片岡市蔵〕・渡辺民部〔関三十郎〕」 * 文政12年 歌川国貞画 大判1枚 館蔵
111. 浮世絵「伽羅先代萩」 * 嘉永期 歌川国芳画 大判3枚続 館蔵
112. 浮世絵「先代萩御殿の場」 明治元年8月 豊原国周画 3枚続 館蔵
113. 浮世絵「文楽座新狂言伽羅先代萩」明治18年 揚州周信画 3枚1続 館蔵
114. 木挽町河原崎座チラス（伊達競阿国劇場） 江戸 1枚 館蔵
115. グラフNHK 特集樫ノ木は残った 昭和44年12月1日発行 1冊 館蔵
116. NHK大型歴史ドラマ「樫ノ木は残った」観光案内パンフレット 昭和45年 1枚 館蔵
117. 鎌先温泉木村屋旅館パンフレット 昭和45年 1枚 館蔵
118. 仙台市博物館展覧会パンフレット「寛文事件について」 昭和45年 1冊 館蔵
119. 仙台樫ノ木は残った観光パンフレット 昭和45年 1冊 館蔵
120. 政岡の銅像 昭和 1軀 伊文
121. 政岡豆包装紙 近代 3枚 館蔵
122. 衣装歌舞伎人形「伽羅先代萩」 昭和59年 3軀 藤井文治氏・貞子氏寄贈



展示風景

特別展

「インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年」

会 期	平成24年7月6日（金）～9月9日（日）
開催日数	58日
観覧者数	101,492名（一日平均1,750名）
観 覧 料	一般1,200円（1,000円）高校・大学生 800円（600円）小・中学生500円 （10名以上の団体各100円引き、（ ）内 は前売料金）
主 催	「インカ帝国展」仙台展実行委員会 （仙台市博物館・TBC東北放送・河北新報社）
後 援	ペルー大使館、PROMPERU、宮城県、宮城 県教育委員会、NHK仙台放送局、仙台放送、 ミヤギテレビ、KHB東日本放送、Datefm、 ラジオ 3 FM76.2、IBC岩手放送、テレビ ユー福島、テレビユー山形
協 力	KLMオランダ航空、凸版印刷、ユナイテッ ド航空
企画制作	TBSテレビ
企画協力	ペルー文化省、ペルー文化省・イカ地方 博物館、ペルー文化省・マチュピチュ遺 跡博物館、ペルー文化省・クスコ地方局、 ペルー文化省・トゥクメ遺跡博物館、ペ ルー文化省・プルチューコ遺跡ヒメネス・ ボルハ博物館、ペルー国立考古学人類学 歴史学博物館、ペルー国立トルヒヨ大学・ 月の神殿遺跡博物館、ペルー国立クスコ 大学・インカ博物館、ペルー国立アレキ パ大学・マリア・モランテ考古学博物館、 レイメバンバ博物館、ラファエル・ラル コ考古学博物館、オズマ博物館、ペルー 中央準備銀行附属博物館、バルボッサ・ スターン・コレクション、チリ先コロン ブス期美術館、チリ国立ラ・セレナ考古 学博物館、フィールド自然史博物館、ペ ンシルベニア大学考古学人類学博物館
協 賛	日本製紙株式会社、三井ホーム、富士通 株式会社、シンフォニータウン上桜木

15世紀前半から16世紀にかけて繁栄した、アンデス文明最後の国家「インカ帝国」。高度な文明を持っていたインカ帝国は一握りのスペイン人によって滅

亡した。そして、1911年アメリカの歴史家ハイラム・ビンガムによって、アンデス山中の秘境から空中都市マチュピチュ遺跡が発見された。この展覧会では、マチュピチュ「発見」100年を記念し、考古資料、絵画、織物などの多彩な資料約160点を通して、インカ帝国の全貌を紹介するものである。文字を持たなかったインカ帝国の繁栄と滅亡の謎を、「考古学」「人類学」「歴史学」からの研究と最新の映像資料「3Dスカイビューシアター」によって紹介した。また、7月24日にマチュピチュ「発見」101年目を迎え、当日の来館者に先着で記念品を差し上げた。本展覧会は観覧者数が10万人を超え、期間中には当館の総観覧者数700万人を突破した。

展示構成

プロローグ

第1部 帝国の始まりとその本質

第2部 帝国の統治

第3部 滅びるインカ、よみがえるインカ



開会式風景

関連行事

(1) 記念講演会

① 「DNAから見たインカの人々」

7月6日（金）13：30～15：00

博物館ホール 参加175名

講師：篠田謙一氏（国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長）

② 「インカ史万華鏡」

7月28日（土）13：30～15：00

博物館ホール 参加190名

講師：網野徹哉氏（東京大学大学院総合文化研究科教授）



記念講演会①



記念講演会②

(2) 記念コンサート

8月11日(土) 13:30 ~ 14:30

博物館ホール 参加196名

演奏者:「インカ帝国展」テーマ曲作曲・サンポーニャ&ケーナ奏者 瀬木貴将氏、ギター 越田太郎丸氏

(3) ミュージアムセミナー

7月11日(水)、7月14日(土) 参加134名



記念コンサート

(4) 友の会広報セミナー

7月9日(月) 参加154名

(5) その他一般団体・学校団体へのセミナー

計12団体 参加353名

印刷物

ポスター B2判 1,800枚

B3判(市バス・地下鉄用) 950枚

B3判(JR用) 220枚

B1判(JR用) 220枚

チラシ A4判 130,000枚 A4判(JR用)

10,000枚

割引券 18,000枚

図録 A4判



展示室風景



A4チラシ

※資料写真の撮影：義井豊

展示資料目録

1. 軍用貫頭衣(チュニック) インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・イカ地方博物館
2. アリバロ インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
3. 玉座(ティアナ) 植民地期インカ文化 16～19C.
フィールド自然史博物館
4. アリバロ インカ文化(地方様式) 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
5. アリバロ インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
6. ケロ 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
7. ケロ 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
8. 人の頭の形のケロ 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
9. ジャガーのケロ 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
10. 小型女性人物像 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・トゥクメ遺跡博物館

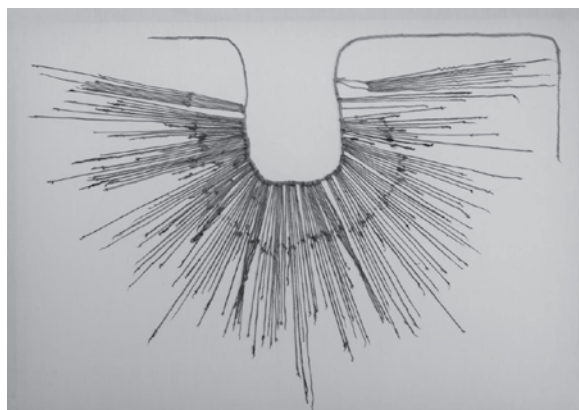


10. 小型女性人物像

- 11-15. 銀の飾りとウミギクガイの貝殻 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・トゥクメ遺跡博物館
- 16・17. 金合金製の小型人物像(男性と女性) インカ文化
15～16C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
- 18・19. 銀製の小型人物像(男性と女性) インカ文化
15～16C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
20. 男性用腰巻 インカ文化(チュキバンバ様式) 15～16C.
ペルー中央準備銀行付属博物館
21. ベルト インカ文化(ペルー南部海岸?) 15～16C.
ペンシルベニア大学考古学人類学博物館
22. ベルト インカ文化(ペルー中部/北部海岸地域)
15～16C. ペンシルベニア大学考古学人類学博物館
23. ベルト ポリビア南部高地(チバヤ様式) 15～16C.
ペンシルベニア大学考古学人類学博物館
24. ベルト インカ文化(ペルー北部海岸) 15～16C.
ペンシルベニア大学考古学人類学博物館
25. 女性の肩掛け用留めピン(トップ) インカ文化?
15～16C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館

26. 骨製の織物道具 インカ文化? 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
27. 骨製の織物道具 インカ文化? 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
28. 副葬用の小型の織機 インカ文化(海岸地域?) 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
29. 儀礼用の水盆 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
30. 星形の儀礼用水盆 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
31. 儀礼用の水盆 インカ文化/植民地期インカ文化 15～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
32. 木製の儀式用の器(パクチャ) チャチャボヤ=インカ文化
15～16C. レイメバンバ博物館
- 33・34. 儀礼用の土器のこん棒 インカ文化(海岸地域?)
15～16C. ラファエル・ラルコ考古学博物館
35. 儀式用の器(パクチャ) 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
- 36・37. リヤマ形の石製儀礼用容器(イリヤ) インカ文化/植民
地期インカ文化 15～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
38. 金製のオスのリヤマ像(イリヤ) インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
39. 銀製のオスのリヤマ像(イリヤ) インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
40. 壺を乗せた儀礼用の土器製のチャキタクリヤ(踏み鋤)
インカ文化 15～16C. ペルー中央準備銀行付属博物館
41. チャキタクリヤ(踏み鋤) 現代
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
42. 人物象形土器 インカ文化(海岸地域) 15～16C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
43. ケロ型土器 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・プルチューコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
44. トウモロコシの象形壺 チムー=インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
45. ジャガイモの象形壺 チムー=インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
46. 石製のリヤマのイリヤ インカ文化/植民地期インカ文化
15～19C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
47. 銀製のアシカのイリヤ インカ文化(海岸地域?)
15～16C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
48. アラバスター製のネコ科動物のイリヤ インカ文化/植民地
期インカ文化 15～19C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
49. 木製ケロ インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
50. 木製ケロ インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
51. アリバロ インカ文化(チュキバンバ様式) 15～16C.
ペルー国立アレキパ大学・マリア・モランテ考古学博物館

52. コカ袋 インカ文化 (チュキバンバ様式) 15～16C.
ペルー国立アレキパ大学・マリア・モランテ考古学博物館
53. 男性用貫頭衣 (チュニック) インカ文化(チュキバンバ様式) 15～16C. ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
54. トウンバガ (銅銀合金) の腕輪 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
55. 儀礼用ナイフ (トゥミ) インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
56. 長方形の石の器 インカ文化 / 植民地期インカ文化 15～19C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
- 57-59. 石製金属加工道具 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
60. 石製の道具 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
- 61-63. 水平器または投石用の石 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
- 64・65. 石を加工するための石製の道具 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
66. 家形象形壺 インカ文化 (地方様式) 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
67. 屋根の留め具 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
- 68・69. 建築加工道具 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
70. 貫頭衣 (チュニック) インカ文化 (海岸地帯?) 15～16C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
71. 貫頭衣 (チュニック) インカ文化 15～16C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
72. 貫頭衣 (チュニック) インカ文化 (海岸地域? パチャマク?) 15～16C. ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
73. コカ用の袋 インカ文化 / 植民地期インカ文化 15～19C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
74. コカ用の袋 インカ文化 (チュキバンバ様式) 15～16C.
ペルー中央準備銀行付属博物館
75. 小型のウルプ形土器 チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
76. 蓋つきの鍋 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
77. 土器の鍋 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
78. 秤 インカ文化 (ペルー中央海岸のプルチューコ) 15～16C.
ペルー文化省・プルチューコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
79. 青銅製の斧の頭部 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
80. カナマルカ遺跡出土人骨 頭骨成人 (熟年期) 女性 インカ文化 / カナマルカ遺跡 15～16C.
ペルー文化省・クスコ地方局
81. パタリヤクタ遺跡出土人骨 頭骨成人 (壮年期～熟年期) 男性 インカ文化 / パタリヤクタ遺跡 15～16C.
ペルー文化省・クスコ地方局
82. コタカジ遺跡出土人骨 頭骨成人 (壮年期) 男性 インカ文化 / コタカジ遺跡 15～16C. ペルー文化省・クスコ地方局
- 83・84. 2個一組の木製ケロ 植民地期インカ文化 16～19C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
85. ケロ インカ文化 15～16C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
86. 頭飾り インカ文化 / 植民地期インカ文化 15～19C.
レイメバンバ博物館
87. 円形の金の板 (太陽?) をつけた帽子 インカ文化 (コリヤ地方) 15～16C. チリ国立先コロンブス期美術館
- 88-90. キープ インカ文化 (チャチャポヤス地方) 15～16C.
レイメバンバ博物館
91. キープ インカ文化 (ペルー中央海岸地方) 15～16C.
ペルー文化省・プルチューコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
92. 鉱石運搬用のかご インカ文化 (地方様式) 15～16C.
チリ国立先コロンブス期美術館
93. 石彫の人物座像 インカ文化 (地方様式) 15～16C.
チリ国立ラ・セレナ考古学博物館
- 94-99. 貝殻製ミニチュア女性像 インカ文化 15～16C.
チリ国立ラ・セレナ考古学博物館
100. 成人男性ミイラ チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
101. 若い女性のミイラ チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
102. 若い男性のミイラ チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
103. 少女のミイラ チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
104. ミイラ包み チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
105. 鳥を捕えるための木綿の網 チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
106. 鳥の羽根の飾り チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
107. 櫛 チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
108. 顔型の頸部を持つ壺 チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館



89. キープ



132. 木製の埋葬所の模型

- 109・110. ヒョウタンの容器 チャチャポヤ=インカ文化
15～16C. レイメバンバ博物館
111. サンドル チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
112. コカ袋 チャチャポヤ=インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
113. 木製の耳飾り インカ文化 15～16C.
レイメバンバ博物館
114. 人頭型の壺 チムー=インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
115. 人頭型の壺 チムー=インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
116. 鏡型注口多彩色土器 チムー=インカ文化 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
117. アリバロ インカ文化（海岸地域） 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
118. アリバロ インカ文化（海岸地域） 15～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
119. ダンサーのモチーフで装飾された皿 インカ文化
15～16C. ラファエル・ラルコ考古学博物館
120. 青銅製の五芒星形頭の付いたこん棒 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・ブルチュエコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
121. こん棒の頭の鋳型 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・ブルチュエコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
122. 青銅製の六芒星形こん棒の頭 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・ブルチュエコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
123. 青銅製の六芒星形こん棒の頭 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
124. 青銅製の斧の頭部（武器） インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
125. 石付きの投げ縄 インカ文化 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
126. 投石用の紐 インカ文化 15～16C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
127. ヘルメット インカ文化？ 15～16C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
128. 太鼓インカ文化？ 15～16C.
ペルー文化省・ブルチュエコ遺跡ヒメネス・ボルハ博物館
129. チムー文化の織物 チムー文化 13～15C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
130. 銀製の飲料容器（アキリャ） チムー=インカ文化
15～16C. ラファエル・ラルコ考古学博物館
131. 双胴の壺 チムー/チムー=インカ文化 13～16C.
ラファエル・ラルコ考古学博物館
132. 木製の埋葬所の模型 チムー文化 13～15C.
ペルー国立トルヒヨ大学・月の神殿遺跡博物館
133. 小型人物像（女性） インカ文化 15～16C.
ペルー国立トルヒヨ大学・月の神殿遺跡博物館
134. モチェ文化の金合金製の頭飾り モチェ（モチーカ）文化
2～8C. ラファエル・ラルコ考古学博物館
135. 金合金製の器 チムー=シカン文化 14C. 末～15C. 初頭
ラファエル・ラルコ考古学博物館
136. スントウルワシの聖母〜クスコ征服における征服最初の奇蹟
植民地期インカ文化 18C. バルボッサ・スターン・コレクション
137. フェリペ・トゥパク・アマール1世の肖像画 19C.
ペルー国立考古学人類学歴史学博物館
- 138・139. 銀製酒杯アキリャ 植民地期インカ文化 17C.
ペルー国立アレキパ大学・マリア・モランテ考古学博物館
140. 銀製行列十字架 植民地文化 17C. オズマ博物館
141. ドン・アロンソ・チワン・インガ〔インカ〕の肖像画 植
民地期インカ文化 18C. ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
142. ニュスタの肖像画 植民地期インカ文化 18C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
143. ケロ 植民地期インカ文化 1600年頃
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
144. 貫頭衣（チュニック） 植民地期インカ文化 17C.
ペルー国立クスコ大学・インカ博物館
145. 鏡 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
- 146・147. 服を留めるピン（トップ） インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
148. 紡錘車 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
- 149-151. 石製の小型動物像 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
152. 平皿 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
153. 土器の壺 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
154. アリバロ インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
155. 平皿 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
156. 銀製のへら インカ文化/植民地期インカ文化 15～19C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館
157. 青銅製の道具 インカ文化 15～16C.
ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館

158. 青銅製の六芒星形のこん棒の頭 インカ文化 15～16C.

ペルー文化省・マチュピチュ遺跡博物館

参考出品 柄つきの石製ハンマー〔レプリカ〕

参考出品 ほら貝のふえ

参考出品 頭飾り〔レプリカ〕

参考出品 コリャスーユ（チリ北部）で採掘された主な鉱物

参考出品 アタワルパ王断首図〔レプリカ〕 19C. 初頭

ペルー国立クスコ大学・インカ博物館

参考出品 マルティン・デ・ロヨラとベアトリス・ニュスタの婚姻図〔レプリカ〕 植民地期インカ文化 17C.

クスコ・イエズス会教会

参考出品 インカ貴族の聖体祭における行列〔レプリカ〕 植民地期インカ文化 17C. クスコ大司教座宗教博物館

参考出品 インカ王朝・スペイン王朝統合系図〔レプリカ〕 植民地期インカ文化 18C. リマ大聖堂博物館

参考出品 ベタンクール家の紋章〔レプリカ〕 植民地期インカ文化 18C. クスコ地方文書館《ベタンクール家文書》



134. モチェ文化の合金製の頭飾り

特別展

「江戸の旅—たどる道、えがかれる風景—」

会 期 平成24年9月28日（金）～11月11日（日）
前期9月28日（金）～10月21日（日）
後期10月23日（火）～11月11日（日）

開催日数 40日間

観覧者数 9,381名（一日平均235名）

観 覧 料 一般900円、高校・大学生500円、小中学生200円

主 催 仙台市博物館、文化庁

共 催 河北新報社、NHK仙台放送局

後 援 毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、Datefm、ラジオ3FM76.2

江戸時代は全国各地の街道整備や地域経済の発展によって旅の利便性が向上し、旅が多様化した時代である。各地の文化が成熟する中で、旅自体に価値を見出し、名所・旧跡だけではなく、新たな風景美や民俗を追い求めての旅も増えていった。江戸時代は旅を楽しむ時代であり、現代に通じる旅のかたちが出来上がった時代でもあったわけである。この展覧会では、旅のガイドブックや実際に用いられた携帯用の道具類も含め、残された道中記や風景画などを通じて、江戸時代の旅の諸相を紹介した。

また、特別展開催中に大規模な展示替えを行い、前期と後期に分けて紹介した。



展示室風景

展示構成

第1章 開かれた道

第2章 旅する人々

第3章 名所を求めて

第4章 風景の発見

第5章 風景を集める

印刷物

ポスター B 2判 1,100枚、B 3判 400枚

チラシ A 4判 55,000枚、割引券 130,000枚

図録 A 4判 176頁



A4チラシ

関連行事

(1) 記念講演会

演題「江戸時代の街道と旅人—東海道を中心に—」

10月27日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加155名

講師:渡辺和敏氏(愛知大学地域政策学部教授)

(2) しろ・まち講座9

演題「風景をえがく、あつめる—江戸時代の山水癖たち—」

10月13日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加116名

講師:内山淳一(当館学芸室長)

(3) しろ・まち講座10

演題「街道こぼればなし—名所・名物・旅案内—」

11月10日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加179名

講師:坂田美咲(当館学芸員)

(4) ミュージウムセミナー

10月6日(土) 10月9日(火) 参加28名

(5) 友の会広報セミナー

10月1日(月) 参加107名

(6) 市民センター市民団体等への展示解説

計7件参加276名



展示室風景

展示資料目録

*◎は重要文化財、□は県指定文化財、◇は市指定文化財


1. 開かれた道～街道と宿場～

1. 東海道街道図屏風 江戸 8曲1双 兵庫県立歴史博物館
2. 東海道街道図屏風 江戸前期 6曲1双 兵庫県立歴史博物館
3. 一目玉銚 井原西鶴編 元禄2年刊 4冊 豊橋市二川宿本陣資料館
4. 東海道名所記 浅井了意著 万治2年成立 6冊 宮城県図書館
5. 東海道綱目分間之図 遠近道印作、菱川師宣画 元禄3年刊 5帖 名古屋市博物館
6. 新板東海道分間絵図 桑楊編 天明5年 1冊 豊橋市二川宿本陣資料館
7. 東海木曾両道中懐宝図鑑 天保13年1冊 豊橋市二川宿本陣資料館
8. 木曾路之記(岐蘇路記) 貝原益軒編 正徳3年刊 1冊 名古屋市博物館
9. 吾妻路之記 貝原益軒編 享保6年刊 1冊 宮城県図書館
10. 諸州巡覧記 貝原益軒編 正徳3年刊 5冊 宮城県図書館
11. 浪花講看板 江戸後期～明治 1枚 名古屋市博物館
12. 浪花講定宿帳 江戸後期 2冊 豊橋市二川宿本陣資料館
13. 東講商人鑑 大城屋良助編 安政2年刊 1冊 東北大学附属図書館
14. ◎五海道分間延絵図及び見取絵図のうち 文化3年 東京国立博物館
日光道中分間延絵図 5巻のうち2巻 東京国立博物館
奥州道中分間延絵図 3巻のうち1巻 東京国立博物館
15. 街道行程一覧表 文化15年 1舗 豊橋市二川宿本陣資料館
16. 大日本道中細見記 江戸後期 1舗 豊橋市二川宿本陣資料館
17. 東街便覧図略 高力猿猴庵著 寛政7年 7冊 名古屋市博物館
18. 江戸長崎往還図 江戸 1巻 大津市歴史博物館
19. 増補行程記 清水秋全筆 寛延4年 2冊 もりおか歴史文化館
20. 仙台領奥州街道絵図 荒川如慶筆か 江戸中期 1帖 館蔵
21. 大日本東山道陸奥州駅路図 秦檜丸(村上島之丞)筆 寛政12年 3帖 函館市中央図書館
22. 関札「仙台中将寓」 天保7年 1枚 栃木県立博物館
23. □秋田風俗絵巻 荻津勝孝筆 江戸後期 1巻 秋田県立博物館
24. □秋田街道絵巻(伝) 荻津勝孝筆 寛政年間後期 3巻のうち2巻 秋田市立千秋美術館
25. 谷文晁奥羽游歴写生模本 原本は谷元旦筆 原本は寛政11年2巻 東北大学附属図書館
26. 諸国名所図 谷元旦筆 寛政11年頃 8面 栃木県立博物館
27. 奥州街道並久保田藩内沿道風景写生帖 白雲筆 江戸後期 2帖 秋田県立近代美術館
28. 五十三駅東海道富士見双六 歌川広重画 江戸後期 1舗

- 豊橋市二川宿本陣資料館
29. 東海道五十三駅名所旧跡行程記新鑄道中双六 溪斎英泉画
天保14～弘化4年 1舗 豊橋市二川宿本陣資料館
30. 東海道五拾三次之内 神奈川・原・蒲原・油井・丸子・嶋田・御油・関 歌川広重画 天保4～5年頃 8枚
名古屋市博物館
31. 木曾海道六拾九次之内 軽井沢・本山 歌川広重画
天保8年頃 2枚 神奈川県立歴史博物館
32. 東海道五十三次蒔絵印籠 江戸後期 2合
神奈川県立歴史博物館
33. 旅道具類 豊橋市二川宿本陣資料館
早道 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
銭刀 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
笠・合羽 江戸2点 豊橋市二川宿本陣資料館
火打ち石・火打ち金・付け木 江戸 一式
豊橋市二川宿本陣資料館
煙管と煙草入れ 江戸 2点 豊橋市二川宿本陣資料館
ろうそく立(使用時) 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
旅枕兼書状入 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
携帯用旅枕 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
小物入れ 江戸 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
道中弁当箱 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
葉入れ 江戸 1点 豊橋市二川宿本陣資料館
34. 東海道宿場名物模型 豊橋市二川宿本陣資料館
染飯模型 現代 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
柏餅模型 現代 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
菜飯田楽模型 現代 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
淡雪豆腐模型 現代 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
旅籠屋の食事模型 現代 一式 豊橋市二川宿本陣資料館
35. 東海道駅路真景 江戸後期 1冊 西尾市岩瀬文庫
36. 東海道宿場名物蒔絵椀 江戸 5口 大津市歴史博物館
37. 雅遊漫録 大枝流芳著 宝暦13年刊 7冊 宮城県図書館
38. 旅行用心集 八隅蘆庵編 文化7年刊 1冊
東北大学附属図書館
39. 諸国里人談 菊岡沾涼著 寛保3年刊 5冊 宮城県図書館
40. 都名所図会 秋里籬島編、竹原春朝齋画 安永9年刊 6冊
館蔵
41. 東海道名所図会秋里籬島編、竹原春泉齋等画 寛政9年刊 6冊 館蔵
42. 木曾路名所図会秋里籬島編、西村中和画 文化2年刊 7冊
館蔵
43. 金毘羅参詣名所図会 暁鐘成編、浦川公左画 弘化4年刊 6冊 館蔵
44. 奥州名所図会(巻1の1・2) 大場雄淵筆 文化年間 2冊
(公財) 斎藤報恩会
45. 口奥州名所図会(巻2・3・4・6) 大場雄淵筆 文化年間 4冊 宮城県図書館
46. 方言修業金草鞋十返舎一九Ⅱ著 文化13年刊 3冊 館蔵
47. 諸国名山番付 江戸後期 1枚 秋田県立博物館
2. 旅する人々～参勤交代から参詣・湯治まで～
48. 日本行脚文集 大淀三千風著 元禄3年跋 7冊 宮城県図書館
49. おくのほそ道 松尾芭蕉著 元禄15年刊 1冊 宮城県図書館
50. ◎奥の細道図屏風 与謝蕪村筆 安永8年 6曲1隻
(公財) 山形美術館
51. 笈埃随筆(写本) 原本は百井塘雨筆 文化元年写 12冊 東北大学附属図書館
52. 北窓瑣談 橘南谿著 初編=文政8年、二編=同12年刊 3冊、5冊 宮城県図書館
53. 中陵漫録(写本) 原本は佐藤中陵筆 初編12巻、二編7巻19冊 東北大学附属図書館
54. 楽山公行列図巻武藤弘毅筆 江戸末期 10巻のうち 館蔵
55. 御道中御宿絵図 江戸中期 1冊 館蔵
56. 三河日記 天保10年 1冊 豊橋市二川宿本陣資料館
57. 天保巡見日記(写本) 藤原清雄編 原本=天保9年、明治10年写 4冊 国立公文書館
58. 江君確亭紀行 渋江長伯著 文化6年頃 8冊 国立公文書館
59. 日光道中絵図 文政6年頃9冊 栃木県立博物館
60. 遊中禅寺記 板倉勝明著 嘉永4年刊 1冊 東北大学附属図書館
61. 御領内名所図会 佐久間晴岳筆 嘉永5年以降 1巻
(公財) 斎藤報恩会
62. 御下向之図 天保2年以降3巻 群馬県立歴史博物館
63. 旅の命毛(写本) 土屋(三枝)斐子著 文化5年 1冊 東北大学附属図書館
64. ◇お国替絵巻 山田音羽子筆 弘化3年 3巻 個人蔵
65. 氷室節供図 渡辺始興筆 江戸中期 1幅 サントリー美術館
66. 盛夏献雪図 鈴木芙蓉筆 江戸後期 1幅 徳島市立徳島城博物館
67. 正徳度朝鮮通信使行列図巻 正徳元年 3巻のうち1巻 大阪歴史博物館
68. 朝鮮人來朝物語 正徳元年刊 1冊 国立公文書館
69. 朝鮮人三使登城行列 文化8年刊 1冊 国立公文書館
70. 菅江真澄画像※模写 土屋秀禾筆 近代 1幅 秋田県立博物館
71. ◎菅江真澄遊覧記のうち 菅江真澄筆 77冊、12帖のうち12冊 秋田市・辻家蔵
蝦夷廻天布利(えぞのてぶり) 寛政4年 秋田市・辻家蔵
於久能字良～(おくのうらうら) 寛政5年 秋田市・辻家蔵
雪の道奥雪の出羽路(ゆきのみちおくゆきのいでわじ) 享和元年 秋田市・辻家蔵
雪能飽田寝(ゆきのあきたね) 享和2年 秋田市・辻家蔵
恩荷奴金風(おがのあきかぜ) 文化元年 秋田市・辻家蔵
美香弊の誉路臂(みかべのよろい) 文化2年 秋田市・辻家蔵
比遠能牟良君(ひおのむらぎみ) 文化7年 秋田市・辻家蔵
雄鹿の春風(おがのはるかぜ) 文化7年 秋田市・辻家蔵
小鹿の鈴風(おがのすずかぜ) 文化7年 秋田市・辻家蔵

- 牡鹿の嶋風（おがのしまかぜ） 文化7年 秋田市・辻家蔵
 牡鹿の寒かぜ（おがのさむかぜ） 文化7年 秋田市・辻家蔵
 月廻遠呂智泥（つきのおろちね） 文化9年 秋田市・辻家蔵
72. 栖霞能山（すみかのやま）（写本） 原本は菅江真澄筆 函館市中央図書館
 寛政8年 1冊 秋田県立博物館
73. 十曲湖（とわだのうみ） 菅江真澄筆 文化4年 1冊 神戸市立博物館
74. 男鹿半島図巻（伝） 菅江真澄筆 江戸後期 1巻 函館市中央図書館
 神戸市立博物館
75. 北越雪譜 鈴木牧之著、山東京水画 天保8年 3冊 館蔵
76. 口秋山記行 鈴木牧之筆 文政12年 2冊 個人蔵
77. 東国旅行談 松井寿鶴斎編 天明9年刊 5冊 東北大学附属図書館
78. 漫遊文章 平沢旭山著、鈴木芙蓉画 寛政元年刊 5冊 東北大学附属図書館
79. 西遊記 橘南谿著 寛政7年、10年刊 正編5冊、続編5冊 館蔵
80. 東遊記 橘南谿著 寛政7年、9年刊 正編5冊、後編5冊 館蔵
81. 古川古松軒肖像 江戸後期 1幅 函館市中央図書館
82. 西遊雑記（写本） 原本は古川古松軒筆 寛政11年写 7冊 国立公文書館
83. 東遊雑記（写本） 原本は古川古松軒筆 江戸後期 12冊 函館市中央図書館
84. 奥羽名勝志 古川古松軒筆 天明8年頃 5冊 個人蔵
85. 雪の古道 津村淙庵筆 天明8～寛政2年 1冊 東北大学附属図書館
86. 陸奥紀行（写本） 宣俊撰、坂口員正画、良卜写 寛政8年 1冊 東北大学附属図書館
87. 東奥紀行 長久保赤水著 寛政4年 1冊 東北歴史博物館
88. ふたたびのにき（再びの日記） 寛政7年 1冊 東北大学附属図書館
89. 壬戌羈旅漫録 曲亭馬琴著 明治18年刊 3冊 東北大学附属図書館
90. 筑紫紀行 菱屋平七著 享和2年自序、文化3年刊 10冊 東北大学附属図書館
91. 陸奥日記 文政元年 3冊 岩手県立博物館
92. 東北遊日記 吉田松陰著 慶応4年 2冊 東北大学附属図書館
93. 阿蘭陀加留多 林子平所持 2点 館蔵
 支那煙管・和蘭煙管 2点 館蔵
94. 長崎行役日記 長久保赤水著 文化2年刊 1冊 宮城県図書館
95. 西遊旅譚 司馬江漢著 寛政6年頃刊 5冊 府中市美術館
96. 江漢西游日記 司馬江漢筆 文化12年 6冊 東京国立博物館
97. 菅井梅関長崎送別詩画 石崎融思・荒木君瞻・ドゥーフほか 筆 文化12年 1幅 館蔵
98. 梅関高士送別会之図 荒木君瞻筆、金井莎邨賛 文政元年 1幅 館蔵
99. ◇蝦夷草紙 最上徳内筆 寛政2年 1冊 最上徳内記念館
100. ◇測量器 最上徳内所用 江戸後期 1組 最上徳内記念館
101. ◇矢立 最上徳内所用 江戸後期 1箇 最上徳内記念館
102. 蝦夷の嶋踏 福居芳麿筆 享和元年成 2冊
103. 東遊奇勝 渋江長伯筆 寛政11年頃 14冊のうち 函館市中央図書館
104. 蝦夷紀行（写本） 原本は谷元旦筆 原本は寛政11年 5冊 函館市中央図書館
105. 蝦夷紀行附図（写本） 原本は谷元旦筆 原本は寛政11年 1冊 函館市中央図書館
106. 口蝦夷日誌（稿本） 松浦武四郎筆 江戸末期 35冊のうち 宮城県図書館
107. 日光巡拝図誌 文政9年 4冊 栃木県立博物館
108. 日光山志 植田孟縉著 天保8年刊 5冊 館蔵
109. 日光道中細見図 歌川貞秀画 3枚続 栃木県立博物館
110. 日光山滝見之図 歌川貞秀画 3枚続 栃木県立博物館
111. 三国第一山之図 歌川貞秀画 嘉永2年頃 3枚続 神戸市立博物館
112. 大日本富士山絶頂之図 歌川貞秀画 安政4年 3枚続 静岡県立美術館
113. 富士詣独案内 歌川貞秀画 安政6年 3枚続 神戸市立博物館
114. 富岳道中一覽 歌川貞秀画 万延元年頃 6枚続 西尾市岩瀬文庫
115. 富士山北口女人登山之図 落合芳幾画 万延元年 3枚続 静岡県立美術館
116. 富士山道しるべ 松園梅彦編、歌川貞秀画 万延元年刊 1冊 東北大学附属図書館
117. 柄杓（お蔭参り関係資料） 江戸 2柄 大阪歴史博物館
118. 菅笠（お蔭参り関係資料） 江戸 1点 大阪歴史博物館
119. 伊勢参宮携帯用紙笠 イ印・剣先祓図 江戸 1点 大阪歴史博物館
120. おかげまいり明和神異記 明和8年刊 1冊 大阪歴史博物館
121. 御蔭参宮文政神異記 天保3年刊 2冊 大阪歴史博物館
122. 伊勢参宮宮川の渡し 歌川広重画 安政2年 3枚続 豊橋市二川宿本陣資料館
123. おかげ道中嘸栗毛 都喜蝶著 文政13年刊 1冊 兵庫県立歴史博物館
124. 画誌卯之花笠 高力猿猴庵筆 文政13年 1冊 名古屋市博物館
125. 新板伊勢参宮廻双六 江戸後期 1舖 豊橋市二川宿本陣資料館
126. 参宮上京道中一覽双六 歌川広重画 安政4年 1舖 豊橋市二川宿本陣資料館
127. （箱根）七湯集弄花書画、文窓校 文化8年 10冊 国立公文書館
128. 熱海温泉図彙 山東京山編、山東京水等画 天保3年刊 1冊 東北大学附属図書館
129. 上州草津温泉物語 江戸末期 1冊 群馬県立歴史博物館

3. 名所を求めて～日本三景と諸国名所～

130. □男鹿図屏風 (伝)狩野定信筆 江戸前期 6曲1双
秋田県立博物館
131. 象潟真景図 中山高陽筆 安永4年 1幅 蛸満寺(にかほ市)
132. □象潟図屏風 牧野永昌筆 天明年間 6曲1双
にかほ市象潟郷土資料館
133. 日光名所図絵巻 狩野意信筆 江戸後期 2巻
栃木県立博物館
134. 江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆
寛政年間 1基 館蔵
- 
134. 江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆 館蔵
135. 相州江之島児淵図 司馬江漢筆 江戸後期 双幅
府中市美術館
136. 江の島まうで濱のさざ波 平亭銀鷄著 天保10年 1冊
東北大学附属図書館
137. 相州江之島弁才天開帳参詣群集之図 歌川広重画
弘化4～嘉永5年 3枚続 広重美術館
138. 和州芳野山勝景図 貝原益軒編 正徳3年刊 1帖
西尾市岩瀬文庫
139. 那智瀑布図 桑山玉洲筆 江戸後期 1幅
和歌山県立博物館
140. □那智三瀑図 野呂介石筆 寛政6～8年頃 1幅
和歌山県立博物館
141. 熊野真景図巻 野呂介石筆 享和2年 1巻
和歌山県立博物館
142. 山水奇観 淵上旭江画 前編=寛政11年、続編=享和2年刊
各4冊 館蔵
143. 五畿七道図帖 淵上旭江筆、皆川淇園賛 寛政8年 16帖
岡山県立美術館
144. 真景図帖 淵上旭江筆 江戸後期 1帖 府中市美術館
145. 阿波鳴門之風景 歌川広重画 安政4年 3枚続
広重美術館
146. 武陽金沢八景夜景 歌川広重画 安政4年 3枚続
広重美術館
147. 木曾路之山川 歌川広重画 安政4年 3枚続 広重美術館
148. 六十余州名所図会 飛騨籠わたし・信濃更科田毎月鏡台山・
上野榛名山雪中・肥後五かの庄 歌川広重画

- 嘉永6～安政3年 4枚 広重美術館
149. 六十余州名所図会 甲斐さるはし・越後親しらず・備後阿
武門観音堂・周防岩国錦帯橋・阿波鳴門の風波・薩摩坊ノ
浦双剣石 歌川広重画 嘉永6～安政3年 6枚
神奈川県立歴史博物館
150. 松島・塩竈図屏風 長谷川宗園筆 江戸初期 8曲・4曲
館蔵
151. 松島・塩竈図屏風 江戸中期 8曲1双 福岡市美術館
152. 陸奥国塩竈松島図 佐久間洞巖画 享保13年刊 1帖 館蔵
153. 塩竈富山図巻 佐久間洞巖筆 享保年間 1巻
鹽竈神社博物館
154. 松島真景図巻 谷文晁画 天明7年刊 1巻 館蔵
155. 松島真景図 細井平洲筆 江戸中期 1幅 東北歴史博物館
156. 遊松島記 細井平洲著 明和8年 1冊 宮城県図書館
157. をしまのとまや 細井平洲著 天保2年刊 2冊
宮城県図書館
158. 奥州仙台名所尽集 江戸後期 1巻 館蔵
159. 松島眺望図 長谷川雪旦筆 江戸後期 1幅 館蔵
160. 松島御島秋晩図 立原杏所筆 文化7年 1幅
茨城県立歴史館
161. 六十余州名所図会 陸奥松島風景富山眺望之略図
歌川広重画 嘉永6年 1枚 館蔵
162. 安芸国厳島図 貝原益軒編 享保5年刊 1帖 真田宝物館
163. 丹後国天橋立図 亡名子編 享保11年刊 1帖 真田宝物館
164. 天の橋立・厳島図屏風 江戸 6曲1双 サントリー美術館
165. 天橋立丹後図画冊 狩野探幽筆 寛文年間 1冊 個人蔵
166. 天橋立真景図屏風 淵上旭江画、海保青陵賛 寛政12年
2曲1隻 大津市歴史博物館
167. □江戸一目図屏風 歙形蕙斎筆 文化6年 6曲1隻
津山市立津山郷土博物館
168. 江戸名所図会 斎藤月岑編、長谷川雪旦画 天保5・7年刊
20冊 館蔵
169. 名所江戸百景 隅田河橋場の渡かわら竈・日本橋通一丁目
略図・大はしあたけの夕立・亀戸天神境内・猿わか町よる
の景・浅草金龍山 歌川広重画 安政3～5年 6枚
神奈川県立歴史博物館
170. 江戸名所独案内 享和3年 1冊 東北大学附属図書館
171. 江戸買物独案内 中川芳山堂 文政7年刊 3冊
西尾市岩瀬文庫
172. 江戸見物四日めぐり 江戸後期 1枚
豊橋市二川宿本陣資料館
4. 風景の発見～癖(マニア)と呼ばれた人々～
173. 写生用画架 白雲所用 江戸後期 1箇 個人蔵
174. 漢画独稽古 宮本君山著、淵上旭江跋 文化4年刊 2冊
館蔵
175. 東海道地取図巻 狩野探幽筆 明暦2年 1巻 個人蔵
176. ◎陸奥奇勝図巻 池大雅筆 寛延2年 1巻 九州国立博物館
177. 松島日記(写本) 原本は谷文晁筆 嘉永3年写 1冊
国立公文書館
178. 松島画紀行・松島日記(写本) 原本は谷文晁筆 江戸後期

- 1冊 館蔵 利天上寺(神戸市)
179. 松島雨霽図 谷文晁筆 寛政7年 1幅 館蔵
180. 西遊画紀行帖 谷文晁筆 江戸後期 1帖 板橋区立美術館
181. 文化紀行 小池曲江筆 文化8年 1冊 函館市中央図書館
182. 莫逆閑友 小池曲江画 天保8年刊 2帖 館蔵
183. 遊歴図巻 立原杏所筆 江戸後期 2巻 茨城県立歴史館
184. 信遊紀行図帖(信遊図絵) 千葉如圭(遠藤香村)筆 文化13年 1帖 会津若松市教育委員会
185. 那智瀑泉真景図 鈴木芙蓉筆 寛政5年 1幅 飯田市美術博物館
186. 熊野遊記名勝図画 北圃恪齋著、鈴木芙蓉画 寛政13年 3冊 徳島市立徳島城博物館
187. 富嶽図画冊 狩野探幽筆 寛文年間 1冊 個人蔵
188. 富士山図 狩野探幽筆 寛文7年 1幅 静岡県立美術館
189. 神州奇観図 丹羽嘉言筆 明和7年 1幅 名古屋市博物館
190. □富嶽図 小田野直武筆 安永6年頃 1幅 秋田県立近代美術館
191. 芙蓉峯細見之図 墨江武禅筆 寛政11年頃 1幅 静岡県立美術館
192. 東海道富士図 橘保国筆 天明6年 1幅 個人蔵
193. 富嶽図 山口素絢筆 寛政年間末頃 1幅 静岡県立美術館
194. 清見瀉富士図 横山華山筆 文政2年 1幅 静岡県立美術館
195. 清水港眺望富士図 鈴木芙蓉筆 江戸後期 1幅 徳島市立徳島城博物館
196. 岩淵駅眺望図 鈴木芙蓉筆 江戸後期 1幅 徳島市立徳島城博物館
197. 駿河湾富士遠望図 司馬江漢筆 寛政11年 1幅 静岡県立美術館
198. 富岳眺景図 月僊筆 江戸後期 1幅 個人蔵
199. 富嶽明眺図 大久保一丘筆 江戸後期 1幅 静岡県立美術館
200. 玄同放言 曲亭馬琴著 文政元年刊 6冊 名古屋市博物館
201. 富岳雪譜(写本) 原本は和久田叔虎筆 享和3年 3冊 西尾市岩瀬文庫
202. 富士日記 賀茂季鷹著 文政6年刊 1冊 府中市美術館
203. 不二紀行詩 大森君欽著、三好汝圭画 天保2年刊 1冊 東北大学附属図書館
204. 百富士 河村岷雪編 明和4年序 4冊 西尾市岩瀬文庫
205. 富嶽三十六景 葛飾北斎画 天保2～4年頃 2枚 神奈川県立歴史博物館
206. 富嶽百景 葛飾北斎画 天保5～6年 3冊 名古屋市博物館
207. 富嶽写真 小泉斐画 弘化2年刊 1帖 府中市美術館
208. 天然自賞 白雲筆 寛政9年 1帖 個人蔵
209. 富嶽山頂図 白雲筆 文化5年 1幅 神戸市立博物館
210. 隔搔録(写本) 原本は江湖浪人月所筆 文化15年 1冊 西尾市岩瀬文庫
211. 芙蓉伝真 江戸末期 1冊 西尾市岩瀬文庫
212. 当山詠歌并遠見図 江戸後期 1幅 利天上寺(神戸市)
213. 当山境内絵図 中村和助筆 江戸後期 1幅
214. 日金山頂望芙蓉峰図(日金山頂望富岳図) 広瀬台山筆 寛政11年 1幅 東京国立博物館
215. 富嶽真景図 老・式 広瀬台山筆 寛政11年 2幅 岡山県立博物館
216. 山王真景 大内周我編 文政5年刊 1帖 東北大学附属図書館
217. 芙蓉奇観 山田貞実編 文政11年刊 1帖 西尾市岩瀬文庫
218. 芙蓉又奇 山田貞実編 天保4年 1帖 西尾市岩瀬文庫
219. 厳島図巻 岡岷山画、関其寧・沢田東江題 天明4年頃 2巻 神戸市立博物館
220. 松島洲嶼真図 江戸後期 5巻 東北大学附属図書館
221. 山水写真帖 田谷芝齋筆 江戸後期 5冊 個人蔵
5. 風景を集める～真景図のコレクター～
222. 誕生石図 淵上旭江筆、皆川淇園賛 寛政10年 1幅 岡山県立博物館
223. 富士山図巻 原在正筆 寛政8年頃 14巻 個人蔵
224. 富士山中図巻 上田耕夫筆 江戸後期 1巻 個人蔵
225. 名所百景図 上田耕夫筆 文化元年 2帖 法楽寺(大阪市)
226. 名山図譜 川村寿庵編、谷文晁画 初版は文化2年刊 3冊 府中市美術館
227. 日本名山図会 川村寿庵編・谷文晁画 文化9年刊 3冊 館蔵
228. 那須眺望図 谷文晁筆、松平定信・紫野独庵賛 寛政11年 1幅 栃木県立美術館
229. 熊野那智瀑布図 徳川治宝筆 江戸後期 双幅 利天上寺(神戸市)
230. 熊野那智山瀑布図 諏訪鶯湖筆 文化11年 1幅 和歌山県立博物館
231. 三山記略 菊池元習著、谷文晁・諏訪鶯湖画 天保14年刊 1冊 国立公文書館
232. □熊野舟行図巻 谷文晁筆 文化元年 2巻 (公財)山形美術館
233. □鳴門十二勝真景図巻 鈴木芙蓉筆 寛政8年 1巻 徳島市立徳島城博物館
234. 角田川真景 狩野養信筆 文化10年 1巻 東京国立博物館
235. 江戸名所真景 狩野養信筆 文政2年頃 1巻 東京国立博物館
236. 日光御参詣地取図巻(模本) 森玄心・今村勝溪他筆(原本は狩野養信筆) 天保14年 2巻 東京国立博物館
237. 公用日記 狩野養信筆 文化7～弘化3年 53冊のうち2冊 東京国立博物館
238. ◎公余探勝図 谷文晁筆 寛政5年 2巻のうち上巻 東京国立博物館
239. 伊豆勝景図(写本) 木村兼葭堂写(原本は谷文晁筆) 江戸後期 1巻 個人蔵
240. 公余探勝図(模写) 白雲筆 寛政年間後期 2帖 個人蔵
241. 谷文晁東北地方写生図 谷文晁筆 寛政6年 2巻 東北大学附属図書館
242. 大和巡画日記(写本) 西村公喬写(原本は谷文晁筆)

天保12年写 2冊

東北大学附属図書館

243. 丁巳鎌倉日記 谷文晁筆 寛政9年 1巻 個人蔵

244. 相州名勝図帖 谷文晁筆 寛政9年 1帖 東京国立博物館

245. 磐城紀行図巻 白雲筆 寛政年間後期 1巻

神戸市立博物館

246. 遊囊小奇(中山道画冊) 白雲筆 寛政12年 1冊 個人蔵

247. 摂津・播磨・讃岐・備前風景画冊 白雲筆 寛政年間 1冊

個人蔵

248. 備中・備後・安芸・伯耆風景画冊 白雲筆 寛政年間 1冊

個人蔵

249. ふところ日記 (伝) 谷文晁筆 文化4年 1冊

東北大学附属図書館

250. 真田幸貫画像 真田幸貫賛 文政13年(天保元年) 1幅

真田宝物館

251. 朝日日記 真田幸貫筆 天保2年 1巻 真田宝物館

252. 奥州白川甲子山真景図巻 大野文泉筆 文化5年 2巻

真田宝物館

253. 奥州白河郡大拱村山泉図 巨野泉祐(大野文泉)筆

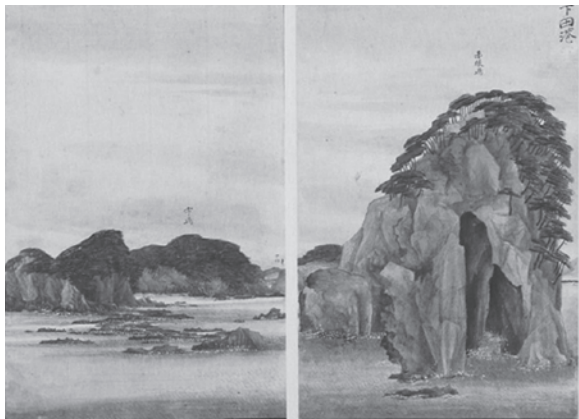
文化14年頃 1巻

神戸市立博物館

254. 富岳図巻 星野文良筆 天保11年 1巻 真田宝物館

255. 自草加至日光真景図 高川文筌筆 弘化3年 1巻

真田宝物館



238 ©公余探勝図 谷文晁筆 東京国立博物館

特別展 東日本大震災復興支援 「若冲が来てくれました」

—プライスコレクション 江戸絵画の美と生命—

本展覧会は平成24年度から25年度にかけて開催したため、今号では主に24年度分を掲載し、次号において25年度分を掲載する予定である。なお、展示資料目録は次号にまとめて掲載する。

- 会 期 平成25年3月1日（金）～5月6日（日）
開催日数 24年度：28日間（3月1日～31日）
25年度：32日間（4月1日～5月6日）
合 計：60日間
観覧者数 24年度：28,396名（一日平均1,014名）
観 覧 料 一般・大学生800円（600円）、高校生以下無料（10名以上の団体各100円引き、（ ）内は前売料金）
主 催 「若冲が来てくれました」仙台展実行委員会（仙台市博物館・NHKプラネット東北支社）、財団 心遠館、日本経済新聞社
共 催 NHK仙台放送局、河北新報社
特別協力 キヤノン
協 力 ロサンゼルス・カウンティ美術館、京都文化協会、小学館、日本航空
後 援 アメリカ大使館、南カリフォルニア日米協会、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、Date fm、ラジオ3 FM76.2

アメリカ在住のジョー・プライス、悦子・プライス夫妻が所有するコレクションは、優れた江戸絵画のコレクションとして世界的に知られている。本展覧会は、東日本大震災で被災した日本の人々の心を癒し、復興への活力を提供できるように、と夫妻が出品を申し出られたことによって実現し、宮城・岩手・福島の三県を巡回するものである。

出品作品100件の中には、伊藤若冲をはじめ、曾我蕭白、円山応挙、長沢芦雪、酒井抱一、鈴木其一ら個性派画家たちの選りすぐりの江戸絵画の名品があり、また純粹に心から楽しめる作品がそろっている。たくさんのお子どもたちに江戸絵画の面白さを

知ってほしい、というプライス夫妻の願いを受け、本展覧会では親しみやすい作品名称とわかりやすい解説などによって江戸絵画とプライスコレクションの魅力を紹介し、子ども向けのワークショップも行った。

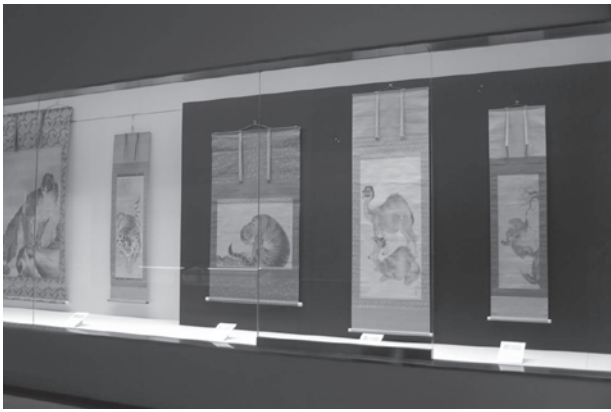
また、プライス夫妻の尽力により、MIHO MUSEUM、国立美術館、国立博物館、宮内庁三の丸尚蔵館及び宮内庁正倉院事務所からも作品が出品された。なお、本展覧会は平成24年度文化庁ミュージアム活性化支援事業である。



虎図 伊藤若冲筆

展示構成

- 第1章 ようこそプライスワールドへ
（1）目がものをいう
（2）数がものをいう
（3）○と△
第2章 はる・なつ・あき・ふゆ
第3章 プライス動物園
第4章 美人大好き
第5章 お話きかせて
第6章 若冲の広場
第7章 生命のパラダイス



展示風景

展示会場（展示内容）

- 1 特集展示室（屏風絵）
- 2 テーマ展示室 I（第1章）
- 3 コレクション展示室 II（第4・5章）
- 4 企画展示室（第3・6・7章、賛助出品作品）

印刷物

24年度

ポスター B 2判 2,530枚、B 3判 500枚

チラシ A 4判 134,300枚、割引券 150,000枚

図録 B 5判変型264ページ

※その他、広報印刷物については65頁「文化庁ミュージアム活性化支援事業広報業務」参照



ポスター B 2

関連行事

24年度：

- (1) プライスさんスペシャルトーク
演題「楽しい江戸絵画の世界」

3月1日（金）13：30～15：30

博物館ホール 参加276名

講師：ジョー・プライス氏

辻惟雄氏（東京大学名誉教授）

コーディネーター：

山下裕二氏（明治学院大学教授）

- (2) 春休みこども企画「ドキドキワクワク
色々な光で絵を見ると…」

3月23日（土）13：30～15：00

ギャラリー、講習室 参加35名（うち保護者15名）

講師：ジョー・プライス氏、悦子・プライス氏、
樋口智之（当館学芸員）

- (3) ギャラリートーク

3月1日（金）9：30～11：30

参加 仙台市立中野小学校児童22名

講師：ジョー・プライス氏、悦子・プライス氏
※62頁「歴ネット被災校バスツアーの実施」参照

- (4) 特別鑑賞プラン

3月18日（月）10：00～14：00

参加100名

ギャラリートーク講師：内山淳一（当館学芸室
長）、樋口智之

- (5) ミュージアムセミナー

3月2日（土）参加36名

3月6日（水）参加7名

- (6) 友の会広報セミナー

3月4日（月）参加168名

- (7) 各種団体への展示解説

合計5件参加122名



特別鑑賞プラン

2. 資料の収集保管

受贈資料

平成24年度は11の個人及び団体から599件740点の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載
島本麗子／河田礪溪筆「鶴亀図」／双幅
鈴木忠志／埋木細工 鷹置物／1軀
板橋文彦／板橋次郎関係資料／586件724点
武市通則／徳川光貞書状 松平陸奥守宛／1面
大石晃大／伊達政宗書状 中島伊勢守宛／1幅
東北綜警常駐株式会社／奥州名所図屏風／6曲1隻
櫻田吉則／山家清兵衛書状 大炊様宛／1通
武田伊和夫／八幡宮御内陣什宝覚ほか／3件3点
渡邊明／伊達鏡実録／3冊
西村容太郎／道中案内記ほか／2件2点
特定非営利法人京都文化協会／高精細複製品 長沢
芦雪筆「白象黒牛図屏風」(原資料はエツコ&ジョー・
プライスコレクション)／6曲1双

購入資料

本年度は1件2点の資料を購入した。

※資料名／数量の順に記載
菅井梅関・南湖長崎送別詩画／2幅

寄託資料

平成24年度、当館では111人8391件の寄託を受け付けた。

資料修理

平成24年度は1件の修理を行った。

(1) 脱塩処理及び修理

「江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立」
司馬江漢筆 1基

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室におい

ては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯を使用している。

また虫菌害対策としては、以下のように(1)加害生物及び浮遊菌調査や(2)くん蒸による殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①平成24年7月25日～8月8日

②平成24年9月12日～28日

③平成24年12月5日～17日

④平成25年1月10日～24日

⑤平成25年2月27日～3月13日

調査方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースンプラーによる採集と培養による系統同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所粘着トラップを設置。同じく25箇所においてエアースンプラーを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①平成24年4月24日～27日

②5月11日～14日

③5月18日～21日

④6月1日～4日

⑤6月19日～24日

⑥7月11日～15日

⑦平成25年1月19日～24日

⑧2月10日～15日

⑨2月16日～21日

⑩2月23日～27日

⑪3月16日～21日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガス

の屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

(3) 展示室・収蔵庫におけるくん蒸

目的：展示室・収蔵庫において虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：平成24年12月28日～平成25年1月6日

実施場所：企画展示室、コレクション展示室Ⅰ、収蔵庫Ⅰ・Ⅳ

方法：アルプ（酸化プロピレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はすべて殺滅され、殺虫・殺菌効果とも100パーセントと判定された。

その他：使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて安全に排気を行った。

資料の貸出

本年度は10館等に46件56点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

栃木県立博物館／「戊辰戦争－慶応四年 下野の戦場－」展／白河口戦闘絵図（複製） 1件1点／平成24年4月11日～6月20日

三春町歴史民俗資料館／「愛姫と三春の姫君」展／伊達政宗書状（某宛）等 2件2点／平成24年4月10日～5月25日

仙台文学館／「北斎漫画展－江戸の出版文化」／『女大学宝文庫 全』等 14件20点／平成24年4月10日～6月27日

最上徳内記念館／「江戸時代の妖怪展」／百鬼夜行絵巻 土佐光貞筆 1件1点／平成24年7月25日～8月30日

宇和島市／いやし博2012「政宗見参！－仙台藩伊達家と宇和島藩伊達家－」展／重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用等 12件13点／平成24年8月29日～10月16日

白河市歴史民俗資料館／「新島八重の生涯と戊辰戦争展」のうち白河展「新島八重の生涯と戊辰白河川の戦い」展／白河口戦闘絵図（複製）等 7件7点／平成24年8月28日～11月20日

名古屋市博物館／「芭蕉－広がる世界、深まる心－」展／蕉門八哲図 遠藤曰人筆等 4件4点（内寄託品1点）／平成24年9月13日～11月21日

文化庁／「日本のわざと美」展／正藍染単衣 千葉あやの作 1件1点／平成24年10月9日～12月5日

霞会館／「明治天皇六大巡幸」展／御巡幸行列之図式等 3件4点／平成24年10月4日～12月5日

仙台市富沢遺跡保存館／「青銅器の美－銅鐸・銅鼓・銅鏡」展／経筒 仙台市愛宕山経塚出土 1件3点（内寄託品3点）／平成24年12月6日～平成25年1月24日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。申込は261件829点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ23回、「国宝 支倉常長像」はのべ47回の利用があった。



重要文化財 黒漆五枚胴具足



国宝 支倉常長像

表2 収蔵資料一覧

平成25年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,077
石川治行コレクション	東北の陶磁器	17
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大久保良雄コレクション	書跡	1,136 ◇
岡家資料	古文書等	11,000
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46 ◇
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247 ◇
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥遼関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	255
小松家資料	仙台平等裂地	10
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	2,954
武田家資料	古文書、古記録、服飾、工芸	192 ◇
武市家資料	古文書、古記録、具足	292
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539 ◇
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856 ◇
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	353
工芸	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,590
絵画	絵画	918
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	15,926

総計 92,547点

(新規収蔵資料741点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理が完了した点数のみを記載 ▽資料の一部を市史編さん室に移管

表3 当館収蔵指定文化財一覧

国指定文化財（国宝）

平成25年3月31日現在

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

国指定文化財（重要文化財）

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付（伊達政宗所用） 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯（三沢初子所用） 附 総鹿子裂 2枚 入日記（正徳2年4月） 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図（写）	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像（狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込）	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図（2曲屏風） 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図（東東洋筆）	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色靈昭女、牡丹、芙蓉図（伊達綱宗筆）	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図（東東洋筆）	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図（雪村周継筆）	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類（伊達政宗所用） 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織（伊達重村所用）	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2箇 伊達忠宗作 2箇 伊達綱宗作 6箇 伊達綱村作 7箇 伊達吉村作 36箇 仙台藩主作 7箇（以上茶杓筆筒入） 伊達忠宗作 1箇	61箇	昭和60年9月4日

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領）	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱皺漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付（伝上杉謙信所用）	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盃	1具	平成24年12月21日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章（仙台藩歴代藩主所用）	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録（仙台市博物館本）	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編（仙台市博物館本）	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考（仙台市博物館本） 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1口 糸巻太刀拵 1腰 黒漆葛蒔絵文箱 1合 青龍付文鎮（文箱内容品） 1点 墨（文箱内容品） 1挺 黒漆白梅蒔絵箱 1合 梨地菊蒔絵箱 1合 黒漆鉄線蒔絵香合 1合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1合 筆入（硯箱内容品） 1点 墨（硯箱内容品） 1挺 硯（硯箱内容品） 1面 水滴（硯箱内容品） 1点 梨地煙管箱 1合 煙管羅字（煙管箱内容品） 2点 梨地菊蒔絵印籠 1具 皮袋 1点 慶長1分金（皮袋内容品） 3枚 携帯用磁石（皮袋内容品） 1点 金製ブローチ（皮袋内容品） 1点 練玉（皮袋緒締） 1点 銀製服飾品 1点 円鏡 1点 毛抜 2点 雲母製菜板 5枚 葵紋金製菜板 1枚 金具 一括 残欠類 一括	一括	昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	仙台城下絵図（推定天明6～寛政元年）	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日

3. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 4月1日(日)～継続中
配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
H24	273人	15人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典(政宗のよろいクリアファイル)を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。



2. 博物館七夕飾り

平成24年7月10日(火)～8月19日(日)

エントランスホール

柳生地区(仙台市太白区)に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具(吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠)を作り、展示した。短冊は、プレイミュージアムにて事前に来館者に願いを書いていただいたものを使用した。



3. 仙台っ子歴史探検隊

「伊達政宗を探検しよう！」①

平成24年7月21日(土) 10:00～12:30

講習室・常設展示室 参加20人

小学生4年生から6年生を対象に、仙台の歴史と文化に親しみながら、地域理解を深めることを目的として、政宗が使ったとされる鉛筆のクラフトで手紙を書いたり、鎧を調べ着用したりするなどの体験的な学習を行った。



「伊達政宗を探検しよう！」②

平成24年10月7日(日) 10:00～12:30

講習室・常設展示室 参加17人

成果として探検後それぞれ感想発表を行った。保護者たちが見守る中、探検隊長から認定書を手渡すことで、子どもたちの意欲の高まりが見られた。



4. 親子体験イベント

(1) 夏休み工作教室

「からくり玩具 ねことねずみをつくろう」

平成24年7月28日(土) 10:00～12:00

講習室 参加30人(子供17人、大人13人)

小中学生を対象とした夏休みの工作教室を自遊創意クラブの三浦孝男氏の協力を得て行った。今年度は「ねことねずみ」をモチーフにしたからくり玩具を製作した。親子で協力しながら楽しく活動していた。



(2) 「木のネームプレートをつくろう」

平成24年10月27日（土）10:00～12:00

館庭特設会場、館庭 参加14人（子ども8人、大人6人）

小学生を対象としたイベントである。樹木名を表記したプレートを作成し、樹木に結び付ける活動を通して、三の丸跡及び登城路の自然に触れ親しむことを目的としている。24年度は主に、長沼付近の桜等の樹木を中心にプレートの取り付けを行った。



5. 企画・特別展開連イベント

企画・特別展を、より多くの市民に見学してもらうことを目的としたイベント。これらのイベントを通して、博物館をより身近に感じてもらうことができた。

春休みこども企画①「ドキドキワクワク 色々な光で絵を見ると・・・」

平成25年3月23日（土）13:30～15:00

ギャラリー、講習室 参加35人（子ども20人、大人15人）

子どもたちはいろいろな光によって絵の見え方が変わることを体験した。また、子どもたち自ら、ライティングにも挑戦した。さらに、ジョー・プライス氏、奥様の悦子氏から絵画に関するお話を伺うなど有意義な鑑賞をすることができた。



6. しろまち講座7～10

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めるために今年度から講座をシリーズ化して行った。いずれも13:30～15:00、ホールで開催した。

表5 平成24年度 しろまち講座

NO.	月日	講師・演題	参加者
7	4/28 (土)	坂田美咲（当館学芸員） 「仙台藩の御家騒動—伊達の黒箱を紐解く」	180人
8	6/17 (日)	竹田幸司（当館指導主事） 「村絵図と考古資料にみる村のくらし」	100人
9	10/13 (土)	内山淳一（主幹兼学芸室長） 「風景をえがく、あつめる—江戸時代の山水癖(マニア)たち—」	116人
10	11/10 (土)	坂田美咲（当館学芸員） 「街道こぼればなし—名所・名物・旅案内—」	179人



7. 生涯学習推進（館内講師・館外講師派遣）

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書（館内・館外）」を基に作成した講師派遣状況である。なお、生涯学習推進という観点から、学校関係を対象とした講師派遣（館内・館外）は、ここでは除外した（学校関係については、「学校教育との連携」の頁を参照）。

表6 平成24年度館内外講師派遣状況

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説	67件	3,014人
館外講師	46件	2,272人
合計	113件	5,286人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（1名）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物の2種類がある。当室では前者を常設展示、後者をイベントと称している。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

表7 平成24年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居		
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形		
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器		
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）	
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）	
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー	
	量	枡（一升・五合・一合）／軽量カップ	
	重さ	ヘルスメーター／台秤	
織る	平織機（カランコ）	編む	百足編み
	織りの組織見本	編む	花結び

変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋（わらじ）／お面（仙台張子）／手拭
考える	からくりの復元	二挺天府式和時計
	アイ・トリック	ゆがみ絵／トロンプレイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフオーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ
	パズル	組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチャパズル日本地図
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書	

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

(1) 入場者数

24年度 39,361人

(2) 配布物

配布物(枚)	H24
①よろいのワークシート	2,183
②トレーシングペーパー	20
③折紙	29
④テキスト	64

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

(3) 破損、修理状況

状況(点)	H24
破損や汚れのための撤去	2
紛失	33
修理による復帰	188
修理不可能での廃棄	3
同種で交換や追加したもの	41
新規展示	4

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

(4) デジタルデータの活用

システム名	H24
来館者用情報提供システム	9,049

来館者用情報提供システムとは、Q&A形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは展示室及び情報資料センターにも設置されている。

2. イベント

1 変身イベント「変身タイム1330」

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。以下の内容で年3回実施している。

(1) 館内での変身タイム

第1回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

平成24年5月20日（日）13：30～15：00



第2回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成24年10月20日（土）13：30～15：00



第3回「桃山時代のお姫様や支倉常長に変身！」

- 打掛・小袖または支倉常長の衣装（復元）

平成25年3月2日（土）13：30～15：00



表8 参加数（人）（子供は中学生以下）

	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	聴講者
H24	1	17	34	6	11	17	32
	2	10	18	5	2	7	22
	3	20	20	4	16	20	25
	計	47	72	15	29	44	79

平成14年度から上記の内容で年3回実施している。戦国ブームもあって、子どもから高齢者まで幅広い世代の応募が見られるなど、人気の高いイベントである。

(2) 出前変身タイムの実施

平成24年5月3日（木・祝）9:30～14:00

GWの連休期間中に、イトーヨーカドー泉店にて出前変身タイムを実施した。五月人形や節句の祝い品などのブースに特設会場を設置。当日買い物に来ていた家族連れに声掛けを行い、午前・午後と合わせて16名の参加者があった。

来店後このイベントについて知った方が多く、事前広報を工夫することで、さらに多くの参加者を見込めるものと思われる。

2 特別イベント


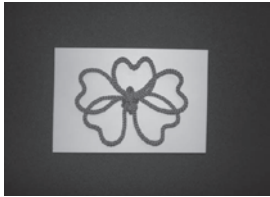

イベントを企画する際の原則は以下の通りである。






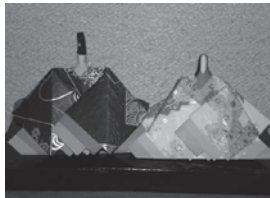
- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。



- 常設展示資料に焦点をあてたもの
- 年中行事や季節にあわせたもの
- ◎特別展や企画展にちなんだもの

表9 平成24年度特別イベント一覧

期間	参加人数	内容
○投扇興		
3/13 (火) ～4/ 8 (日) 25日間	大人 209人 子ども147人 計 356人	投扇は江戸時代の遊戯のひとつ。的に向かって開いた扇を投げて、点数を競い合う遊びを体験する。毎年継続してこの時期に実施しているが、来場者に人気の高い遊びである。 
◎ときめきの飾り結び		
4/20 (火) ～6/10 (日) 52日間	大人 343人 子ども336人 計 679人	企画展「仙台藩の御家騒動一寛文事件を追いかけろ！」と関連して実施したイベント。企画展に出品されている浮世絵やよろい等にも見られた飾り結びについて取り上げ、美しい飾り結びをつくって楽しんでもらった。 
◎つくってみようインカの動物		
7/ 6 (金) ～9/ 9 (日) 58日間	大人 1,364人 子ども1,142人 計2,506人	特別展「インカ帝国展―マチュピチュ発見100年」と関連して実施したイベント。インカ帝国で使われた「キープ」の仕組みについて学びながら、ひもを結んでインカの動物をつくってもらった。インカ帝国展の来館者数に比例して、イベント参加者数も増加し、2,500名を超えた。 

○短冊に願いを！		
7/ 6 (火) ～8/ 8 (水) 28日間	集計せず	和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わうイベント。柳生和紙の短冊に願い事を書き、笹竹（造花）に結んでもらった。 
◎あなたも摺り師		
9/28 (金) ～11/11 (日) 39日間	大人 182人 子ども322人 計 504人	浮世絵に登場する人物等の多色木版刷を体験し、浮世絵に対する関心を高め、理解を深めてもらった。  
○とべとべ！するめてんばた		
12/18 (火) ～1/27 (日) 25日間	大人 26人 子ども62人 計 88人	郷土に伝わる玩具の一つとして「するめてんばた」を取り上げ、製作を通して来館者に宮城県の伝統文化について理解を深めてもらった。  
○折りびなで桃の節句		
2/ 5 (火) ～3/ 3 (日) 27日間	大人 58人 子ども26人 計 84人	和紙を使い、男女2体の折り雛を作るイベント。日本の年中行事や伝統文化について理解を深めてもらった。 

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積され、その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するために図書や映像などといった二次資料のかたちで提供する場が必要となってくる。一方、歴史的分野における市民の自主的な学習を通じた生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の重要な要素であり、情報資料センターを実践の場と位置付けている。

当センターは、利用者のニーズにも対応できるよう運営されている。ミュージアムアシスタント2名（うち司書1名）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表10参照）。

提供資料

1. 図書資料

当センターで自由閲覧を可能とした部屋になっている。自由閲覧以外の蔵書も要望により閲覧に供しているが、貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

今年度の受入図書は1,982冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は80,333冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は4,993冊（うち新規配架図書15冊）である。

また、センター内の企画として特別展・企画展と関連した特設図書コーナーを随時設けている。

今年度は4回設置し、延べ設置冊数は73冊であった。

2. 映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

3. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心として、絵巻物・浮世絵等について写真を添付したカードを作成し、整冊して開架書架に配している。

4. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。コインバンダー式のマイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）でプリントが可能である（利用件数は表10参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室（5台）に設置された情報提供システムと同様のものが設置1台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室53,589件、プレイミュージアム9,049件、当センターでは1,769件であった。

表10 平成24年度情報資料センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数（人）	543	812	584	702	1,285	643	583	581	344	339	511	724	7,651	
相談質問（件）	16	17	69	40	66	52	46	31	37	31	41	54	500	
外線問合せ（件）	319	450	432	631	782	500	321	337	210	295	467	627	5,371	
映像利用	利用（件）	3	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	2	11
	利用者（人）	3	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	2	11
図書複写利用	（件）	38	53	62	32	53	37	39	43	34	36	53	49	529
	（枚）	558	1,006	582	237	468	414	357	424	439	377	583	748	6,193
マイクロフィルム利用	利用（件）	3	1	9	1	1	7	3	4	1	4	0	4	38
	複写（枚）	147	12	68	30	81	109	41	122	12	195	0	88	905
画像提供装置利用者数（情報資料センター調べ）	41	71	46	44	97	41	26	19	17	16	17	29	464	
収蔵資料検索アクセス数	111	170	139	216	342	175	96	119	59	78	66	198	1,769	

※平成24年12月26日～平成25年1月8日まで館内燻蒸のため休館

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表12から分かるように、平成24年度の学校による博物館の総利用状況は478件・14,250人（前年度比242件増・4,430人増）となり、震災により平成23年3月12日～7月22日まで休館（特別展のみ開館）となった前年度と比べ、大幅増となった。

市内学校の来館件数は157件（前年度比49件増）と昨年度と比較し約1.5倍に増加している。市内の小学校の来館件数は9月～12月が47件と多く、秋季に校外学習を計画する学校が多いためと考えられる。昨年度の9月～12月の来館件数も45件と多く、今後もこの傾向は続くものと思われる。

市外学校の来館件数は321件（前年度比193件増）と昨年度と比較し約2.5倍に増加している。昨年度3月～7月にかけて休館していたことや震災から1年が経過し、近隣の学校状況が比較的落ち着き、県外での校外学習が可能となったことが理由として考えられる。また、市外の学校の来館件数は4月～6月が多い（小学校100件、中学校112件）。修学旅行がこの時期に集中するためと考えられる。

最近の傾向として、市内外に関わらず、仙台市内の各施設をグループごとに自主研修する学習形態が増えている。博物館にもグループで来館する件数が335件（前年度比215件増）と多くなっている。

表11 来館児童生徒数（人）

	H22	H23	H24
小学校	8,418	4,589	6,960
中学校	5,161	3,346	4,798
高校・大学	3,011	1,885	2,492
合計者数	16,590	9,820	14,250

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げようと、当館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学・職場訪問・貸出教材リスト・出前授業・教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。また、学校の教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料として、年度末に学校に対して館内外授業プログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) 博物館活用研修会

8/2（木）9:30～12:00ホール・講習室 参加49人

市内小中学校の教員を対象に、博物館学習に関する研修会を実施した。社会科では仙台藩の参勤交代について、貸出教材や仙台市史を活用した授業づくりについて紹介、図工・美術科では「もんきりがた」

平成24年度 学校における博物館利用状況（上段：平成24年度 下段：平成23年度 単位：件・人）

表12 概況

利用数	内訳	件数		人数	
		件数	人数	件数	人数
市内	常設展	157	6,264		
	企画展	108	5,390		
	特別展	321	7,986		
市外	常設展	128	4,430		
	企画展	478	14,250		
	特別展	236	9,820		
合計		478	14,250		
学習形態数	一斉	145			
	グループ	335			
	合計	480			
利用目的数	常設展	227	5,813		
	企画展	65	2,209		
	特別展	180	5,039		
合計	常設展	104	3,945		
	企画展	92	3,398		
	特別展	50	2,274		
合計		499	14,250		
		219	8,428		

表13 月別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計														
													件数	人数	件数	人数											
仙台市内	小	6	247	5	221	6	296	6	369	0	0	10	468	11	651	18	804	8	409	1	66	7	264	4	167	82	3,962
		1	0	2	126	2	135	0	0	0	0	6	405	13	792	10	618	16	971	1	4	0	0	2	132	53	3,183
		1	7	2	32	0	0	5	177	1	2	0	0	1	6	6	207	1	128	0	0	2	8	3	88	22	655
	中	0	0	0	0	1	27	0	0	3	183	0	0	3	185	4	201	2	154	0	0	0	0	6	47	19	797
		3	318	0	0	2	53	5	175	4	133	0	0	2	41	1	47	1	13	2	217	0	0	2	17	22	1,014
		0	0	6	298	3	83	0	0	0	0	0	0	2	72	2	95	1	144	0	0	4	324	18	1,016		
	高	0	0	1	15	8	59	2	26	2	71	1	16	3	202	6	104	2	22	4	89	2	29	0	0	31	633
		0	0	2	14	0	0	1	12	2	46	1	25	0	3	136	6	82	3	79	0	0	0	0	18	394	
		10	572	8	268	16	408	18	747	7	206	11	484	17	900	31	1,162	12	572	7	372	11	301	9	272	157	6,264
	小計	1	0	10	438	6	245	1	12	5	229	7	430	16	977	19	1,027	26	1,302	5	227	0	0	12	503	108	5,390
		4	153	21	357	75	1,322	4	38	1	13	15	277	12	372	8	290	0	10	1	1	2	75	2	90	145	2,998
		0	0	0	0	3	89	1	106	1	50	14	309	8	341	9	317	1	105	0	0	2	14	2	75	41	1,406
中	43	1,267	59	1,608	10	291	10	261	0	0	11	290	8	182	9	147	1	33	1	8	1	54	1	7	154	4,143	
	0	0	0	0	2	273	8	252	1	30	38	1,166	18	686	6	114	1	10	0	0	0	0	1	18	75	2,549	
	0	0	3	205	1	26	3	42	0	2	103	1	203	2	82	1	0	0	0	2	14	0	0	15	675		
高	0	0	0	0	0	0	0	0	2	123	1	112	1	39	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	278
	0	0	0	0	2	69	1	30	0	0	0	0	2	58	1	12	0	0	0	0	1	1	0	0	7	170	
	0	0	0	0	1	27	2	40	1	17	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	16	0	0	2	96	8	197
小計	47	1,420	83	2,170	88	1,708	18	371	1	13	28	670	23	815	20	526	2	43	2	9	6	144	3	97	321	7,986	
	0	0	0	0	6	389	11	398	5	220	54	1,588	27	1,066	15	431	2	119	1	16	2	14	5	189	128	4,430	
	57	1,992	91	2,438	104	2,116	36	1,118	8	219	39	1,154	40	1,715	51	1,688	14	615	9	381	17	445	12	369	478	14,250	
合計	1	0	10	438	12	634	12	410	10	449	61	2,018	43	2,043	34	1,458	28	1,421	6	243	2	14	17	692	236	9,820	

※1 東日本大震災により平成23年3月12日～7月22日まで休館（特別展のみ開館）、また平成24年1月16日～2月27日まで改修工事で休館となった。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。
 ※3 利用目的が複数あった学校があるため、目的件数と利用件数は一致しない。
 ※4 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※5 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
 ※6 他は、大学、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校、ろう学校、盲学校、社のひろば等とした。

を体験させ、活用のヒントとなるような研修の場を提供した。最後に学芸員が特別展の解説を行い、その後自由観覧とした。

(2) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に行う、宮城県内の教員を対象としたセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらふことを目的とする。当館学芸員が見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。

- 企画展 「仙台藩の御家騒動」 4/28 (土)…18人
- 特別展 「インカ帝国展」 7/11 (水)、7/14 (土) …47人、87人
- 特別展 「江戸の旅」 10/6 (土)、10/9 (火) …15人、13人
- 特別展 「若冲が来てくれました」 3/2 (土)、3/6 (水) …36人、7人

(3) 各種教育機関と共催事業

① 仙台市中学校社会科研究会研修会

5/17 (木) 教育センター 15:00 ~ 15:50

参加70人

仙台市内中学校の社会科教諭を対象に「博物館利用学習」について講話を行った。

② 宮城県中学校社会科研究会

6/4 (水) 講習室9:30 ~ 16:00 参加15人

宮城県内の小中学校の社会科教諭を対象に、博物館資料や自治体史を活用した授業づくりについて講話と模擬授業を行った。午後は樋口雅夫教育課程調査官から「社会科の指導のこれからと評価」について御講話いただいた。

③ 仙台市小学校教育研究会図画工作部会研修会

6/20 (水) ホール15:00 ~ 17:00 参加90人

仙台市内の小学校教育を対象に「図画工作科における博物館の活用」について講話を行った。

④ 仙台市図工・美術科研究会

8/8 (水) 講習室9:30 ~ 16:45 参加13人

仙台市内の小中学校教諭を対象に、仙台市教育センターと共催で、授業作りや鑑賞の仕方について講話及び実技研修を行った。学芸員が特別展について解説を行い、各自自由観覧とした。

⑤ 仙台市中学校教育研究会美術科部会研修会

9/13 (木) 講習室15:00 ~ 16:30 参加50人

仙台市内の中学校教諭を対象に、博物館の活用方法や特別展についての講話を行った。後半は市内中学校教諭を講師に「ミニ屏風づくり」の実技研修を行った。

⑥ その他の研修会

- セツケ浜町教育研究会社会科部会研修会

6/22 (金) 講習室15:00 ~ 16:30 参加7人

- 東二番丁小学校職員研修会

8/21 (火) 講習室10:00 ~ 12:00 参加10人

- 名取市教育研究会社会科部会研修会

11/1 (木) 講習室14:00 ~ 16:00 参加21人

各研修会の事後アンケートから、博物館を利用した学習プログラムや貸し出し教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学習の具体例について紹介するなど学校教育における博物館の活用を促す機会としていきたい。

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説については解説ボランティアが対応した。見学の際にボランティアによる解説を希望する学校は多く、展示室で疑問を解決できることや即時に対応してもらえことから、子どもたちにも好評であった。

5. 職場訪問（見学、体験も含む）

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場訪問を9件・43人を受け入れた。1日のみの活動が6件・33人。3日間の活動が3件・12人であった。活動内容は、館内授業プログラムの補助、アシスタント業務の体験、館内イベントのチラシづくりや広報活動等を行った。

6. 博物館教材の貸出

博物館教材の貸出は、18件・33点(前年度比2件減・20点減)であった。最も件数の多かった貸出資料は「楽山公行列図巻」(8件)、次いで「縄文土器や石包丁など出土品複製一式」(4件)であった。小中学校の教員を対象とした各種研修会にて、「楽山公行列図巻」「縄文土器や石包丁など出土品複製一式」を活用した授業づくりについて紹介しているためと思われる。写真パネル等他資料の貸出状況に大きな変化はなかった。

7. 館内講師・館外講師派遣

充実した博物館学習を行うために、館職員と学校関係者による事前打合せを行ってきた。展示見学における解説ボランティアとの連携やスタディシートの活用法、館職員による講話など、学習活動に関する内容が主である。

学校からの依頼を受けて、児童生徒や学生、教職員向けに館職員が館内及び館外で講話を行った。表は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）。

表14 講師派遣一覧

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師(内訳)	61件	3,076人
○常設展の解説	2件	103人
○特別展・企画展の解説	3件	145人
○講話・講義	35件	1,911人
○講話・体験	21件	917人
館外講師(内訳)	12件	1,172人
○小学校(出前授業)	9件	792人
○中学校(出前授業)	3件	380人
合計	73件	4,248人

館内講師については、社会科プログラムでは「伊達政宗と仙台」「くらべてみよう城下町」についての講話を希望する学校が多かった。仙台市内の学校からは修学旅行先（会津若松、盛岡など）の歴史や城下町についても話をしてほしいという相談が多かった。

また、図工・美術科プログラムでは「もんきりがた（8件）」「土人形（7件）」など、体験とともに展示を見る視点につながるものを希望する学校が多かった。



館外講師については、市内の小中学校を対象に出前授業を行った。社会科プログラムでは、「参勤交代について（1件）」「政宗について・よろいの着付け体験（3件）」の利用があった。また、図工・美術科プログラムでは、地域の伝統と関連付けた「もんきりがた（2件）」「するめてんばた（2件）」「屏風絵の世界（2件）」の利用があった。児童の反応がよく、地域に伝わる文化について楽しく学ぶことができたという好評であった。

表15 学習プログラム一覧

	プログラム名	内容
社会科	くらべてみよう城下町仙台と会津若松	城や城下町を比較しながら修学旅行で役立つ内容を学ぶ
	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	行列の様子や持ち物を調べたり目的を考えたりする
	縄文のむらから古墳のくにへ①	狩猟・採集時代を展示資料を活用して学ぶ
	縄文のむらから古墳のくにへ②	農耕によりむらが大きくなっていく様子を学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	日本の美意識ーよろいの美しさを感じようー	具足を見ながら当時の職人の技術や美しさを味わう
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、8/10(金)から9/1(土)まで博物館実習を行った。13大学から25人の実習生を受入れた。実習日程については2グループに分け、それぞれ5日間の実習(合同実習1日、グループ別実習4日)を行った。庶務、歴史、美術工芸、教育普及などで分担して実施した。



9. 被災校訪問館外授業

平成25年2月26日(火)に仙台市立荒浜小学校1～4年生20名と同校が間借りしている東宮城野小学校4年生31名を対象に館外授業を実施した。政宗所用の具足のレプリカ着用体験や武将隊演武鑑賞、さらに武将隊と一緒に給食を食べるなど交流を深め、仙台の歴史・文化を楽しく学び、郷土に対する思いを深めさせることができた。

10. キャンパスメンバーズ制度の導入

学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生や教職員が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的として、平成25年4月1日からキャンパスメンバーズ制度の開始を決定。(要綱：平成25年2月4日教育長決裁)

大学等を対象とした会員制度であり、学生数及び教職員数による一定の年会費を納めてもらうことで、メンバーになった学校の学生と教職員は、常設展の無料観覧等、様々な特典を受けることができる。

今後、メンバー校の学生に対し出前授業や館内イベント等への協力など、キャリア形成の場を提供することも検討している。

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関

- せんだいメディアテーク
- 仙台市博物館
- 仙台市科学館
- 仙台市縄文の森広場
- 仙台市天文台
- 仙台市富沢遺跡保存館
- 仙台市八木山動物公園
- 仙台文学館
- 仙台市歴史民俗資料館
- 宮城県美術館
- 東北大学総合学術博物館
- 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
- 仙台市教育委員会（生涯学習部）

1. クロス展示

宮城の出版文化に関する展示を6施設で連携して行った。各施設で紹介される記録書、物語、ポスター、チラシなどの展示物を通して、印刷物の移り変わりと、そこから垣間見える仙台・宮城の人々の暮らしの変化を広く伝えた。

実施施設及び展覧会名（会期）

実施施設	展覧会名	会期
仙台市博物館	企画展「仙台藩の御家騒動 寛文事件を追いかけろ！」	4月20日～ 6月10日
宮城県美術館	小企画展「絵本原画・小野かおる」	3月27日～ 6月3日
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	企画展「芹沢銈介作品－北国の文様－」	4月4日～ 7月7日
仙台市文学館	特別展「北斎漫画展～江戸の出版文化～」	4月21日～ 6月17日

仙台市歴史民俗資料館	企画展「オールドグラフィック 2－仙台の出版文化－」	4月28日～6月17日
せんだいメディアテーク	「smtメディアカプセル活版印刷ワークショップ・展示」	6月4日～1月14日

2. SMMAミュージアムユニバース

- 1) 開催日時：平成24年10月20日（土）・21日（日）
13:00～18:00 参加者数：約900名（延べ）
- 2) 会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
- 3) 内容：共通するキーワードを糸口に各館の個性豊かな話題で語りつないでいく「リレートーク」、各館の特色をものづくりや実演などによって味わうことができる「体験コーナー」、「展示コーナー」を展開した。



- 4) 当館の協力：当館からは、10月20日開催のキーワード「旅」で坂田美咲が「江戸の道中事情～名所・名物・旅案内～」というタイトルで講演を行った。

また、「参加館情報コーナー」で特別展「江戸の旅」のポスターや博物館配布チラシを提供した。



3. SMMAミュージアム被災状況と復旧プロセスに関する調査

東日本大震災を経験したミュージアムの復旧の記録と将来的な地域との関係や多様な市民活動を内包するミュージアムの在り方に向けた課題を提示することを目的に、仙台高等専門学校 坂口大洋准教授に委託し、SMMA参加館を中心にヒアリング調査等を実施。当館でも市史編さん室を中心に原稿執筆や情報提供を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。

参加施設

- 仙台市富沢遺跡保存館
- 仙台市縄文の森広場
- 仙台市博物館
- 仙台城見聞館
- 瑞鳳殿
- 仙台市歴史民俗資料館
- 仙台文学館
- 仙台市戦災復興記念館

1. 歴ネットシートの作成・配布

今年度で作成したシートは以下のとおりである。

施設名	シート名
仙台市富沢遺跡保存館	<ul style="list-style-type: none"> • 企画展「名取川下流域の遺跡」 • それでも生きる！考古学から見る災害のあと（3枚）
縄文の森広場	<ul style="list-style-type: none"> • 海辺のムラの環境と暮らし～国史跡大木囲貝塚～ • 山あいのムラの環境と暮らし～摺萩遺跡・梨野A遺跡・茂庭けんとう城跡など～ • 川沿いのムラの環境と暮らし～九年橋遺跡・赤生津遺跡・芦見遺跡など～ • 沼沿いのムラの環境と暮らし～東要害貝塚・館貝塚など～

※配布総数 62,704枚（H25. 3月21日現在）

2. 歴ネット通信の発行

歴ネットの活動・取り組みなどを周知するため、学校の休み前をねらって広報紙を発行した。参加施設の行事の紹介、及び歴ネットのイベント報告などを掲載し、4号（11月）、5号（1月）、6号（3月）の計3部を作成した。

3. 歴ネットリレートークの開催

12月2日、8日、16日の3日間にわたり開催した。震災後、ライフラインが破壊され、過去のライフスタイルから学ぶものが多数存在した。今回は、いにし



えの人々が歩んできた生き方の情報や知見を踏まえて「ライフスタイル～過去・現在・そして未来へ～」というテーマでリレートークをした。時宜を得た内容であったこともあり、おおむね好評であった。

日時	担当	題目
12月2日（日）	仙台文学館	相馬黒光のエッセイからみる明治・仙台のライフスタイル
	瑞鳳殿	副葬品にみる藩主のライフスタイル
12月8日（土）	仙台市縄文の森広場	縄文人のライフスタイル
	仙台市富沢遺跡保存館	縄文から弥生へのライフスタイルの変化
	仙台市歴史民俗資料館	現代に生かそう先人の衣生活の知恵
12月16日（日）	仙台城見聞館（仙台市文化財課）	器のあれこれと移り変わりー食卓の風景ー
	仙台市博物館	住まいの移り変わり
	仙台市戦災復興記念館	非常時（戦時下）の食を中心にしたライフスタイル

当日の様子を、発表要旨集として冊子にした。
（3日間の観客数183名）

4. 歴ネットクイズラリーの実施

平成24年11月1日～平成25年2月28日に開催した。各館の有料ゾーンにあるオリジナル



クイズに答え、正解であればオリジナルスタンプを押し、各館を巡り、仙台の歴史・文化を学ぶものである。展示室内の問題を解答することで、参加者は展示物を深く観察し、仙台の歴史・文化に親しんでいた。

（参加数約7600名、4館達成者378名、8館達成者30名）

5. 歴ネット被災校バスツアーの実施

11～3月に仙台市の沿岸部被災校の3校でバスツアーを行った。どの小学校のプログラムも普段の

教室での授業では味わえない体験授業ができ、子どもたちに学習の面白さを伝えることができた。また、仙台の歴史・文化に触れたことで郷土に対する愛着が芽生え、復興への希望を醸成する一助として有効であった。

①仙台市立荒浜小学校1・2・3年生

11月29日：(テーマ：縄文人になりきろう)

仙台市縄文の森広場で縄文服装用・弓矢体験・どんぐり射的・丸木舟体験などの体験活動と展示室及び屋外展示見学を行った。

②仙台市立東六郷小学校3年生

2月5日：(テーマ：むかしの人の知恵と工夫と技を感じよう)

仙台市歴史民俗資料館で、石臼による粉ひき体験・行燈の光体験・展示室見学を行った。

仙台市縄文の森広場では、勾玉づくり体験と展示室及び屋外展示見学を行った。

③仙台市立中野小学校6年生

3月1日 (テーマ：歴史を伝える人に触れ合い郷土の歴史を伝える心を持とう)

仙台市博物館で特別展「若冲が来てくれました」に合わせて江戸絵画の収集家のプライス



夫妻による屏風を使った授業を体験したり、同氏の展示室でのギャラリートークを拝聴したりした。プライス夫妻との交流を通して、江戸絵画の奥深さを感じ取ることができた。

仙台市富沢遺跡では石器づくり体験と展示室及び屋外展示見学を行い、昔の人の技や工夫点に気づき、そのことが現代へもつながっている歴史の流れを感じ取ることができた。

6. 仙台の伝統門松復元事業(実施館：瑞鳳殿・仙台文学館・仙台市博物館 仙台市歴史民俗資料館)



かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いで

いる旧家の方の協力を得て再現した。復元公開した門松の前で記念写真の撮影をしたり、解説パネルを熟読している来館者が多数あった。仙台の歴史・文化に関する来館者の知識を深化させることができた。

7. 歴ネットフェスタ

10月6日～11月25日にかけて開催した。各館の秋のイベントを共通のチラシなどで相互に広報・宣伝するなどして実施した。仙台市内の小中学校の秋休みに合わせて実施した館もあり、親子連れでにぎわった。

施設名・期日・イベント名	
仙台市博物館	10月27日(火) 親子体験企画「木のネームプレート作り」
仙台市富沢遺跡保存館	10月6日(土)～10日(水) 「秋休み手作り工房★地底の森」 10月14日(日)「地底の森フェスタ」
仙台市縄文の森広場	10月6日(土)～10日(水)「秋休み特別イベント」 11月3日(土・祝)「縄文秋まつり」
仙台城見聞館(仙台市文化財課)	10月16日(火)～28日(日) 第57回文化財展 「結 ゆい～コメづくりの始まりと暮らし～」
瑞鳳殿	10月13日(土)「瑞鳳殿 秋の能楽」 10月20日(土)～11月25日(日)秋の企画展 「芸術家のお殿様伊達綱宗とその師狩野探幽」
仙台市歴史民俗資料館	10月8日(月・祝) たんけん資料館(れきみんバックヤード・ツアー)Ⅱ 10月27日(土)「れきみん秋祭り2012 －未来へ伝える私たちの文化－」
仙台文学館	9月8日(土)～11月11日(日) 特別展「井上ひさしと安野光雅～文学と絵画の出会い」 10月14日(日) ワークショップ「木の街をつくろう」
仙台市戦災復興記念館	10月6日(土)～11月25日(日) 「絵画などで見る仙台空襲」

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近は学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、特別展「若冲が来てくれましたープライスコレクション 江戸絵画の美と生命ー」では、全国から大変注目されたこともあり、平成25年3月末で雑誌掲載55件、新聞掲載22件、WEB記事掲載11件など多くの媒体で取り上げられた。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。平成19年から始めたPDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

(1) 博物館だより（隔月発行） No.152～157

225×420mm 四つ折り 観音開き

(2) 展覧会案内（平成25年度版）

225×420mm 四つ折り 観音開き



広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

2. 広報資料発送

マスコミをはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのちらし、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など）約130社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、24年度は約180件となった。

3. ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件を検索できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

情報更新は、毎月3回を目安に随時行っており、平成24年度の当館ホームページへの総アクセス数は、1,329,610件であった。特に特別展「インカ帝国展」及び特別展「若冲が来てくれました」前後はアクセス数が増加し、15万件／月を超えるなど、かなりのアクセス数を記録した。22年度以降、アクセス数は急激に増加しており、ホームページによる情報提供の重要性が高まっていることがうかがえる。



4. 文化庁ミュージアム活性化支援事業広報業務

平成24年度に被災地への情報発信およびミュージアムの活性化を図ることを目的とした、特別展「若沖が来てくれましたープライスコレクション 江戸絵画の美と生命ー」などミュージアム活性化支援事業の広報業務委託を実施した。展覧会の主旨に基づいて子供たちや若者を主なターゲットとし、学校向けポスター配布やTVCM、仙台駅構内iステーションや地下鉄通路でのアドピラー広告など多様な広報媒体を利用し、複合的に活用した。

■実施内容

- (1) 「若沖が来てくれました」公式HP開設・運営
平成24年10月26日開設
- (2) 小・中学生向けポスター作成・配布
発送校：県内小・中学校 641校
- (3) 高校・大学生向けポスター作成・配布
発送校：県内高校・大学 140校
- (4) 仙台市地下鉄仙台駅構内アドピラー広告
期間：平成25年2月20日～2月28日
地下鉄仙台駅東西通路／12本
- (5) 仙台市地下鉄駅構内ポスター掲出
期間：平成25年2月27日～3月5日
仙台市地下鉄駅14駅／B1判 48枚
- (6) JR仙台駅構内大型ビジョン（iステーション）掲出
期間：平成25年3月1日～15日
- (7) TV-CM放映
期間：平成25年2月20日～3月31日
放送回数：37回 放送局：仙台放送



(上) 地下鉄仙台駅通路アドピラー
(下) JR仙台駅構内iステーション

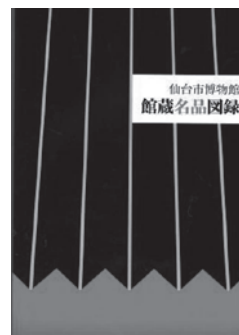
刊行物・グッズ等

平成24年度は、下記のとおり4種の刊行物を発行した。（市史編さん室の刊行物については、「5. 市史編さん事業」参照）

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、24年度は、A4クリアファイル（水玉模様陣羽織）、水玉模様陣羽織デザイン風呂敷、水玉模様陣羽織デザインハンカチ、オリジナルシール（伊達政宗）を増刷した。

1. 刊行物

- (1) 「仙台市博物館年報」第38・39合併号
平成24年7月30日発行 A4判 141頁
- (2) 「仙台市博物館調査研究報告」第32・33合併号
平成25年3月31日発行 B5判 118頁
- (3) 特別展図録「江戸の旅ーたどる道、えがかれる風景ー」
平成24年9月26日発行 A4判 176頁
- (4) 「仙台市博物館 館蔵名品図録」
平成25年3月29日発行 A4判 202頁



仙台市博物館 館蔵名品図録



特別展図録

2. オリジナルグッズ

平成24年度増刷は以下のとおり

- (1) A4クリアファイル（350円）
- (2) 水玉模様陣羽織デザインハンカチ（800円）
- (3) 水玉模様陣羽織デザイン風呂敷（2,000円）
- (4) オリジナルシール（伊達政宗）（250円）



水玉模様陣羽織
デザイン風呂敷

表16 仙台市博物館調査研究報告書一覧

No.	所収タイトル	執筆者	発行年・頒価等
No. 1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 仙台北城丸の障壁画をめぐって 大槻磐溪書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No. 2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について (史料紹介) 宮城県の自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No. 3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No. 4	仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No. 5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年3月 完売
No. 6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 1,210円
No. 7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No. 8	ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No. 9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 仙台藩関係の婚礼調度について 慈光明院蔵 種子華鬘について 柴田町金谷貝塚出土の權杖木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・ 芳野明 訳 内藤俊彦・西本 洋二・村山斌夫・ 小井川百合子	平成元年3月 1,690円
No.10	東北地方における山伏笠 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 館蔵考古資料の紹介I トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 1,870円
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 館蔵考古資料の紹介II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 1,870円
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐって 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱罨漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台北城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 1,870円
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－ケイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・ 小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 1,990円
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」(伊達家旧蔵)などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 1,870円

No.	所収タイトル	執筆者	発行年・頒価等
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」 の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 2,240円
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 仙台藩の小人について 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する－考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋および その変遷－ 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 2,280円
No.20	新収資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程(一) 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケ ート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 2,020円
No.21	百富士画をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 2,460円
No.22	仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における 博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場 から－ 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 1,260円
No.23	陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 1,330円
No.24	仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 2,180円
No.25	絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 非売品
No.26	ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚(ベネ チア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報效会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 伊達家文書の形成過程(二) 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 非売品
No.27	陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 仙台市博物館友会の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 非売品
No.28	支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を兼 ねて－ 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 資料紹介 御証文方御本勝手控－仙台藩における資料管理の一側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 非売品
No.29	1. 失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐって－ 2. 伊達政宗三百年祭について	内山 淳一 水野 沙織	平成21年3月 非売品

No.	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年3月 非売品
No.31	1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 非売品
No.32・ 33合併 号	※内容については、本年報69ページ参照		平成25年3月 非売品

(平成25年3月31日現在、以下続刊)

4. 調査・研究

平成24年度「仙台市博物館調査研究報告」第32・33合併号には、以下の論文を掲載した。

1 「御奥方格式」について

－美術工芸的アプローチ－

高橋あけみ

「御奥方格式」は江戸時代後期の伊達家の奥に関する規範を定めた資料である。ここでは全文を翻刻し、伊達家女性たちの服装や髪形、器物など美術工芸的観点からアプローチすることで、まだ不明な点の多い江戸時代の大家の女性たちの実態に迫ろうとするものである。

2 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記

水野 沙織

本稿は武市家資料に含まれる「蝦夷地警護人数名前調」を翻刻し、その内容を紹介したものである。本資料は、安政6年（1859）目付としてエトロフ島半年勤番・廻島の任務にいた目付の武市九郎三郎が記したもので、任務拜命から帰藩後の褒章までの経緯や自分覚、同年に蝦夷地へ派遣された藩士の名簿、道中日記からなる。中でも勤番前後の経緯が記されている点で貴重であり、幕末の仙台藩士の実態を探る資料となるであろう。

3 「葦名鞠負戊辰記事」に関する一考察

栗原伸一郎

「葦名鞠負戊辰記事」と題された史料について、内容を紹介し、若干の考察を加えた。明治期に作成された同史料には、仙台藩士の略伝、各戦争の様子や藩内事情などが記されている。そこからは、戊辰戦争や戦後処理に対する一藩士の認識をうかがうことができる。他の史料との関連も想定され、幕末維新期の仙台藩の動向を解明する上で貴重である。

4 花嶽神社安置の不動明王二童子像について

酒井昌一郎

宮城県栗原市の花嶽神社に所在する不動明王二童子像（宮城県指定文化財）について、解体修理時の写真を紹介し、そこから得られた知見として各像の構造・保存状態を報告した。また鎌倉時代作として

紹介されることの多い本像が、平安時代の作として考えるべき要素が強いことを述べた。

5 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」

－特に著保内野遺跡出土国宝「土偶」との比較から－

阿部 千春

西脇対名夫

竹田 幸司

本稿では、片倉重信氏より寄託を受けた蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」の資料調査をもとに、著保内野遺跡出土国宝「土偶」との比較を中心にしながら、双口環状土器と中空土偶の関係性を論じたものである。

著保内野遺跡出土国宝「土偶」と本資料は、眉毛・目・鼻・口の粘土を張り付けた刻目浮線による表現や顎部に髭の表現など類似点が多く、両者とも力強く男性的であることを紹介した。

◇平成25年度研究テーマ◇

平成25年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

中世・近世の伊達家と仙台藩の研究	坂田 美咲
近世・近代の都市仙台の研究	水野 沙織
博物館と大学の連携について	山田 貴史
古代・中世仏教彫刻・工芸史の研究	酒井昌一郎
古代から近世東北地方史研究	佐々木 徹
日本肖像画史の研究	樋口 智之
蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」の出自について	竹田 幸司
藩主具足と肖像画について	高橋あけみ

5. 市史編さん事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度から当館内に市史編さん室を置き作業を進めている。

平成23年度以前に刊行された市史は、通史編『原始』『古代中世』『近世1』『近世2』『近世3』『近代1』『近代2』『現代1』、資料編『古代中世』『近世1藩政』『近世2 城下町』『近世3 村落』『近代現代1 交通建設』『近代現代2 産業経済』『近代現代3 社会生活』『近代現代4 政治・行政・財政』『仙台藩の文学芸能』『伊達政宗文書1』『伊達政宗文書2』『伊達政宗文書3』『伊達政宗文書4』、特別編『自然』『考古資料』『美術工芸』『市民生活』『板碑』『民俗』『城館』『慶長遣欧使節』の計29冊である。

平成24年度は、第30回配本として通史編の最終巻となる『通史編9 現代2』を刊行した。この『通史編9 現代2』では、次々に整備される交通運輸網とそれに後押しされた経済発展、都市化の進展に対応した都市機能の充実から政令指定都市へとといった1960年代後半からの約20年間の仙台の変化の様子を多様・豊富なカラー図版によりわかりやすく紹介している。

また、当初計画では平成24年度に刊行を予定していた『特別編9 地域誌』は、『通史編9 現代2』の刊行時期の繰り下げに伴い、刊行を平成25年度に変更し、平成24年度は、前年度に引き続き資料の収集、分析と執筆作業を進めた。

本編さん事業の最終巻として、平成25年度刊行予定であった『特別編10 年表・索引』は、平成26年度に刊行がずれ込んだことを受け、関係委員の選任も含めて作業を中断していたが、平成26年度の刊行に向けて、準備を開始した。



このほか、『伊達政宗文書』など既に刊行を終えた巻にかかわる資料についても、随時その補足調査を行い、その成果を機関紙『市史せんだい』などに発表している。

1. 委員

市史編さん事業においては、学識経験者、市職員などで構成される11人の仙台市史編さん委員の指導・助言のもと、編集や監修などを行う専門委員15人によって随時協議が行われている。また調査分析を行う担当者として、在仙の研究者を中心に調査分析委員25人、さらに執筆委員を7人委嘱して作業を進めている。これらの委員は、近代現代、地域誌、年表・索引の部会に属して、調査分析および執筆作業を行っている。

2. 資料調査

資料調査は専門委員および各部会の要望、市民からの情報提供などに基づいて実施されている。

平成24年度は、『通史編9 現代2』に関連して仙台市関係機関を中心に調査を行い、また、『地域誌』部会では、各委員による執筆担当地区の調査を平成23年度に引き続き、震災関連の被害状況調査を含め精力的に進めた。

〔主な調査箇所〕

仙台市／秋保総合支所
秋保市民センター
葛岡斎場
熊野神社
市民図書館
仙台市ガス局
仙台市消防局
仙台市シルバーセンター
仙台市青年文化センター
仙台市戦災復興記念館
せんだいメディアテーク
太白区まちづくり推進課
大満寺
鶴谷特別支援学校
東北大学附属図書館
東北福祉大学鉄道交流ステーション
洞林寺
東六番丁小学校

満興寺
宮城県公文書館
宮城県図書館
林泉寺
連合宮城

東京都／国立公文書館
京都府／池坊総務所
大阪府／堺市博物館

※このほかにも、多数の個人宅での調査および市内各所での調査を行った。

3. 資料レスキュー活動

(1) 活動内容

平成23年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象にレスキュー活動（救出・一時保管、整理など）を行った。

個人や寺社が所蔵する資料のほか、被災した市内福島美術館が所蔵する資料の保全処置を実施した。なお、個人所蔵資料の保全については、NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークの協力を得た。



東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会が実施した東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）への協力に対して、平成25年3月25日、文化庁長官より当館に感謝状が贈られた。

(2) 活動の報告・紹介

- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会（埼玉県戸田市）で報告（H24. 5. 23）
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会（広島市）で報告（H24. 11. 9）
- 沖野耕友大学講座（沖野市民センター）で報告（H24. 11. 9）

- 東京国立博物館平成館で開催された東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会による「被災文化財救援活動について考える会 語ろう！文化財レスキューー被災文化財等救援委員会公開討論会ー」に討論参加（H25. 2. 4）
- 活動の詳細や成果については、平成24年11月30日発行の『市史せんだいVol. 22』で紹介した。

(3) 震災関連パネル展・パネル貸し出し

平成25年3月1日から6月30日まで、当館ギャラリーにおいて、パネル展「仙台の歴史と震災ー土と文字が語る仙台平野の災害の記憶ー」を開催した。

パネルについては、平成23年度に引き続き、市民センターや市内外の社会教育施設等に貸し出して展示した。展示施設および貸し出し施設は下記の通りである。

国立歴史民俗博物館（佐倉市）、国立民族学博物館（吹田市）、東京家政大学博物館（板橋区）、江戸東京博物館（墨田区）、泉区役所、湯元市民センター、根白石市民センター、宮城野区文化センター、仙台市役所1階ギャラリー

(4) 「仙台の歴史と震災ー東日本大震災と地域史の発見ー」

東北電力グリーンプラザとの共催で、「仙台の歴史と震災ー東日本大震災と地域史の発見ー」を開催した。震災関連のパネルとともに、レスキューされた古文書類や中野小学校のスギ円盤標本などを展示した。

また、展示に合わせて、関連パンフレット「土と文字が語る仙台平野の災害の記憶ー仙台平野の歴史地震と津波ー」を作成した。

日 程：平成25年3月5日（火）～5月12日（日）

場 所：電力ビルグリーンプラザ

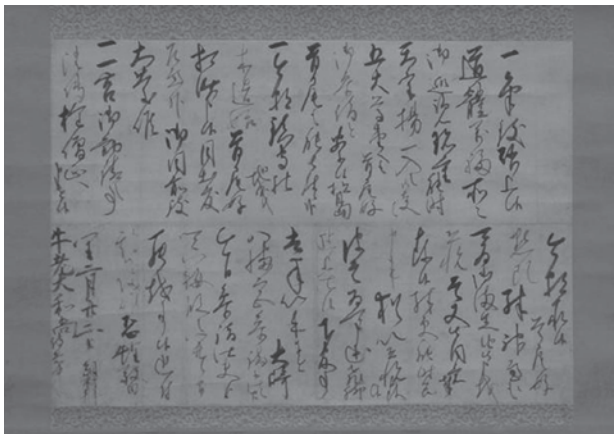
4. 資料収集

資料調査を行った資料の一部については、所蔵者の同意を得て借用し、館内で調査・整理作業を行っている。こうした資料については随時くん蒸を実施して虫菌類による損傷を防ぐとともに、原則として目録を作成し、マイクロフィルムなどによる撮影を行っている。

また、古書店などを通して仙台関係の近世の古文書や近代以降の各種資料の収集も行っている。

(1) 購入資料

- 日本三代実録（寛文13年版） 20冊
- 伊達政宗書状（三坂左馬助宛て） 1幅
- 伊達綱村書状（鉄牛和尚宛て） 1幅
- 国分荒浜海岸絵図 1鋪



(2) 寄贈資料

※寄贈者（敬称略）／内容／数量

丹野松夫／ふすま裏張り／1箱

堀江俊孝／寺子屋教科書類／55点

佐藤清治製麺／齋藤株式会社関係資料／74点

鈴木昭悦／改正仙台市明細図／1点

有限会社松泉解体／ふすま裏張り／一括

進藤ミヤ子／仙台藩土進藤家文書／68点

(3) 整理作業を行った借用資料

涌谷町宇佐美氏収集資料

仙台藩土河田家文書

八幡菊池家所蔵資料

栗生沢口家文書

長町鳴原家文書

秋保町境野柴田家文書

荒浜浄土寺所蔵資料（第二次受入）

名取郡長町菅井家資料

遠田郡狐塚村高橋家文書

実沢村永沢良之助関係資料

中野小学校資料

東六郷小学校資料

仙台藩土朴沢家文書

5. 仙台市史セミナー

仙台市史セミナーは、市史編さん事業で得られた調査分析成果を市民へ発表することを目的に平成3年度から年1回実施しているイベントである。

平成24年度は『戦国大名伊達氏の内憂外患』と題して、2名による講演を行い、424人の参加があった。併せてセミナー終了後、関連の展示解説を当館学芸員が常設展示室で実施し、147名の参加があった。

第21回仙台市史セミナー

日 時：平成25年2月16日（土）13：00～16：00

場 所：当館ホール

参加者：424人

内 容 『戦国大名伊達氏の内憂外患』

(1) 「戦国時代後期の伊達と相馬」

東北福祉大教授 岡田 清一 氏

(2) 「伊達政宗と母義姫」

仙台市博物館元館長 佐藤 憲一 氏



6. 仙台市史講座

仙台市史講座は、市内60カ所に設置されている市民センターとの共催によるイベントで、『仙台市史』編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に年2回程度実施している。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択している。平成24年度はそれぞれ以下の2カ所で実施した。

第25回仙台市史講座

日 時：平成24年7月8日（日）13：30～15：30

場 所：湯元市民センター

参加者：97人（応募164人）

テーマおよび講師

「中世秋保の世界」

東北学院大学教授 七海雅人 氏



第26回仙台市史講座

日 時：平成24年10月20日（土）13：45～15：45

場 所：根白石市民センター

参加者：165人（応募211人）

テーマおよび講師

「根白石－政宗の愛した風景－」

仙台市史編さん室 倉橋真紀



7. 古文書講座

東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門との共催で、古文書読解講座「はじめて古文書を読む」を開催した。

日 程：平成25年1月16日（水）／1月23日（水）

1月30日（水）／2月13日（水）

2月27日（水）

場 所：当館ホール／当館講習室

参加者：564人（全5回合計）

講師：第1回／第2回

高橋陽一氏（東北大学助教）

第3回

栗原伸一郎（市史編さん室嘱託）

第4回／第5回

荒武賢一朗氏（東北大学准教授）

8. 講師派遣

市史編さん事業の成果の市民などへの普及を目的として、学校や各種の団体、機関などからの依頼を受けた場合、職員を派遣して仙台の歴史に関する講話を行っている。また、市政出前講座として広聴相談課を通して講話の依頼を受けて職員を派遣する場合もある。

●平成24年度

館内講師 8回

館外への講師派遣 41回

市政出前講座 8回

9. 学校教育との連携事業

- 小中学校教員向け研修会で「仙台市史」の利活用に関する講演を4回実施
- 中学校を対象にした館内授業、館外授業の実施
生田中学校／五城中学校／八木山中学校
- 宮城教育大学教育復興支援センターに、震災関連パネルを寄贈

10. 刊行物

(1)『市史せんだい Vol. 22』

平成24年11月30日発行 A 5判 130ページ

特集企画 「東日本大震災と地域史の再発見」

1 報告 レスキュー資料の紹介

2 研究ノート 文献史料から見た貞観地震に関する一考察

3 研究ノート 仙台市立中野小学校所蔵スギ円盤標本の修復と年輪年代学的解析

4 研究ノート 震災がよみがえらせた古地形

論文等 論文「中在家南遺跡出土の高坏」

須藤隆

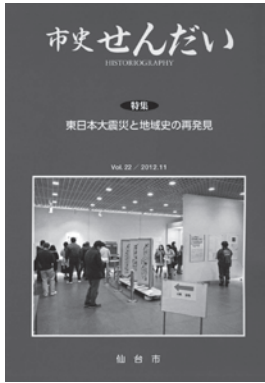
論文「内務省時代の仙台市一般会計臨時部の経費動向」

越智洋三

史料紹介 蒔蓄録－樂山公御遺稿から－

相原陽三

史料紹介 伊達政宗文書・補遺（六）



(2) 『せんだい市史通信 第28号』

平成24年7月発行 A4判 4ページ



(3) 『せんだい市史通信 第29号』

平成25年1月発行 A4判 4ページ

(4) 『土と文字が語る仙台平野の災害の記憶』

平成25年3月発行 A4判 16ページ



表17 「仙台市史」刊行年次計画

(○数字は既刊)

刊行年度	通史編	資料編	特別編
平成5(1993)年度		⑩ 伊達政宗文書1	① 自然
平成6(1994)年度		① 古代中世	② 考古資料
平成7(1995)年度		② 近世1	③ 美術工芸
平成8(1996)年度		③ 近世2	④ 市民生活
平成9(1997)年度			⑤ 板碑・⑥ 民俗
平成10(1998)年度	① 原始	⑤ 近代現代1	
平成11(1999)年度	② 古代中世	④ 近世3	
平成12(2000)年度			
平成13(2001)年度	③ 近世1	⑥ 近代現代2	
平成14(2002)年度	④ 近世2	⑪ 伊達政宗文書2	
平成15(2003)年度	⑤ 近世3	⑦ 近代現代3	
平成16(2004)年度		⑫ 伊達政宗文書3	
平成17(2005)年度	① 原始〔改訂版〕		⑦ 城館
平成18(2006)年度		⑧ 近代現代4 ⑬ 伊達政宗文書4	
平成19(2007)年度	⑥ 近代1	⑨ 仙台藩の文学芸能	
平成20(2008)年度			
平成21(2009)年度	⑦ 近代2		⑧ 慶長遣欧使節
平成22(2010)年度	⑧ 現代1		
平成23(2011)年度			
平成24(2012)年度	⑨ 現代2		
平成25(2013)年度			9 地域誌
平成26(2014)年度			10 年表・索引

6. 東日本大震災後の経過

震災対応

1 災害発生からの経過について

震災発生後、博物館来館者等約150名を直ちに館外に避難させた。幸いにもけが人はなかった。震災概要は次のとおり

- ①発生日時 平成23年3月11日(金)
午後2時46分
- ②地震名 東北地方太平洋沖地震
- ③震度 マグニチュード9.0
最大震度7(宮城県栗原市)
仙台市最大震度6強(宮城野区)

地震後、館内への職員等の立入が可能かどうかの安全確認が急務であった。早急に危険度判定を行う必要があるとの結論になり、専門家による点検を3月16日から実施した。

3月22日～23日

応急処置及び立入禁止区域の養生等実施

4月8日～21日

緊急工事として博物館災害復旧工事その1を実施(特別展会場である企画展示室天井復旧及びミュージアムストリート天井復旧)

2 一部開館から全面開館へ

震災時、特別展「ポンペイ展」を開催中でもあり、早期の開館が望まれた。幸い建物本体に大きなダメージはなく、また、ライフラインも電気が翌々日には復電、水道は震災以降も使用可能な状態であった(ガスは最終的に4月12日まで停止)。

部分的な復旧工事を経て4月29日には、特別展のみ再開(最終日を当初の5月8日から6月5日まで延長)にこぎつけることが出来た。

特別展「ポンペイ展」終了後、一旦閉館。その後復旧工事の2期分を実施するため、7月22日まで休館した。改修部分としては、展示室内展示ケースのガラス交換(5枚)やレストラン部分の天井壁の復旧等である。なお、エントランスホール天井部分の改修については、再開までの期間が短く(夏休み前には再開館希望)工期が取れない等の理由により、館の閑散期である平成24年1月～2月に復旧工事を

実施し完全復旧している。

文化庁の国補助を活用したミュージアム復興事業

1 事業の概要

文化庁が地域の文化遺産を活用して、公開等により文化振興や地域経済活性化を推進することを目的として、補助金を交付する事業を行っている。

都道府県単位の実行委員会に交付されるため、仙台市博物館は東北歴史博物館とともに宮城県ミュージアム復興事業実行委員会を立ち上げ、今回の震災により被災した文化遺産保全と図るとともに、災害を記録にとどめ、歴史資料への関心や意識高揚を図る事業を展開している。

2 仙台市博物館の事業

1) 市内被災資料レスキュー事業

市内で被災した歴史資料等のレスキュー活動を継続し、文化遺産の保全を図っている。

事業金額 1,280,735円

2) 博物館施設の復旧・復興の情報発信、活性化事業

震災で被災した仙台歴史ミュージアムネットワークの事業について、より強力に連携することによって、各施設で停滞しがちな事業を復旧・復興を情報発信し、さらに意識的な広報活動を展開し、歴史・文化施設の活性化を継続して積極的に市民に示している。

事業金額 2,003,817円



パネル展の様子

3) 振興関連展覧会事業

特別展「若沖が来てくれました」

世界的に著名な日本近世絵画のコレクターである

米国在住のプライス氏の申し出を受けて、同氏の伊藤若冲を中心とするコレクションを、このたびの震災で被災した地域に展示している。

展示は平成25年5月6日まで行い、その後岩手県、福島県を巡回する。

事業金額 45,156,938円

4) 振興関連展覧会事業

特別展

「慶長遣欧使節出帆400年記念展（仮称）」

「国宝 慶長遣欧使節関係資料」を核とし震災復興を祈念し、特別展覧会を開催する準備等をおこなった。

また、関連するパネル展示やシンポジウムを実施して周知を図った。

事業金額 8,842,831円



「仙台の夕べ」展示風景

被災ミュージアム再興事業

東日本大震災で被災した博物館資料の修理、修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した資料を収蔵する場所の確保、復興に向けた各種事業や被災した館の資料を活用した展覧会の実施等に必要な経費について、国が補助する事業であり、仙台市博物館では次の事業を行っている

1) 被災資料・収蔵資料の再整理事業

事業金額 2,529,212円

2) 被災歴史資料展示事業

事業金額 1,355,550円

3) 被災資料の修復

事業金額 133,350円

4) 仙台市博物館環境調査及び整理事業

事業金額 25,324,119円

7. ボランティア

仙台市博物館では、「仙台市博物館ボランティア三の丸会」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は、平成24年で16年目を迎えた。

平成19年度より5年任期制を導入し、24年度の登録者は111名であった。

ボランティア活動は活動班（各班9人～11人の12班編成）ごとに行っており、2週間に1回程度の活動となる。常設展示室での資料解説や映像による館内紹介（以下、ガイドランスと記す）、プレイミュージアムでのアシスタント補助が主な活動で、22年度からは新たに館庭＜仙台城三の丸跡＞案内を始めた。

会の運営や情報交換は、月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当館職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は、年1回の総会で決定している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に46人の応募があり、抽選の結果35人を新会員候補として以下のボランティア養成講座（4回12講座、13：30～16：30）を受講することによって会員として登録された。

- 第1回：講話視聴／博物館の展示概要／博物館案内・ボランティア活動の実際
- 第2回：歴史展示の解説①／三の丸会の活動
- 第3回：接遇実技実習（外部講師）／歴史展示の解説②／美術展示の解説①
- 第4回：美術展示の解説②／館庭＜仙台城三の丸跡＞案内について／教育普及・他館連携・市史編さん／プレイミュージアム研修紹介

※6月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

2. 解説活動

活動日数は306日（前年度比167日増）で、のべ活動人数が2,299人（同441人増）であった。展示解説は12,835件（同2,655件増）で観覧者27,702人（同4,436人増）に対応した。また、市民センターの老荘大学・学校の校外学習・博物館における仙台城ガ

イダンス機能を拡充させる目的で、博物館の建つ仙台城三の丸跡の案内を22年度から始めた。30分程度の案内を1日1回、4月から11月末日まで行い、実施日数が152日（中止が43日）、891人の観覧者を案内した。参加者からたいへん好評で、県外の方だけではなく市内の方々からも喜ばれている。

その他、英語ガイドも行っており、団体の対応も行っている。旅行者から留学生やアメリカ軍の友達作戦参加者の研修会など多岐にわたる要望があった。

3. 部会活動

ボランティアは、活動班の他に、5つ部会のいずれかに属し活動している。

表18 ボランティアの5つの部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成などを行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による紀行文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月1回ずつ実施している。

◆主な研修

- 5月：三の丸会設立15周年記念講演会
落語で聞く郷土史「玉虫左太夫」
講演者：桂 友楽氏
：教養講座「列島大開発時代と伊達騒動」
講師：平川新氏（東北大学教授）
：館外学習会「八幡町探訪」
案内 佐々木清司さん・桜井一郎さん
9月：研究発表会「参勤交代道中と江戸の伊達家」
佐藤益美さん
「大淀三千風と仙台大矢数」
中嶋久壽さん
：スキルアップ講座「『城・町』とつながる歴史・文化の拠点＝博物館」

講師：金森安孝（副館長）

参加：20名

10月：館外研修（奥州市水沢方面）

：館外特別研修「仙台城跡片倉家屋敷跡発掘
調査成果報告会」

講師：佐藤淳（文化財課主査）

11月：特別研修「かわらの基礎知識」

講師：金子智氏（高浜市やきものの里
かわら美術館教育研究課長）

12月：スキルアップ講座

「政宗を読み直す」

講師：菅野正道（市史編さん室長）

「仙台城本丸への途上路」

講師：金森安孝（副館長）

12月：研究発表会「13才の君へ」

星野朝子さん

2月：特別研修会「榴ヶ岡花見図屏風との対話」

講師：金森安孝（副館長）

3月：講演会「仙台城跡発掘調査について」

講師：金森安孝（副館長）

学芸員による展示解説

5・9・12・3月：ギャラリートーク

4. 15周年記念事業

15周年を記念して下記の事業を行った。

- 記念誌の発行（5月）
- 講演会の実施（5月12日）
「落語で聞く郷土史」

5. ボランティアと博物館との懇談会

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を2月行った。ボランティアからは解説活動を通して気づいたことや広報活動について、博物館からはボランティア向け講座について提案がなされた。参加者は、ボランティアが54人、博物館が10人であった。

6. 新規ボランティア募集説明会

6月から新しくボランティアを希望する方と継続を希望するボランティアを対象とした説明会を実施した。

日時：平成25年3月9日（土）10:00～

場所：博物館講習室

内容：ボランティア活動内容説明

会員の体験談・・・佐藤賢一さん

8. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費1口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）からなる。平成24年度の普通会員数は624人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、様々な職業・年齢層の役員12名から構成される役員会において決定され、本年度は7回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、積極的な活動を行った。

会の事業実績は、別記のとおりである。特別展・企画展セミナー4回、日帰り研修会2回、会員向け講座1回、共催講演会2回、古文書講読会2回を実施し、いずれも多くの方の参加を得ることができた。

表19 平成24年度会員内訳

	性別	年代	人数		
賛助会員			20	20	
普通会員	男性	10代	0	348	624
		20代	3		
		30代	5		
		40代	19		
		50代	40		
		60代	122		
		70代	87		
		80代～	51		
		その他	20		
	女性	10代	0	276	
		20代	6		
		30代	15		
		40代	22		
		50代	42		
		60代	90		
		70代	59		
		80代～	20		
その他	22				
学生会員			8	8	
計				652	

1. 総会 4日23日 博物館ホール 130名参加

2. 事業

(1) 会報発行

6/1 159号、9/ 1 160号、12/1 161号、

3/1 162号

(2) 行事

4/23 広報セミナー「仙台藩の御家騒動」

講師 坂田美咲学芸員 参加130名

5/19 共催講演会

「列島大開発時代と伊達騒動」

講師 東北大学災害科学国際研究所所長

平川新氏 参加294名

5/30 研修会 涌谷・登米方面

参加38名

講師 坂田美咲学芸員

7/9 広報セミナー「インカ帝国展」 参加154名

講師 水野沙織学芸員

10/1 広報セミナー「江戸の旅」

講師 内山淳一学芸室長 参加107名

10/24 研修会 水沢・江刺方面

講師 酒井昌一郎学芸員 参加38名

10/27 共催講演会

「江戸時代の街道と旅人 東海道を中心に」

講師 愛知大学地域政策学部教授

渡辺和敏氏 参加155名

12/1 会員向け講演会「仙台・宮城の植物自然史」

講師 東北大学名誉教授 鈴木三男氏

参加120名

1/26 古文書講読会①

「あなたへ…仙台藩主に宛てた夫人の手紙」

講師 坂田美咲学芸員 参加105名

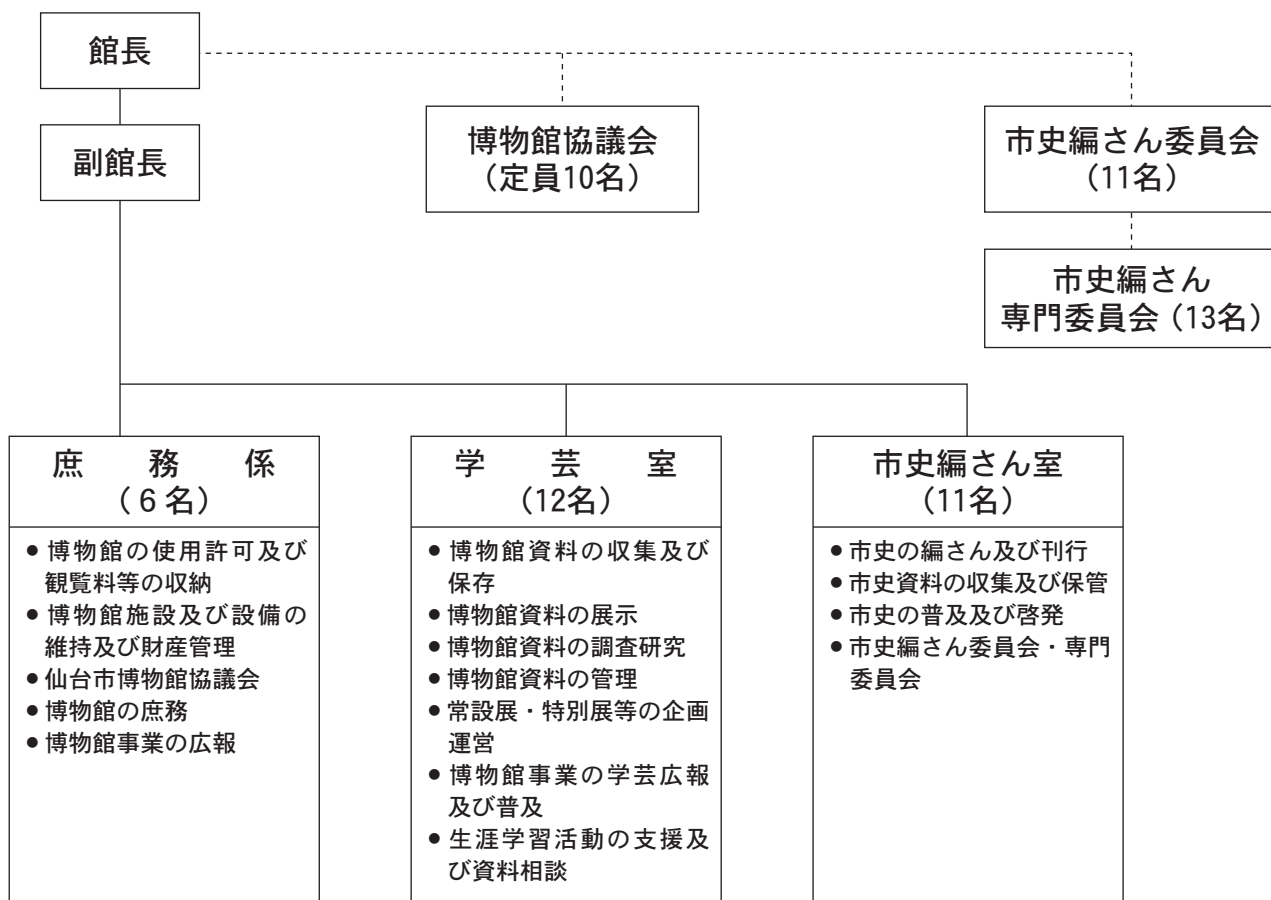
2/9 古文書講読会②

「慶長遣欧使節関係資料を読む」

講師 佐々木徹学芸員 参加180名

9. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成24年4月1日現在）



予算概要

表20 平成24年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	46,668 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	104,433 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	4,500 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,275 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	51,636 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	208,512
2 資料購入費	2,100	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	30,596	特別展覧会開催に要する経費
4 市史編さん費	40,939	「仙台市史」編さん・刊行に要する経費
5 維持修繕費	1,646	フィンコイルAC-7.8修繕
合計	283,793	

職 員（平成24年4月1日現在）

館 長 遠 藤 俊 行
副 館 長 金 森 安 孝

室・係	職 名	氏 名
庶 務 係	主 幹 兼 係 長	三 條 清 彦
	主 任	石 垣 晃 一
	主 任	佐 々 木 洋 子
	臨 時 職 員	齋 綾 子
	非常勤嘱託職員	鈴 木 由 香
	非常勤嘱託職員	勝 亦 涼 子
学 芸 室	主 幹 兼 室 長	内 山 淳 一
	主 査	高 橋 あ け み
	指 導 主 事	竹 田 幸 司
	指 導 主 事	山 田 貴 史
	主 任	樋 口 智 之
	主 任	酒 井 昌 一 郎
	主 事	佐 々 木 徹
	主 事	水 野 沙 織
	主 事	川 名 厚 子
	主 事	坂 田 美 咲
	非常勤嘱託職員	氏 家 文 枝
	非常勤嘱託職員	鈴 木 か お る
市 史 編 さ ん 室	室 長	菅 野 正 道
	指 導 主 事	田 中 元 昭
	主 任	清 水 川 伸
	非常勤嘱託職員	佐 藤 憲 一
	非常勤嘱託職員	明 石 治 朗
	非常勤嘱託職員	村 岡 淳 子
	非常勤嘱託職員	二 上 玲 子
	非常勤嘱託職員	倉 橋 真 紀
	非常勤嘱託職員	菅 原 友 子
	非常勤嘱託職員	栗 原 伸 一 郎
非常勤嘱託職員	三 好 俊 文	

仙台市博物館協議会

特別展「若沖が来てくれました プライスコレクションー江戸絵画の美と生命」について

平成24年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- ◎泉 武夫 東北大学大学院教授
- 小川 淳一 仙台市立七北田中学校長
- 尾崎 彰宏 東北大学大学院教授
- 佐川 正敏 東北学院大学教授
- 佐藤 憲子 仙台市社会学級研究会
- 佐藤 弘夫 東北大学大学院教授
- 伊達 泰宗 伊達家伯記念會取締役会長
- 濱田 淑子 東北福祉大学美術工芸館参与
- 森 美智子 東北学院大学教授
- 渡辺 公一 仙台市議会議員

平成24年度 協議内容

第1回 平成24年5月24日(火)

1 報告事項

- (1) 平成23年4月の観覧者数等について
- (2) 特別公開「国宝 紅白梅図屏風とMOA美術館の名品」の結果報告について
- (3) 企画展「仙台藩の御家騒動一寛文事件を追いかける！」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業および資料レスキューについて
- (5) 学校・その他の連携事業について
- (6) 平成24年度文化庁補助金について

2 協議事項

- (1) 特別展「江戸の旅ーたどる道、えがかれる風景ー」について
- (2) 資料購入について

第2回 平成24年7月24日(火)

1 報告事項

- (1) 平成24年4月～6月の観覧者数等について
- (2) 企画展「仙台藩の御家騒動一寛文事件を追いかける！」の結果報告について
- (3) 特別展「インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年」仙台展の中間報告について
- (4) 市史編さん事業および資料レスキューについて
- (5) 学校・その他の連携事業について
- (6) 平成24年度文化庁補助金について

2 協議事項

第3回 平成24年10月30日(火)

1 報告事項

- (1) 平成24年7月～9月の観覧者数について
- (2) 特別展「インカ帝国展 マチュピチュ「発見」100年」の結果報告について
- (3) 特別展「江戸の旅ーたどる道、えがかれる風景ー」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業について
- (5) 資料レスキューについて
- (6) 学校・その他の連携事業について

2 協議事項

- (1) 企画展「仙台藩主勢ぞろい(仮称)」について

第4回 平成25年3月5日(火)

1 報告事項

- (1) 平成24年10月～平成25年2月の観覧者数について
- (2) 特別展「江戸の旅ーたどる道、えがかれる風景ー」の結果報告について
- (3) 特別展「若沖が来てくれました プライスコレクションー江戸絵画の美と生命」の中間報告について
- (4) 市史編さん事業について
- (5) 文化財レスキューについて
- (6) 学校・その他の連携事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「滋賀県立琵琶湖文化館が伝える美/近江巡礼ー祈りの至宝ー」仙台展について

仙台市史編さん委員会

内山 淳一 仙台市博物館主幹兼学芸室長

仙台市史編さん事業の遂行に当たっては、仙台市史編さん委員会設置要綱により、幅広い視野からの指導・助言を得ることを目的として仙台市史編さん委員会を設置して、学識経験者・市職員などに委員を委嘱している。また、市史編さんに必要な編集や監修などを行うために専門委員会を設置して、随時協議を行っている。

仙台市史編さん委員

順不同敬称略 ○＝委員長

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 飯渕 由美 | 健康プランニングI (アイ) 主宰 |
| 岡田 健治 | 仙台商工会議所副会頭 |
| 橋本 啓一 | 仙台市議会市民教育委員会委員長
(～平成24年9月4日) |
| 小野寺 健 | 仙台市議会市民教育委員会委員長
(平成24年9月5日～) |
| 岡崎 修子 | 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
仙台市柏木市民センター館長 |
| 立花 鶴憲 | 東北福祉大学特任教授 |
| 平川 新 | 東北大学東北アジア研究センター教授 |
| 朴澤 泰治 | 朴沢学園理事長 |
| 吉田 正志 | 東北大学大学院教授 |
| ○稲葉 信義 | 仙台市副市長 |
| 高橋 一典 | 仙台市総務企画局長 |
| 青沼 一民 | 仙台市教育委員会教育長 |

仙台市史編さん専門委員

順不同敬称略 ○＝委員長

- | | |
|--------|-------------------|
| 入間田宣夫 | 東北芸術工科大学教授 |
| 岩本 由輝 | 東北学院大学名誉教授 |
| 鵜飼 幸子 | 前仙台市博物館市史編さん室長 |
| 大石 直正 | 一関市博物館館長 |
| 小井川百合子 | 前仙台市博物館副館長 |
| 佐藤 憲一 | 前仙台市博物館館長 |
| 須藤 隆 | 東北大学名誉教授 |
| 難波 信雄 | 東北学院大学名誉教授 |
| 仁昌寺正一 | 東北学院大学教授 |
| 羽下 徳彦 | 東北大学名誉教授 |
| 濱田 直嗣 | 宮城県慶長使節船ミュージアム館長 |
| ○平川 新 | 東北大学東北アジア研究センター教授 |
| 松本 秀明 | 東北学院大学教授 |
| 斎藤 誠 | 東北学院大学教授・副学長 |

協議内容

仙台市史編さん委員会

第50回 平成24年8月31日

- (1) 平成24年度仙台市史編さん事業について
- (2) 資料レスキュー事業について
- (3) 平成25年度仙台市史編さん事業計画について
- (4) 仙台市史編さん事業収束に関する提言書について

第51回 平成25年3月27日

- (1) 仙台市史編さん事業に関する提言書について
- (2) 平成24年度仙台市史編さん事業報告
- (3) 平成25年度仙台市史編さん事業計画について

仙台市史編さん専門委員会

第124回 平成24年7月22日

- (1) 『特別編 年表・索引』について
- (2) 平成25年度仙台市史編さん事業計画について
- (3) 仙台市史編さん事業収束に関する提言書について

第125回 平成25年3月7日

- (1) 平成24年度仙台市史編さん事業報告について
- (2) 平成25年度仙台市史編さん事業計画について

10. 利用状況

月別観覧者数

表21 月別観覧者数

(人)

月	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	2,942	33	1,225	4,200	826	11	426	1,263	1,999	7,462
5	5,194	74	1,543	6,811	1,801	211	647	2,659	2,531	12,001
6	3,294	29	943	4,266	1,181	3	620	1,804	2,220	8,290
7	17,884	887	683	19,454	7,530	387	264	8,181	3,651	31,286
8	27,580	1,803	1,735	31,118	14,964	941	768	16,673	5,954	53,745
9	15,078	689	649	16,416	9,369	499	390	10,258	3,483	30,157
10	3,232	143	272	3,647	2,741	364	170	3,275	2,414	9,336
11	2,601	125	67	2,793	1,950	237	14	2,201	3,198	8,192
12	1,402	11	48	1,461	529	38	17	584	948	2,993
1	1,063	8	35	1,106	429	31	3	463	742	2,311
2	1,678	34	33	1,745	882	4	112	998	1,019	3,762
3	15,915	0	0	15,915	10,071	0	0	10,071	4,297	30,283
計	97,863	3,836	7,233	108,932	52,273	2,726	3,431	58,430	32,456	199,818

開館日数 306日

施設利用状況

表22 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
公益社団法人日本写真家協会	4. 1 ~ 4. 9	8	写真展
教育局文化財課	10. 15 ~ 10. 29	12	文化財展
教育局教育指導課	11. 26 ~ 12. 3	8	中学校生徒地図作品展
教育局教育指導課	12. 4 ~ 12. 10	7	中学校学級新聞展
		202	特別展、資料整理等
		237	一般貸出利用者計3,445人

表23 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
藝術学関連学会連合	6. 16	1	シンポジウム
仙台市小学校教育研究会図画工作研究部会	6. 20	1	全体会・研修会
仙台市中学校社会科研究会	9. 13	1	定例会
文化財石垣保存技術協議会	10. 6	1	講座
教育局文化財課	10. 28	1	講演会
教育局教育指導課	11. 26 ~ 11. 27	2	中学校生徒地図作品展表彰式
教育局教育指導課	12. 4	1	中学校学級新聞展表彰式
教育局総務課	2. 7 ~ 2. 8	2	教育功労者表彰式
博物館		119	講演会、ビデオガイダンス等
計		129	一般貸出利用者計 637人

開館日数 306日

講師等利用状況

表24 講師利用件数表

講師派遣										
	件数 (件)					人数 (人)				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成24年度	61	67	12	46	186	3,076	3,014	1,172	2,272	9,534

表25 レファレンス対応等表 (件)

	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対 応	写真貸出・ 利 用	計
平成24年度	210	180	261	651

視察対応状況

表26 主要視察対応状況

月 日	視察者 (事業名)	人
4 / 13	在キューバ日本大使	1人
5 / 15	千葉県議会自民党文教委員	7人
5 / 20	宇和島市議会議長	3人
6 / 5	外務省中米カリブ課長	1人
6 / 28	京都文化協会	4人
7 / 6	駐日ペルー大使 市長表敬訪問	2人
7 / 10	魚津市教育委員	6人
8 / 1	群馬県立歴史博物館	5人
8 / 6	徳島市議会	5人
8 / 8	駐日アルバニア大使夫人	2人
10 / 2	サンマリノ共和国マンリオカデロ特命全権大使	7人
11 / 7	スペイン大使館文化担当参事官	2人
11 / 13	キューバ国営放送パトロシア氏	6人
11 / 16	駐日メキシコ大使館参事官	
11 / 17	静岡商工会議所会頭他	6人
11 / 28	京都文化協会、キヤノン他	10人
12 / 14	駐日イタリア大使 (ドメニコ・ジョルジ氏)	2人
12 / 25	中南米局中米カリブ課森田氏他	2人
3 / 7	在キューバ日本大使	1人

11. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日
仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設 置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定に

より使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十五年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、

補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一 (第三条関係)

区 分		金額 (1人につき)	
常 設 展	個人 利用	一 般	400円
		高 校 生	200円
		小学生・中学生	100円
展	団体 利用	一 般	320円
		高 校 生	160円
		小学生・中学生	80円
特 別 展		1,500円の範囲内で教育委員会が定める額	

備考

一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。

二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。

三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二 (第四条、第五条関係)

使用区分		使用時間	
		午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～16:30)
ホ ー ル	入場料を徴収しない場合	4,200円	6,500円
	入場料を徴収する場合	12,600円	19,500円
ギ ャ ラ リ ー	入場料を徴収しない場合	3,000円	4,400円
	入場料を徴収する場合	9,100円	13,200円

備考

一 全日(午前9時～午後4時30分)の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。

二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。

三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の2分の1とする。

五 日曜日又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第七十八号)に規定する休日に使用する場合は、本表に定める使用料の2割増しとする。

六 付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

七 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

二 休日の翌日（休日又は日曜日に当たる日を除く。）

三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

四 その他教育委員会が必要と認める日
（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は次の事項を遵守しなければならない。

一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと

二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしてしないこと

三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと

四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと

五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二 でい酔者

三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者

四 係員の指示に従わない者

五 その他管理上支障があると認められる者
（観覧券）

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
 - 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあつては、零
 - 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額
 - 二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあつては、既納の使用料の全額）
- 4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

- 2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

- 2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
（経過措置）
- 2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額(1回につき)
舞台照明設備	1式	1,000円
音 響 設 備	1式	2,100円
視 聴 覚 設 備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額(1時間につき)
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市史編さん委員会設置要綱

（平成2年9月13日市長決裁）

（設 置）

第1条 仙台市市政百周年を記念して実施される“仙台市史”（以下「市史」という。）編さん事業を行うにあたり、広い視野から検討するため、仙台市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第2条 委員会の所管事項を次のとおり定める。

- (1) 市史編さんの基本的事項に関すること。
- (2) その他市史編さんに関して必要な指導・助言に関すること。

（組 織）

第3条 委員会は15名以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は学識経験者、市職員、その他必要と認め者の中から市長が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

（委員長）

第4条 委員会に委員の互選により、委員長を置く。

- 2 委員長は、委員会の会議を招集し、これを総務する。
- 3 委員長に事故ある時は、委員長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

（会 議）

第5条 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところとする。

（専門委員会）

第6条 委員会に、市史編さんに必要な編集、監修等を行うため、専門委員会を置く。

- 2 専門委員会は、15名以内の専門委員をもって組織する。
- 3 専門委員は、学識経験者の中から市長が委嘱する。
- 4 専門委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任務の終了した時点までとし、任期途中で交代した場合は残任期間とする。

第7条 第4条及び第5条の規定は、専門委員会に

準用する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育局博物館において処理する。

(委任)

第9条 委員会の運営に関しこの要綱に定めるもののほか必要な事項は教育長が定める。

附則

この要綱は平成2年9月13日から実施する。

附則

この要綱は平成4年4月1日から実施する。

附則

- 1 この改正は、平成4年12月1日から実施する。
- 2 平成6年9月12日に委嘱する委員の任期は、平成8年3月31日まで、平成4年12月4日に委嘱する専門委員の任期は、平成6年3月31日までとする。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続きを行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとす

る。ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別表

区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。

2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

12. 仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和 34 年 3 月	博物館建設調査着手
35 年 1 月	学識経験者による基本構想検討
3 月	博物館建設費予算計上
9 月	博物館建設事務局設置
10 月	博物館建設工事着工
36 年 6 月	同工事竣工（鉄筋コンクリート 2 階建一部地階 総床面積 883 m ² ）
7 月	博物館条例設定
9 月	博物館施行規則及び処務規定制定
10 月	同条例・施行規則施行
38 年 7～11 月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート 2 階建 総床面積 244 m ² ）
43 年 3～11 月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート 2 階建 総床面積 879 m ² ）
46 年 12 月 ～47 年 3 月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート 2 階建 総床面積 405 m ² ）
50 年 11 月	文化財保護法第 48 条に基づく勧告・承認館認定
58 年 3 月	新館建築のため休館
5 月	旧博物館解体工事開始
7 月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和 57 年 4 月	博物館基本構想策定委員会設置
7 月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9 月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11 月	新博物館建設基本設計開始
58 年 5 月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59 年 1 月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60 年 7 月	建築工事完了
11 月	定礎式
61 年 2 月	展示工事完了
3 月	新博物館開館
62 年 9 月	新博物館入場者 50 万人達成
平成元年 10 月	新博物館入場者 100 万人達成
11 年 8 月	新博物館入場者 300 万人達成
13 年 6 月	「慶長遣欧使節関係資料」47 点 歴史資料国宝第 1 号指定
19 年 9 月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21 年 3 月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21 年 9 月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22 年 3 月	改修工事完了
22 年 4 月	リニューアルオープン
23 年 3～4 月	東日本大震災に伴う復旧工事（1 期）
4 月	開館 50 周年
6～7 月	復旧工事（2 期）
1～2 月	復旧工事（3 期）、完全復旧
平成 24 年 7 月	開館以来の入館者数が 700 万人を突破

仙台市博物館年報

第40号

編集・発行 仙 台 市 博 物 館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel. 022(225)2557/0814

印 刷 株 式 会 社 東 誠 社
仙台市宮城野区岡田西町1-55
Tel. 022(287)3351

平成25年6月30日発行
©Sendai City Museum 2013

再生紙を使用しています